

令和元年度

北部保健医療圏圏域別取組実施状況

(平成30年度実績及び令和元年度計画)

<目次>

1	親と子の保健対策	1
	医師会	1
	歯科医師会	2
	行政	3
2	在宅医療(在宅歯科診療を含む)の推進	16
	医師会	16
	歯科医師会	18
	薬剤師会	20
	行政	23
3	精神疾患	31
	医師会	31
	歯科医師会	31
	行政	32
4	健康増進・生活習慣病対策	46
	医師会	46
	歯科医師会	47
	薬剤師会	52
	行政	54
5	健康危機管理体制の整備	77
	医師会	77
	歯科医師会	78
	薬剤師会	79
	行政	81

○事業分野

1 親と子の保健対策

○目 標

相談体制の充実、関係機関との連携強化、支援に携わる人材の育成等に努め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うほか、小児期から思春期における親と子の保健対策を実施します。

○主な取組

- 不妊・不育症に関する支援の充実
- 小児在宅医療の環境整備
- 児童虐待防止のための体制強化
- 発達障害児への支援の充実
- 思春期保健対策の強化と健康教育の推進

実施主体：保健所、市町、医療機関、医師会、児童相談所、教育機関

○圏域別取組実施状況

医師会

【熊谷管内】

事業名	乳児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診の実施
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民(乳幼児とその父母等)
【方法】	熊谷市から受託し乳児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施する。
【手順】	乳児健診及び3歳児健診は集団検診として実施し、会場である母子健康センター等に会員の医師を派遣する。また、1歳6か月児健診は今秋から個別健診として実施し、参加希望の医療機関に対し必要な研修を実施する。
OR1計画(目標)	事業概要と同様 なお、1歳6か月児健診は通年で個別健診として実施する。 また、乳児健診及び3歳児健診の個別健診化については、1歳6か月児健診の実施状況を踏まえ、市と共に検討する。
OH30実績	事業概要のとおり、熊谷市から受託し実施した。

事業名	休日・夜間急患診療所への医師の派遣
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	熊谷市と連携しながら、休日・夜間急患診療所へ会員の医師を派遣
【手順】	する。安定した執務体制を確保するために、新規会員を含め、会員に積極的にPRを行い、医師の確保に努める。
OR1計画(目標)	事業概要と同様
OH30実績	事業概要のとおり市と連携し実施した。

歯科医師会

【熊谷管内】

事業名	小児う蝕予防対策事業の推進
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	DMFTの減少を図る。
○事業概要	
【対象】	保育園児・幼稚園児・小学生
【方法】	フッ化物洗口
【手順】	市内各保育園・幼稚園・小学校において、フッ化物洗口を実施する。
OR1計画(目標)	フッ化物洗口の習慣化によるう蝕の減少。
OH30実績	なでしこ保育園、第2なでしこ保育園において、園医、埼玉県歯科医衛生士会北部支部歯科衛生士に協力いただきフッ化物洗口の指導を園児たちに行った。

事業名	ママ・パパ教室
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	妊産婦、父親等
【方法】	講義による口腔衛生の啓発
【手順】	母子健康センター、妻沼保健センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し講義を行う。
OR1計画(目標)	出生前からの保護者の指導により、食事、噛み合わせの重要性を理解してもらい、咬合の育成に努める。
OH30実績	母子健康センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し、母子の口腔衛生をテーマに講義を行った(年6回)

事業名	1歳6か月児健診
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	1歳6か月健診時にう蝕が無いことを一つの指標としたい。
○事業概要	
【対象】	1歳6か月から2歳の誕生日の前々日までの幼児
【方法】	歯科医療機関での個別健診
【手順】	対象児の保護者に受診票が送付され、直接医療機関に健診の予約をする。
OR1計画(目標)	個別検診の受診率の向上。
OH30実績	集団健診と個別健診合わせて1170名受診

事業名	3歳児健診
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	3歳5か月から3歳7か月児
【方法】	歯科医師による診察とブラッシング指導、フッ化物塗布
【手順】	対象児の保護者に受診票が送付され、集団健診
OR1計画(目標)	3歳児の食習慣の変化に対応した指導を行うことで、齲蝕の発生を未然に防止する。
OH30実績	3歳児健診へ歯科医師を派遣した。 1267名受診

行政

【熊谷管内】

事業名	不妊治療費助成事業
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	不妊・不育症に悩む夫婦が増えている。検査・治療を早期に受けられるよう支援を進める必要がある
○事業概要	
【対象】	特定不妊治療(体外受精および顕微授精)や男性不妊治療を受けた方
【方法】	治療費の助成
【手順】	関係機関と連携して案内配布・チラシ・窓口等で制度の周知をする 申請を受理し費用助成を決定する
OR1計画(目標)	市町保健センター等関係機関と連携を図り周知に努める 申請を受理し速やかに手続きを進める
OH30実績	358件申請受理

事業名	小児在宅医療の環境整備
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	医療の進歩に伴い、在宅で医療ケアが必要な子供が増えており、小児医療を充実させる必要がある
○事業概要	
【対象】	小児慢性疾患を持つ親子、医療的ケア児に関わる関係者および関係機関
【方法】	集い、研修会の実施
【手順】	医療的ケア児に関わる研修会
OR1計画(目標)	医療的ケア児に関わる研修会 1回開催
OH30実績	医療的ケア児に関わる研修会 1回開催 72人参加

事業名	子供の心の相談・子供の心のネットワーク事業
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	特徴が周囲から理解されず、不適切な対応が生じる可能性がある、発達障害のある子どもと親への支援ニーズが高まっている
○事業概要	
【対象】	子供の心の健康問題に悩む親子、関係者
【方法】	専門相談の実施、連絡会議・研修会の開催
【手順】	専門相談の実施 小児精神保健医療推進連絡会議 子供の心の問題に関する研修会
OR1計画(目標)	1 小児精神保健医療推進連絡会議 1回開催 2 子どもの心の問題に関する研修会 1回開催
OH30実績	1 小児精神保健医療推進連絡会議 1回開催 15人参加 2 子どもの心の問題に関する研修会 1回開催 49人参加

事業名	子どもの心の相談の実施
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	思春期の心の問題に対応するため、小児科医や臨床心理士等による健康相談を実施します。また、関係機関の連携により、心身の健康に関する正しい知識の普及に努めます。

○事業概要	
【対象】	一般県民、市町、教育機関、医療機関、児童相談所、保健所
【方法】	専門相談の実施
【手順】	医師による相談の実施(月1回)、臨床心理士による相談(月1回)
OR1計画(目標)	子どもの心の相談の実施 24回開催
OH30実績	子どもの心の健康相談 17回開催 実件数25件 述べ30件

事業名	熊谷市不妊治療費助成事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	次世代育成支援の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対して、その治療に係る費用の一部を助成する。
○事業概要	
【対象】	特定不妊治療を受けた夫婦
【方法】	県の補助額を控除した額に対して1年度当り10万円を限度に通算5年度助成
【手順】	
OR1計画(目標)	140件
OH30実績	110件

事業名	熊谷市不妊検査費等助成事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	子供を望む夫婦に対して、不妊検査及び不育症検査に係る費用の一部を助成する。
○事業概要	
【対象】	不妊検査・不育症検査を受けた夫婦
【方法】	不妊検査・不育症検査に係る費用の自己負担額に対して、夫婦1組
【手順】	につき3万円(千円未満切り捨て)を上限にそれぞれ1回限り助成
OR1計画(目標)	不妊検査 70件 不育症検査 10件
OH30実績	不妊検査 45件 不育症検査 6件

事業名	熊谷市不育症治療費助成事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	子供を望む夫婦に対して、不育症治療に係る費用の一部を助成する
○事業概要	
【対象】	不育症治療を受けた夫婦
【方法】	不育症治療に係る費用の保険適用外の自己負担額に対して、1年度
【手順】	当り30万円を限度に通算5年度助成
OR1計画(目標)	5件
OH30実績	0件

事業名	あかしあ育成園(指定障害児通所支援事業所)
実施機関	熊谷市
現状・課題等	発達や発育に障害又は遅れのある児童に対しての発達支援とその保護者に対しての相談・支援

○事業概要	
【対象】	市内在住の未就学児で、保護者又は、家族とともに通園できる発達支援児
【方法】	・日常生活における基本的な生活習慣を身につけることや社会生活への適応性を高めるために必要な機能訓練と保育指導を行う。 ・遊びや生活体験を通して、コミュニケーションを育てる。 ・親子通園にて、児童の援助方法のトレーニングを行う。
【手順】	随時、園にて入園希望者への説明、面談を行う。
OR1計画(目標)	園の体制を工夫し、入園希望者への説明や面談、一時機能訓練への受け入れを希望にあわせて行えるようにする。
OH30実績	定員40名を満たすことができた。

事業名	妊娠期からの虐待予防強化事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	妊娠期から養育支援を行うことにより、児童虐待の予防に繋げる。
○事業概要	
【対象】	妊産婦
【方法】	・医療機関からの養育支援連絡票(情報提供書)に基づいて、家庭訪問等による養育支援を行う。
【手順】	・医療機関が妊娠・出産期等に把握し、支援を行うことが特に必要と判断した対象者に対し、養育支援連絡票を受理し支援する。
OR1計画(目標)	医療機関からの連絡票に基づいて、引き続き家庭訪問他による適切な支援を行う。
OH30実績	・埼玉県内医療機関及び県外医療機関から送付された連絡票163件中、支援実施前を除いて、支援を行った件数128件。 * 同一妊産婦で2回送付される事あり 内訳: 家庭訪問による支援121件、他面接支援等7件。

事業名	発達支援事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	発達障害の疑いがある幼児と保護者へ支援の充実を図る。
○事業概要	
【対象】	発達面において支援が必要な幼児と保護者
【方法】	・言語聴覚士、臨床心理士による個別相談において、子どもの特性を把握し、それに応じて育児のアドバイスを行い、必要時療育機関へつなげる。 ・集団の中で遊びを通して発達を促す親子教室(すくすくスクール)
【手順】	・1歳6か月児健診や3歳児健診時、言葉の遅れや行動面に心配がある場合等で事後指導が必要な場合、適切な時期に保護者へ連絡し発達状況を確認し支援する。 ・市外からの転入者もいることから、市報やホームページにて、発達相談の案内周知を図る。
OR1計画(目標)	引き続き、専門職による個別相談及び集団による親子教室において、発達支援を行う。
OH30実績	・言語聴覚士による個別相談件数 延496人、臨床心理士による個別相談件数 延92人、親子教室(すくすくスクール)参加人数 延613人。

事業名	発達障害児への支援の充実
実施機関	熊谷市
現状・課題等	通常学級において、発達障害等があり、支援を要する児童生徒が在籍している。現在、通級指導教室や特別支援学級を利用し、個別の指導が実施されているが、その他にも発達障害に対して支援の必要な児童生徒が在籍している。そこで、特別支援学級、通級指導教室の担任だけでなく、在籍児童生徒の担任に向けても、研修を実施していく。

○事業概要	
【対象】	小・中学校教職員
【方法】	夏季休業日を中心に発達障害等のある児童・生徒と関わる教職員に研修を実施する。
【手順】	
OR1計画(目標)	参加者100名
OH30実績	参加者85名

事業名	発達障害児への支援の充実 思春期保健対策の強化と健康教育の推進
実施機関	熊谷市
現状・課題等	特別支援教育巡回相談として、各学校に臨床心理士を派遣し、発達障害等がある児童生徒に対して正しい理解が持てるよう指導助言を行っている。各小・中学校、幼稚園1～2回程度の実施にとどまるため、児童生徒一人一人に関われる時間が限られている。
○事業概要	
【対象】	市内幼稚園・小学校・中学校
【方法】	年間の派遣計画を立て、各小・中学校・幼稚園の希望に合わせて派遣する。
【手順】	
OR1計画(目標)	実施回数100回
OH30実績	実施回数98回

事業名	児童相談事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	養護相談(児童虐待相談を含む)、保健相談、非行相談、育成相談等、様々な相談に対応します。
○事業概要	
【対象】	少年及び保護者
【方法】	様々な悩みを抱える少年や保護者からの、養護相談、保健相談、
【手順】	非行相談、育成相談等、子どもに関する様々な相談に対し、電話、面接、訪問により対応します。
OR1計画(目標)	目標設定不能
OH30実績	相談受理件数711件

事業名	養育支援訪問事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	妊娠・出産・子育て期における母子の子育てに関する情報提供や、相談を行い、また自ら支援を求めることが困難な家庭に、訪問による支援事業を実施します。母子保健部門のこんにちは赤ちゃん事業との連携を図り、児童虐待の未然防止を図ります。
○事業概要	
【対象】	妊娠・出産・子育て期における母子
【方法】	子育てに関する情報提供や、電話や面接による相談、訪問により
【手順】	対応し、また母子保健部門との連携により対応します。
OR1計画(目標)	訪問実施回数75回
OH30実績	訪問実施回数72回

事業名	要保護児童対策地域協議会で課題の検討
実施機関	熊谷市

現状・課題等	児童虐待防止のため関係機関のネットワーク体制強化を図ります。
○事業概要	
【対象】	関係課所、児童相談所、保健所、警察署
【方法】	関係機関のネットワーク連携により児童虐待防止の未然防止と
【手順】	早期発見、虐待を受けた子どもの保護や支援体制の充実を図ります。
OR1計画(目標)	会議開催数13回
OH30実績	会議開催数13回

事業名	母子健康包括支援センターの相談支援の強化
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	核家族化や地域とのつながりの希薄化等が進み、出産や子育てに対して身近な協力が得られにくい中、不安をかかえたまま出産を迎えたり、孤立した育児を行っている現状がある。今後は妊娠期から子育て期まで、関係機関と連携し、切れ目のない支援を提供することで、安心して妊娠、出産、育児が行えるような相談支援体制を強化していく必要がある。
○事業概要	
【対象】	妊婦、産婦、新生児から乳幼児まで
【方法】	①妊娠から子育て期まで、切れ目のない支援が提供できるように、原則同一の保健師または助産師が母子健康手帳の交付から、妊娠8カ月での電話支援、新生児産婦訪問指導等の相談支援を行う。 ②安心した出産、子育てが行えるように、関係機関との連携を強化していくための連絡会を定期的開催する。
【手順】	
OR1計画(目標)	妊娠8か月電話相談支援の実施 母子健康包括支援センターネットワーク会議の開催
OH30実績	妊娠8か月電話相談支援実施率 87.1% 母子健康包括支援センターネットワーク会議の開催 年2回

事業名	ハッピーエンゼル支援事業
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり妊娠・出産にかかるリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対し、不妊治療、早期不妊検査、不育症検査に係る費用の負担軽減を図ることを目的として事業を実施することにより、少子化対策等の推進を目指す。
○事業概要	
【対象】	子どもを望む夫婦で、不妊治療費の補助、早期不妊検査費、不育症検査費の補助を希望する方
【方法】	申請により、基準に該当する方に補助を実施 事業の周知等を実施し、必要な方の利用を推進する。
【手順】	①不妊治療費補助事業…不妊治療にかかる費用のうち埼玉県不妊治療費助成事業に合わせて助成(上限10万円)。 男性不妊治療も助成 ②早期不妊検査費・不育症検査費補助事業…早期不妊検査・不育症検査にかかる費用の一部を1回のみ助成(上限2万円)
OR1計画(目標)	不妊治療費補助、早期不妊検査費補助、不育症検査費補助の実施
OH30実績	不妊治療費補助件数71件 早期不妊検査費補助件数32件 不育症検査費補助件数6件

事業名	虐待防止講演会及び深谷市子育て支援ネットワークの開催
実施機関	深谷市(こども未来部 こども青少年課)
現状・課題等	児童虐待の早期発見、防止につなげる

○事業概要	
【事業名】	虐待防止講演会
【対象】	要保護児童対策地域協議会関係機関、主任児童委員、保育園保育士、幼稚園教諭、小中学校教諭等
【方法】	虐待予防月間に合わせ講演会を年1回開催 関係職員の虐待に対する理解を深め、実際の対応方法を学ぶ
【事業名】	深谷市子育て支援ネットワーク会議
【対象】	公立子育て支援センター 3か所、私立子育て支援センター 13か所、母子健康包括支援センター、こども青少年課
【方法】	深谷市子育て支援ネットワーク会議を年3回開催 相談業務に関する研修、情報共有、事例検討を行い相談業務のスキルアップを図る。
OR1計画(目標)	虐待予防月間に合わせ講演会を年1回開催 深谷市子育て支援ネットワーク会議を年3回開催
OH30実績	虐待防止講演会 参加者 83名 深谷市子育て支援ネットワーク会議を年1回開催

事業名	障害児通所支援及び障害者相談支援
実施機関	深谷市(障害福祉課)
現状・課題等	障害児等への支援の充実
○事業概要	
【事業名】	障害児通所支援
【方法】	心身に障害や発達の遅れがある児童を対象に、通所または訪問により、療育・訓練等の支援を行う。サービスの種類として、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援がある。
【手順】	申請により審査を行い、支給決定となった後、サービス利用開始となる。
【事業名】	障害児相談支援
【方法】	障害のある児童の心身の状況や環境、利用に関する意向を勘察し、障害児支援利用計画を作成するとともに、一定期間ごとに計画内容の見直しも行う。
【手順】	特定相談支援事業所に相談を行う。
OR1計画(目標)	特定相談支援事業所の活用方法について情報提供を行い、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用を促すことで、各種サービスの支給決定・利用へと繋げてゆく。(通所支援の普及啓発)
OH30実績	①児童発達支援(利用実績 35人) ②放課後等デイサービス(利用実績 192人) ③障害児計画相談支援(利用実績 81人)

事業名	不妊治療費、不妊・不育症検査費助成事業の継続と普及啓発
実施機関	寄居町
現状・課題等	不妊治療・不育症検査・不育症検査費用の助成を実施している。
○事業概要	
【対象】	妊娠・出産を望む婚姻上の夫婦 * 年齢等詳細は各要綱による
【方法】	
【手順】	広報誌等で本事業のPRを行う。
OR1計画(目標)	不妊治療費、不妊・不育症検査費助成事業の継続と普及啓発
OH30実績	費用助成: 不妊治療費助成 9件、不妊検査費助成 7件 事業PR: 町公式ホームページに掲載して周知

事業名	寄居版ネウボラ開設準備事業
実施機関	寄居町

現状・課題等	子育て世代包括支援センターが未設置である。
○事業概要	
【対象】	妊娠から出産・子育て世代の児及びその家族
【方法】	関係課と調整し、寄居版ネウボラの開設準備を行う
【手順】	近隣市町村の実施状況を踏まえ、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援の実現に向け関係部署と調整を行う。
OR1計画(目標)	子育て世代包括支援センター開設 養育支援訪問事業の実施
OH30実績	子育て包括支援センター開設に向けた準備

【本庄管内】

事業名	特定不妊治療等助成事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	晩婚化や晩産化等に伴い、不妊や不育症等に悩む夫婦が増えている。
○事業概要	
【対象】	住民、医療機関、市町、保健所
【方法】	申請に基づく助成金の支給
【手順】	ホームページやパンフレットで事業の周知を行い、望まれる方が助成金の支給を円滑に行うことができる。
OR1計画(目標)	不妊や不育症に悩む夫婦が、必要な治療や相談を受けられるよう制度の情報等を提供する。
OH30実績	特定不妊治療費助成 国助成164件、県助成13件

事業名	長期療養児教室
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	医療の進歩に伴って、在宅で生活する医療的ケアが必要な子供が増えているが、地域の中での繋がりが少ない。
○事業概要	
【対象】	小児慢性特定疾病受診者及び保護者、管内市町、訪問看護ステーション等
【方法】	講演及びグループワーク
【手順】	年2回、対象者へ郵送等により周知し、実施する。
OR1計画(目標)	医療的ケアを行いながら、在宅で生活する親子が、知り合う機会と必要な情報等を提供する。
OH30実績	長期療養児教室を2回開催し、講演及びグループワークを行い、参加者間での情報共有等を行った。参加者数延29人(受診者及び保護者延7人、関係機関職員延22人)

事業名	子供の心の健康づくり事業、ふれあい親子支援事業、母子保健連携調整会議
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	児童虐待の相談件数が増加傾向にあり、またコミュニケーションが苦手といった発達に課題がある子供の支援のニーズが高まっている。虐待予防及び子供の健やかな成長のために、関係機関が連携し、支援に取り組む必要がある。
○事業概要	
【対象】	住民、市町職員、児童福祉施設、教育等の担当職員
【方法】	グループワーク、研修、会議
【手順】	各町と共同したグループワークの実施。 講演、連携会議、情報交換等を実施。

OR1計画(目標)	関係機関の担当職員が、子供と養育者について、理解を深め、連携して支援ができるよう研修等の機会を提供する。
OH30実績	子供の心の健康に関する研修等3回延138人、妊娠期からの虐待予防強化事業に関する研修1回23人、会議2回延22人、グループワーク15回延25人(親と子)

事業名	不妊治療費助成事業
実施機関	本庄市
現状・課題等	不妊に悩む夫婦の不妊治療費等に対して助成金を交付することにより、経済的負担を軽減し、少子化対策、次世代育成の推進、定住促進を図る。
○事業概要	
【対象】	一般・特定不妊治療を受けていて、本庄市に1年以上在住している夫婦等
【方法】	本庄市不妊治療費助成金交付要綱、本庄市早期不妊検査費・不育症検査費助成金交付要綱による。
【手順】	広報やHP等で周知を図る。
OR1計画(目標)	不妊治療費助成等を行うことで、不妊に悩む夫婦が少しでも早期に不妊治療を始める後押しになるようHP・パンフレット配布等で周知を図る。
OH30実績	不妊治療費助成:79件 早期不妊検査費助成:23件 不育症検査費助成:3件

事業名	発達教育支援センター事業
実施機関	本庄市
現状・課題等	発達障害と疑われる、あるいは発達障害を抱える子どもたちとその保護者への支援のため、臨床心理士や言語聴覚士、作業療法士などの専門スタッフを充実させるとともに、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携にも重点を置き、支援の充実を図る。
○事業概要	
【対象】	未就学児、児童生徒、保護者、保育所(園)・幼稚園・学校等関係者
【方法】	さくらんぼ教室、訪問(個別支援、クラス支援)、就学支援、発達検査、事例検討会、相談支援ファイル作成支援、研修会、個別相談の実施
【手順】	未就学児や児童生徒の保護者、または保育所(園)、幼稚園、学校関係者から相談
OR1計画(目標)	発達障害を疑われる、あるいは発達障害を抱える子どもたちとその保護者等への支援をすることによって、子どもたちが地域社会で自立した生活ができるようにする。
OH30実績	さくらんぼ教室 実施回数 41.5回 参加延人数502人 訪問(個別支援) 延回数 107回 延人数 1,059人 訪問(クラス支援) 延回数 62回 延人数 7,252人 就学支援 年長児相談実人数 61人 年長児発達検査実人数 27人 発達検査 実人数116人 事例検討会 実施回数 27回 検討延人数 29人 相談支援ファイル作成支援 累計24人 研修会 実施回数 6回 159人 個別相談 延人数 961人

事業名	美里町早期不妊検査費・不育症検査費助成事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	子どもを望む夫婦に対し、不妊検査・不育症検査に係る費用の一部を助成している。
○事業概要	
【対象】	不妊検査・不育症検査を受けた夫婦
【方法】	不妊症・不育症の検査に係る費用に対し、夫婦1組に対し4万円を限度としてそれぞれ1回限り助成
【手順】	
OR1計画(目標)	子どもを望む夫婦に対し不妊検査・不育症検査に係る費用の負担軽減を図る。
OH30実績	不妊検査費助成:3組 不育症検査費助成:0組

事業名	美里町不妊治療費助成事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	不妊治療に係る費用の負担軽減を図るため、治療費の一部助成を実施している。
○事業概要	
【対象】	特定不妊治療を受けた夫婦
【方法】	埼玉県不妊治療費助成事業による助成金を控除した額とし、夫婦1組につき1年度当たり1回のみ10万円を限度に通算5年度、また、男性不妊治療にあつては、5万円を限度として助成。(妻に係る特定不妊治療に対する助成が通算5年度に達したときは助成しない。)
【手順】	
OR1計画(目標)	経済的負担の軽減を図ることで、治療を受ける機会を増大し、少子化対策及び次世代育成支援の推進を図る。
OH30実績	不妊治療費助成:5組

事業名	小児医療に関する適切な受診などの普及啓発
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	赤ちゃん訪問でPRしている。
○事業概要	
【対象】	住民
【方法】	広報みさとの掲載。赤ちゃん訪問等でチラシ配布。
【手順】	赤ちゃん訪問は全戸訪問実施。その際に、救急相談センター#7119・小児救急電話相談#8000・休日急患診療所・在宅当番医・救急医療情報センター・児玉郡市広域消防本部等の情報を提供している。県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を配布している。
OR1計画(目標)	小児医療の普及と啓発
OH30実績	赤ちゃん訪問:67件

事業名	休日急患診療所運営事業・在宅当番医制運営事業・病院群輪番制運営事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	休日の救急医療体制の維持、充実
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	
【手順】	
OR1計画(目標)	地域住民の急病患者の診療確保
OH30実績	本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営

事業名	小児救急医療支援事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	小児救急医療体制の維持、充実
○事業概要	
【対象】	小児
【方法】	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・藤岡総合病院後方支援事業 ・伊勢崎市民病院後方支援事業
【手順】	

OR1計画(目標)	休日・夜間を含め、小児救急患者の受け入れができる体制を確保する。
OH30実績	熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業及び熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業においては、熊谷市・行田市・深谷市・寄居町・本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営 藤岡総合病院後方支援事業及び伊勢崎市民病院後方支援事業においては、本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営

事業名	カンガルー教室
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	発達障害の疑いのある児や、子育てに不安を持つ保護者への支援の充実を図る。
○事業概要	
【対象】	健診や健康相談等において、運動面や発達面で継続した指導が必要と思われる幼児及びその保護者、並びに育児に不安を持つ保護者。
【方法】	月1回、作業療法士や保健師が親子の楽しい遊びを通して、日常生活の関わり方等相談支援を行う教室。
【手順】	
OR1計画(目標)	運動面や発達面で継続した指導が必要と思われる幼児及びその保護者を対象に、親子の遊びを通して、作業療法士や保健師が育児を支援し適切な療育へ繋げる。
OH30実績	延 40組83人

事業名	発達相談
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	発達障害の疑いのある児や、子育てに不安を持つ保護者への支援の充実を図る。
○事業概要	
【対象】	カンガルー教室参加者の中で個別に発達相談が必要な方。
【方法】	年4回、カンガルー教室参加時に希望者や必要な方に声かけを行い、作業療法士、保健師による個別相談を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	発達面や家庭の保育上の問題の軽減を図るため適正な指導助言を行う。
OH30実績	延 5組5人

事業名	ことばの相談
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	発達障害の疑いのある児や、子育てに不安を持つ保護者への支援の充実を図る。
○事業概要	
【対象】	健診や育児相談等において、言葉の発達に対して心配のある児及びその保護者。
【方法】	月1回、言語の発達に心配のある児に対して、言語聴覚士による相談、助言指導を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	言語の発達に心配のある児の成長発達を促すとともに、家族の保育上の問題の軽減を図る。
OH30実績	延 34組68人

事業名	要保護児童対策地域協議会実務者会議
実施機関	美里町(住民福祉課)
現状・課題等	児童虐待を防止するため、関係機関との連携を強化する。
○事業概要	
【対象】	要保護児童・要支援児童・特定妊婦
【方法】	年1回、各機関の実務担当者が集まり、要対協が対象とする全ての進行管理として、ケースの状況及び主たる支援機関の確認、支援方針の見直しを行う会議
【手順】	
OR1計画(目標)	要保護児童等に対し、関係機関と連携し、支援の充実を図る。
OH30実績	H31.3月実施

事業名	発達障害に関わる巡回支援
実施機関	美里町(住民福祉課)
現状・課題等	発達障害児への支援の充実
○事業概要	
【対象】	町内各保育園、幼稚園児
【方法】	各保育園、幼稚園に対し、巡回相談員による巡回相談を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	各園に対し年3回の園訪問を実施し、助言、相談支援を実施する。
OH30実績	延4回実施

事業名	早期不妊検査・不育症検査費助成
実施機関	神川町
現状・課題等	年間出生80人前後で出生率5.3(人口千対)(平成27年度)と年々減少傾向にある。産前産後を支える公的サービスや社会資源もほとんどなく、安全で安心して子育てできる子育て環境の整備が必要。また、妊娠期から生涯にわたる継続的な支援体制の構築を図る必要がある。
○事業概要	
【対象】	以下の全ての項目に該当する夫婦 【不妊検査・不育症検査】 夫婦の双方又は一方が、神川町に住民登録をしていること 不妊検査開始時の妻の年齢が43歳未満であること 町民税等を滞納していないこと 【不育症検査】 法律上の婚姻をしていること
【方法】	上限を2万円とし、不妊検査にかかった費用の自己負担額を助成(1,000円未満の端数は切捨てる。助成回数は1組の夫婦に1回限り)
【手順】	県補助金により運営
OR1計画(目標)	年齢を重ねるとともに妊娠率が下がるとともに流産率など妊娠・出産に係るリスクが高まる。
OH30実績	2件

事業名	小児救急の知識や#7119・#8000、休日急患診療所等の普及啓発
実施機関	神川町
現状・課題等	小児救急の知識や情報の普及啓発
○事業概要	
【対象】	乳幼児、小児をもつ保護者
【方法】	赤ちゃん訪問や6ヵ月児健診での説明及び広報、HP、チラシ、冊子での啓発等。赤ちゃん訪問時等に県作成の救急ミニガイドブックも併せて配布
【手順】	
OR1計画(目標)	赤ちゃん訪問や健診時に、病気や怪我の対応に関する知識を深めたり、受診方法を知り、保護者が緊急時に対応できる力を身につける。また周知度を高める。
OH30実績	赤ちゃん訪問 60件、乳幼児健診受診者数 449人

事業名	休日・夜間救急診療体制の整備
実施機関	神川町
現状・課題等	休日・夜間救急診療体制の充実
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	・休日急患診療所運営事業 ・在宅当番医制事業 ・平日夜間診療事業 ・病院群輪番制病院運営事業
【手順】	本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営

OR1計画(目標)	事業の継続と維持を図る。
OH30実績	本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により事業継続

事業名	小児救急医療体制の整備
実施機関	神川町
現状・課題等	小児救急医療体制の充実
○事業概要	
【対象】	小児
【方法】	・熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・県外小児救急医療後方支援事業(公立藤岡総合病院・伊勢崎市民病院) ・小児救急医後方支援事業(深谷赤十字病院)
【手順】	・県北6市町または郡市4市町の負担金により運営
OR1計画(目標)	事業の継続と維持を図る。
OH30実績	県北6市町または郡市4市町の負担金により事業継続

事業名	療育相談
実施機関	神川町
現状・課題等	発達障害児への支援の充実
○事業概要	
【対象】	乳幼児、児童、生徒、その家族
【方法】	・理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士による相談・支援 ・微細運動、粗大運動、情緒に関すること、口の機能、言語機能について助言、指導
【手順】	乳幼児健診や育児相談の場面で、支援の必要な方へ周知、勧奨
OR1計画(目標)	身近な地域で発達の支援を行うことで安心して相談につなげることが出来、また支援を受けやすくする。
OH30実績	療育相談 実施回数56回、実参加人数29人、延べ参加人数202人

事業名	心理相談
実施機関	神川町
現状・課題等	発達障害児への支援、その家族を支える支援
○事業概要	
【対象】	乳幼児、小児、その家族
【方法】	発達に関すること、子どもの心理に関することについて助言、指導
【手順】	乳幼児健診や育児相談の場面で、支援の必要な方へ周知、勧奨
OR1計画(目標)	発達障害児の早期発見、早期支援を行い、子育ての不安軽減を図る。また、情報の普及啓発を行う。
OH30実績	心理相談 実施回数13回、実参加人数29人、延べ参加人数58人

事業名	神川町要保護児童対策地域協議会
実施機関	神川町
現状・課題等	児童虐待防止のための体制強化
○事業概要	
【対象】	虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童
【方法】	代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を実施する。
【手順】	要保護児童等対策調整機関による進行管理 協議会内の共通理解 支援・援助の実施 支援・援助内容の確認と蓄積
OR1計画(目標)	関係機関と連携をし、子育て不安の軽減や孤立を防ぎ、虐待予防を行う。また、虐待発生時に迅速、的確な対応を図り、被虐待児の健全な育成に努める。
OH30実績	代表者会議1回、実務者会議3回、個別ケース検討会議3回

事業名	①上里町不妊症治療助成事業 ②上里町早期不妊症検査・不育症検査助成事業
------------	--

実施機関	上里町
現状・課題等	不妊症治療・不妊症検査・不育症検査の助成に係る情報の啓発
○事業概要	
【対象】	妊娠を希望する住民
【方法】	広報・ホームページ・フェイスブックで引き続き周知を図る。各個人の治療や検査の内容に合わせた情報の提供を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	不妊症治療・不妊症検査・不育症検査の助成件数。
OH30実績	申請件数:不妊治療費38件 早期不妊検査費15件

事業名	子供の発達支援巡回事業
実施機関	上里町
現状・課題等	保育所や幼稚園等に就園している場合は、各施設の職員が発達が気になる子供への対応を行っている。各施設での適切な支援について、専門職から助言をしてもらう機会が少ない。
○事業概要	
【対象】	町内保育所・幼稚園等に通う子供
【方法】	専門知識を有する者が保育所・幼稚園等を巡回訪問し、発達が気になる子供の早期支援に関して職員等に助言等を行う。
【手順】	①事前に発達が気になる子供の情報を提供してもらう。 ②各園を巡回訪問し、対象となった子供の様子を観察した後、職員等に専門家より助言等を行う。
OR1計画(目標)	発達が気になる子供に対して、適切な早期支援が行われるようにする。
OH30実績	子供の発達支援巡回事業 26回

事業名	上里町要保護児童対策地域協議会
実施機関	上里町
現状・課題等	要保護児童の早期発見や適切な保護及び要保護児童等への適切な支援を図るため、協議会を設置し関係機関との連携を取っている。
○事業概要	
【対象】	要保護児童並びにその家族
【方法】	児童相談所、保健センター、警察、保育園等の関係機関によって構成される協議会により、必要に応じ会議を開催する。
【手順】	要保護児童の適切な保護を図るため、会議において必要な情報の交換を行うとともに、要保護児童等に対する支援等の内容に関する協議及び調整を行う。
OR1計画(目標)	「代表者会議」年1回、「実務者会議」年2回、「ケース会議」を必要に応じて開催する。
OH30実績	「代表者会議」年1回、「実務者会議」年2回、「ケース会議」1回開催。

○事業分野

2 在宅医療(在宅歯科診療を含む)

○目標

在宅での療養を希望する患者が住み慣れた地域に必要な医療を受けられるよう、地域における医療や介護の多職種連携を図りながら24時間体制で在宅医療が提供される体制の構築を目指します。
また、それを支える在宅医療に関わる多職種の人材確保・育成に取り組みます。

○主な取組

- 在宅医療提供体制の整備
- 患者を支える多職種連携体制の整備
- 医療・介護需要の増加に対応するための人材確保・育成
- 在宅医療に関する情報提供

実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、介護関係

○圏域別取組実施状況

医師会

【熊谷管内】

事業名	在宅医療提供体制充実支援事業
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	県の補助を活用し、在宅医療提供体制充実支援事業を推進する。
【手順】	埼玉慈恵病院に設置してきた熊谷在宅医療支援センターと往診医の登録については、熊谷市に移行したため、必要な支援に努める。 また、在宅療養支援ベッドを引き続き輪番により確保する。
OR1計画(目標)	事業概要と同様 なお、県の補助金を活用し、市と共催で、次の2件の研修を実施する。 ・令和元年9月17日(火)に、在宅医療・介護連携推進研修会を開催し、看取り期における在宅医療について、登録往診医と訪問看護教育ステーションの取組事例から状況を把握し、今後の連携策を検討する。 ・新規に、市と共催で、令和元年10月21日(月)に、在宅緩和ケア地域連携構築研修会を開催し、訪問看護教育ステーションを併設し在宅医療を推進する民間病院と、緩和ケア病棟を有する県立の循環センターとの連携状況を把握し、今後の連携策を検討する。 また、介護サービスを受ける際の共通健康診断書の統一化を図り、市の医療・介護連携及び認知症施策推進会議等での検討を経て、周知する。
OH30実績	事業概要を踏まえ実施した。 なお、県の補助金を活用し、市と共催で、平成30年11月19日(月)に在宅医療・介護連携推進研修会を開催し、地域の中堅医療機関における看取り期の在宅医療の実践例の講演と多職種によるグループワークを行い、地域包括ケアを推進する上での課題を抽出した。 また、介護サービスを受ける際の共通健康診断書の統一に向けて検討を進めた。

事業名	在宅医療連携拠点相談業務
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	在宅医療を住み慣れた地域で安心して受けたいと希望する方に対して、在宅医療・療養に関する相談の促進
○事業概要	
【対象】	医療・介護関係者及び地域住民(患者本人及びその家族等)
【方法】	コーディネーター(看護師・ケアマネ有資格)による在宅医療・療養等に関する情報提供及び支援
【手順】	電話及び窓口での相談受付(月～金の9:00～17:00)
OR1計画(目標)	・深谷寄居在宅医療連携室について地域住民への更なる周知
OH30実績	・相談件数 197件

事業名	多職種連携推進の研修会等
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	深谷市・寄居町の医療・介護に関わる関係団体・機関との連携促進と情報共有
○事業概要	
【対象】	医療・介護に係る関係団体・機関
【方法】	知識の修得、情報交換
【手順】	研修会・交流会の開催
OR1計画(目標)	・多職種連携研修会(ACPの普及啓発・事例検討) ・在宅緩和ケアの連携体制構築についての協議会
OH30実績	・MCSを利用した多職種による情報共有勉強会 1回開催 参加者55人 ・医療・介護職の交流会 2回開催 参加者128人

事業名	在宅医療・介護連携講演会
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	在宅療養の不安解消や方法についての理解と促進
○事業概要	
【対象】	医療・介護関係者及び地域住民
【方法】	在宅医療について知識・情報の共有
【手順】	在宅医療を進めている講師による講演会の開催
OR1計画(目標)	・在宅医療・介護連携講演会 1回開催
OH30実績	・在宅医療・介護連携講演会 1回開催 参加者345人

【本庄管内】

事業名	在宅医療推進事業
実施機関	本庄市児玉郡医師会
現状・課題等	現在、医師会では在宅医療を推進するために、ICTを利用した情報共有事業を展開している。また、行政等が主催する各種研修会への協力している。登録医や登録患者が増えていない状況を鑑みると在宅医療拠点の事業内容が関係事業者への周知が行き届いていない。
○事業概要	
【対象】	在宅拠点、医師、行政及び介護関係者等
【方法】	在宅医療拠点事業の周知
【手順】	広報等による医師会在宅拠点の関係事業者への周知を図る。 在宅拠点によるICT窓口によるICT利用の促進を図る。 関係事業等を集めて研修会等を開催し在宅医療の問題点等の情報を共有する。
OR1計画(目標)	在宅医療拠点事業の展開
OH30実績	多職種連携のためのICT案内窓口毎週水曜、多職種連携を考える会6回開催、多職種交流会1回開催、本庄市児玉郡在宅医療推進協議会2回開催、児玉郡市町担当者との会議9回参加

歯科医師会

【熊谷管内】

事業名	歯科訪問診療
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	現時点では施設(560件)からの新規患者が最も多く、次いで居宅(64)、病院(40)となっている。
○事業概要	
【対象】	在宅療養者
【方法】	訪問診療
【手順】	受診希望者は熊谷市歯科医師会事務局へ連絡、予備診査の後、かかりつけ歯科医がある場合はそちらで、無い場合には歯科訪問診療推進委員会で対応する。
OR1計画(目標)	訪問歯科診療の存在を知らない患者さんも多いので、歯科医師会のみではなく、連携多職種からも周知を図って行きたい。
OH30実績	歯科医師会への申込者数。居宅14名、病院25名。

事業名	口腔アセスメント
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	熊谷総合病院、熊谷生協病院と連携し、良好な関係を築いている。今後は、より幅広い対応のために、連携医療機関を増やし、他職種での連携を進めていく必要がある。
○事業概要	
【対象】	入院患者
【方法】	連携病院への訪問
【手順】	歯科訪問診療推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会の委員が連携病院へ訪問、アセスメント表を用いて実施。
OR1計画(目標)	対象病院を拡大し、退院後のフォローも含めた連携体制の確立。
OH30実績	熊谷総合病院(58名)、熊谷生協病院(26名)において実施された。

事業名	地域包括ケア推進委員会
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	歯科医師会一般会員の地域包括ケアへの認識の向上。
○事業概要	
【対象】	会員及び歯科衛生士
【方法】	年間数回の委員会を実施し、情報交換、検討を行う。
【手順】	必要に応じて合同会議を行う。
OR1計画(目標)	摂食嚥下治療のための勉強会の開催。一般会員への地域包括ケアシステムの周知。
OH30実績	委員会の開催、地域ケア会議への参加。多職種連携のための地域包括ケア推進研修会の開催。

事業名	在宅歯科医療推進事業
実施機関	大里郡歯科医師会
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業(拠点施設の設置・衛生士確保・病院アセスメント・多職種連携)を基に在宅歯科医療の充実化を進める。歯科医師会会員のスキルアップを図り、協力歯科医院の増加を目指す。
○事業概要	
【対象】	郡市歯科医師会会員・拠点施設衛生士
【方法】	定例会にて説明及び協力依頼、勉強会の実施
【手順】	チラシによる広報活動

OR1計画(目標)	入院患者嚥下機能の評価、機能障害のアドバイス
OH30実績	担当歯科医師5名と拠点の歯科衛生士で、あねとす病院のアセスメントを月1回行った。4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、1月17日、2月14日、3月14日

事業名	在宅歯科医療研修会・疾患別対応スキルアップ研修会
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業の充実を進める。地域格差の是正。
○事業概要	
【対象】	埼玉県歯科医師会会員
【方法】	研修会の開催
【手順】	在宅歯科医療について、脳卒中・認知症対策について研修
OR1計画(目標)	研修会参加者の増加
OH30実績	7月25日(水)埼玉グランドホテル深谷 第1回地域在宅歯科医療推進体制整備事業研修会「高齢化に伴う摂食嚥下機能の低下とその評価方法について」明海大学摂食嚥下リハビリテーション科准教授 大岡貴史先生 10月26日(金)埼玉グランドホテル深谷 第2回地域在宅歯科医療推進事業研修会「抗がん剤治療における歯科治療と口腔ケア 免疫チェックポイント阻害剤とは」東京歯科大学歯科麻酔学講座准教授 松浦信幸先生

事業名	社会福祉法人「花園」歯科健診
実施機関	大里郡市歯科医師会
現状・課題等	障害者の口腔状態の把握と職員に対する歯科口腔保健の普及
○事業概要	
【対象】	「花園」入所者・通所者 約100名
【方法】	歯科医師会会員の先生10名による歯科健診
【手順】	
OR1計画(目標)	10月中に実施予定
OH30実績	10月25日(木)社会福祉法人「花園」 97名の入所者・通所者に歯科健診実施

事業名	障害者等歯科保健医療推進事業
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	小規模障害者施設の職員・家族に対する歯科口腔保健の啓蒙
○事業概要	
【対象】	障害者支援施設職員・家族
【方法】	歯科医師会会員が施設に赴き、お口の健康についてのミニ講演会を行い職員家族の歯科口腔保健に対する日ごろの悩みや疑問点に答える。
【手順】	
OR1計画(目標)	実施は未定
OH30実績	実績なし

【本庄管内】

事業名	在宅歯科診療・訪問診療受付推進窓口
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	超高齢化社会が進むなか、在宅訪問歯科診療の必要性が急速に増えて来ている。歯科医師会として、この状況に対応すべく措置として、在宅推進窓口を開設。歯科衛生士も常駐にて対応し、また他職種連携も行い、様々な領域からの依頼も行えるように、構築している。
○事業概要	
【対象】	本庄市児玉郡在住の方
【方法】	本庄市児玉郡歯科医師会 在宅推進窓口 にて連絡
【手順】	依頼者は、本庄市児玉郡歯科医師会 在宅推進窓口に連絡。 本会の専属歯科衛生士から 会員の先生連絡し、在宅診療していく手順。
OR1計画(目標)	開設4年目。昨年よりも利用者が増えてきた。口腔アセスメントから、治療に移る患者さんも出て来ており、更なる需要も高めていきたい。
OH30実績	開設3年を迎え、少しずつではあるが利用されるようになってきた。また多職種連携のネットワークからの問い合わせも増え始めるようになった。

事業名	歯科口腔アセスメント
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	口腔アセスメントによって、治療の必要性があるかどうか、確認し説明をおこなう。最近では、治療に移行していくことが多くなってきた。病院や施設の入居者など、自分では、治療の必要性の判断や、治療したくても伝えられない方を積極的にフォローしていくことが、求められるようになってきている。
○事業概要	
【対象】	青木病院(入院患者)
【方法】	毎月 第3木曜日に歯科医師会の先生が出向き 口腔アセスメントを行う。
【手順】	上記の方法、手順により、歯科医師会を通して口腔アセスメントを行い、実際に治療に至っているケースが、確実に増えている。
OR1計画(目標)	口腔アセスメントから、治療に移行していくケースが多くなり、必要かつ重要になってきている。
OH30実績	実際に口腔アセスメントから、患者さんとして治療に移行するケースが多くなってきていて、需要率が高まってきた。

事業名	口腔機能トレーニング事業
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、吉沢病院
現状・課題等	オーラルフレイルによる介護度のレベルが、一気に上がってしまう問題について、病院レベルで、協力して頂き、口腔機能訓練を開始。自分のお口で、食事することの重要性や、呼吸の仕方(鼻呼吸)で、健康的な状態まで、近づくことが出来ると注目され始めている。
○事業概要	
【対象】	吉沢病院 要介護認定 患者
【方法】	歯科医師会の先生が病院に行き、口腔トレーニング及び検査値を測る。
【手順】	吉沢病院にて、要介護者を中心に口腔トレーニング指導を行う。開始前の検査値と終了後の検査値を歯科医師会が検証。また、実際の生活での効果が出ているのか、病院側からの報告も合わせて検討していく。
OR1計画(目標)	高齢化社会に向けて、誤嚥性肺炎などの予防を行い、オーラルフレイル、健康の保持増進、医療費削減を目標とする。
OH30実績	多くの患者に舌圧、口腔閉鎖能力の改善等、口腔機能の増進がみられ、嚥下能力の向上による誤嚥性肺炎の減少が期待できた。日本老年歯科医学大会及び埼玉県歯科医学大会で発表。

薬剤師会

【熊谷管内】

事業名	在宅医療推進、無菌調剤室共同利用
実施機関	熊谷薬剤師会
現状・課題等	在宅医療における薬剤師の職能の向上と、地域の医療機関・介護施設との連携の強化を図る。また、在宅医療に資するため、無菌調剤室の共同利用を促進する。
○事業概要	
【対象】	薬剤師、在宅医療に関わる多職種
【方法】	研修会、検討委員会、ワールドカフェ
【手順】	在宅医療における薬剤師の職能向上のための研修会を開催する。 多職種との連携を図るため、地域ケア会議等への会員薬剤師の派遣、ワールドカフェによる多職種の情報交換会の開催等を行う。 無菌調剤室の共同利用促進のための研修会等を開催する。
OR1計画(目標)	1. 地域医療連携・在宅医療に関する会議・研修会等 10回開催 2. 地域ケア会議 40回開催 3. 多職種ワールドカフェ 3回開催 4. 無菌調剤研修会 2回開催
OH30実績	1. 地域医療連携・在宅医療に関する会議・研修会等 9回開催 28人参加 2. 地域ケア会議 29回開催 29人参加 3. 多職種ワールドカフェ 3回開催 115人参加

事業名	在宅医療に関する講習会・勉強会の実施
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	在宅医療に関する薬剤師の知識向上
○事業概要	
【対象】	薬剤師会会員
【方法】	薬剤師会会員の在宅医療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を実施します。
【手順】	薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。
OR1計画(目標)	・深谷市薬剤師会主催勉強会の開催 ・各種勉強会・研修会への参加推奨と支援
OH30実績	・深谷市薬剤師会勉強会(H30.6.27 おむつの基本的な使い方)

事業名	健康まつり等における在宅介護相談の実施 (薬剤師と在宅医療について地域住民に伝えるため)
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	薬剤師と在宅医療のかかわりについて地域住民に啓蒙する。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	健康まつり等に参加し、薬剤師の役割を伝えます。
【手順】	健康まつり等で介護相談に対応します。
OR1計画(目標)	・健康まつり等において地域住民に対する啓蒙活動を行う
OH30実績	・薬と健康フェア(熊谷薬剤師会主催)に参加 (H30.6.24) ・森の音楽祭(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H30.10.14) ・深谷健康福祉まつり(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H30.10.27～28) ・うめまつり(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H31.3.2～3)

事業名	在宅医療をすすめるための他職種連携の推進
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	在宅医療に関わる医療関係者や介護・福祉関係者との連携強化を図る。
○事業概要	
【対象】	深谷市薬剤師会会員
【方法】	他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。
【手順】	他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。
OR1計画(目標)	在宅医療関連研修会・活動への参加
OH30実績	・在宅医療症例検討会に参加(3回)

事業名	在宅医療提供体制の整備
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	提供体制の整備においてはハード、ソフト両面において立ち遅れている状況なので、患者様の声を聞きながら、その需要を把握してそれについてどう対応できるか、今はできないがいつぐらいには可能性が出てくるのかという点を引き続き会員同士で研修を行う。
○事業概要	
【対象】	会員薬局の薬剤師やスタッフ
【方法】	薬局が在宅医療に携わることができることを周知する。
【手順】	令和元年度における寄居町地域包括ケアシステム推進会議の中で会議において課題となっていることに着目して薬局・薬剤師がどのように関わっていけるか理解して、できることを実践していく。
OR1計画(目標)	地元の埼玉よりい病院が開催する第5回の地域包括ケアの研究発表会に代表者が出席し、寄居薬剤師会内で伝達講習会を実施する。
OH30実績	地元の埼玉よりい病院が開催する地域包括ケアの研究発表会(第4回10月)に代表者が出席し、寄居薬剤師会内で伝達講習会を実施し薬局・薬剤師の役割を再認識しました。(1回開催)

事業名	患者を支える多職種連携体制の整備
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	在宅医療に関わる医療・介護・福祉の関係者間の連携は、関連した研修会に参加する会員が増えてきて着実に進展しており、それがもっと多く会員に理解され、連携構築の充実につながるように場かずを重ねることが重要である。
○事業概要	
【対象】	寄居薬剤師会会員
【方法】	寄居町や近隣自治体で多職種が集まる研修会を会員に積極的に告知する。
【手順】	研修会に参加して福祉や訪問看護、介護らの職種の皆さんと協議をして必要な情報を共有し、連携していく中で、特に薬に関する話題を聞き取り支援できる事があれば行動に移す。
OR1計画(目標)	県北地域の包括ケアシステム会議が主催する多職種による症例検討会に代表者が出席し、その内容を寄居薬剤師会内で伝達講習会を実施。年1～2回。寄居町ケアマネジャーの会へ演題「精神神経用剤について」の講師を派遣する(11月)1回。
OH30実績	埼玉県地域包括ケアシステムに関わる多職種による症例検討会に代表者が出席し、寄居薬剤師会内で伝達講習会を実施し薬剤師の役割を再認識しました。(1回開催)

事業名	在宅医療に関する情報提供
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	健康まつりで来場者にパンフレット配布し、また寄居町社会福祉協議会にも同じものを置いていただき告知の助けをいただいている。なお当会ホームページ中に専用サイトの作成準備中である。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	(一社)日本薬剤師会作成のパンフレット「薬のことで困っていませんか?」を配布する。
【手順】	令和元年1年11月10日健康まつりにおいて来場者に配布します。 また寄居薬剤師会のホームページにおいて在宅医療に関する情報を随時掲載します。
OR1計画(目標)	令和元年1年11月10日寄居町健康まつりにおいて来場者に配布します(1回)。また関連する良い資料があれば入手して当日配布します。
OH30実績	平成30年11月11日健康まつりにおいて来場者に配布しました。(来場者約380名)寄居薬剤師会のホームページにおいて在宅医療に関する情報を随時掲載については、未だできていません。

【本庄管内】

事業名	在宅医療提供体制の整備
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	郡市内にたくさんの施設が増えている。在宅医療を望む患者もいるが、色々な事情で施設に入所する患者もいる。在宅医療を希望する患者を増やすことも大切。
○事業概要	
【対象】	会員薬局
【方法】	研修会に参加及び既に整備されている薬局から情報を得る。
【手順】	在宅医療に関わる薬剤師を増やす。
OR1計画(目標)	在宅医療に関わる会員を増やしたり、携わっている会員の話を参考にする。
OH30実績	前年度より、関わる会員は増えた。

事業名	多職種連携体制の整備
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	MCS等を用いて多職種連携体制を強化したい。また、MCSに参加する薬剤師を増やしたい。
○事業概要	
【対象】	医療福祉介護関係者及び家族
【方法】	MCSやお薬手帳を活用する。
【手順】	患者を支える周囲の人たちとコミュニケーションをとる。

OR1計画(目標)	お薬手帳に、患者さんと関わる人を記入してもらい活用する。
OH30実績	少しずつだが、お薬手帳に記入する人が増えているが、まだまだ未記入の人が多い。

事業名	在宅医療に関する情報提供及び人材確保・育成
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	在宅医療を希望する患者さんを増やせる様に努力する。
○事業概要	
【対象】	会員薬局・地域住民
【方法】	行政及び県薬が作成したリーフレット等を活用する。
【手順】	在宅医療のメリットを理解し、薬剤師の役割も理解してもらう。
OR1計画(目標)	在宅医療に関し適切な情報を提供できるように努力する。
OH30実績	来局した患者さんに、在宅医療に関する情報を提供した。

行政

【熊谷管内】

事業名	埼玉県北部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療・介護連携推進専門部会
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	市町の範囲を超えた二次医療圏単位での医療・介護に係る関係団体・機関の連携の促進
○事業概要	
【対象】	医療・介護に係る関係団体・機関
【方法】	各々の取組状況について情報交換し、課題を共通認識する。
【手順】	会議を開催
OR1計画(目標)	在宅医療・介護連携推進に関わる市町担当者会議 年1回
OH30実績	在宅医療・介護連携推進の進捗状況把握のためのアンケート調査を実施(平成30年12月)

事業名	在宅難病患者等関係者会議
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	人工呼吸器等医療機器を使用している難病患者の療養実態の現状把握や地域の医療介護等の関係者との連携のもとに、療養環境整備をすすめていくことが課題である。本年度は、難病対策地域協議会を設置し療養環境整備をすすめる。
○事業概要	
【対象】	在宅難病患者に対する支援を行っている関係職員
【方法】	研修及び難病対策地域協議会の開催
【手順】	年2回
OR1計画(目標)	1 患者・家族の集いと医療講演会 2回開催 2 難病支援者研修会 1回開催 3 難病対策地域協議会 1回開催
OH30実績	1 患者・家族の集いと医療講演会 2回開催 45人参加 2 難病支援者研修会 2回開催 131人参加 3 難病対策地域協議会 1回開催 13人参加

事業名	摂食や嚥下機能に対応した食支援研修会
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	在宅療養者の摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供は、低栄養の防止と治療効果を高めるための重要課題である。
○事業概要	
【対象】	医療・介護保険に関わる専門職
【方法】	研修会の開催
【手順】	年1回

OR1計画(目標)	摂食・嚥下研修会 1回開催
OH30実績	摂食・嚥下研修会 1回 70人参加

事業名	管内地域看護連携会議および訪問看護連絡会
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	在宅医療に携わる専門職の支援体制の充実と研修会を通じて知識・技術の向上を図る必要がある。
○事業概要	
【対象】	看護管理者、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町等に勤務する看護職
【方法】	研修会・情報交換
【手順】	会議年2回 訪問看護連絡会 年2回
OR1計画(目標)	地域看護連携会議 1回開催 訪問看護連絡会 2回開催
OH30実績	地域看護連携会議 2回開催 1回目57人、2回目57人 訪問看護連絡会 2回開催 1回目25人、2回目60人(地域看護連携会議と合同開催)

事業名	在宅医療の専門分野での課題の検討
実施機関	熊谷市
現状・課題等	在宅医療が円滑に展開されるよう、在宅医療にかかわる医療と介護の関係者の連携を図ります。
○事業概要	
【対象】	行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者
【方法】	医療介護の両従事者の連携により事業を推進する。
【手順】	医療介護の従事者による検討会で、在宅医療に関する課題の抽出を行い、解決方法について検討する。
OR1計画(目標)	医療・介護職など多職種との連携により事業を推進する。
OH30実績	11月19日 医師会との共催による在宅医療・介護連携推進研修会を開催 熊谷生協病院小堀勝充病院長の講演と参加者によるグループワークを行った。

事業名	在宅医療連携拠点の設置運営
実施機関	熊谷市
現状・課題等	在宅医療の関係機関間の情報の共有を支援し、関係職種や住民からの在宅医療に関する相談に対応する。
○事業概要	
【対象】	行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者、住民
【方法】	在宅医療の推進のための連携拠点の設置運営を地域の病院に委託して実施する。
【手順】	
OR1計画(目標)	大里広域市町村圏組合熊谷市在宅医療拠点業務委託契約により、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進と相談支援を実施する。
OH30実績	社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院にコーディネーターを1名設置。相談件数228件。在宅療養支援ベッド設置

事業名	在宅医療・介護連携推進会議の開催
実施機関	深谷市(長寿福祉課)
現状・課題等	介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業を実施しているが、市内の医療関係者や介護職員等の連携を図る機会はまだまだ少なく、課題もみられた。深谷市における在宅医療と介護部門の連携を図るための課題の抽出と対応策の検討が必要となっている。
○事業概要	
【対象】	医師、歯科医師、薬剤師、包括、ケアマネ協議会、訪問看護、保健所等
【方法】	年4回程度
【手順】	地域の医療・介護関係者が集まる会議を実施し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出と対応策を検討する。

OR1計画(目標)	・在宅医療・介護連携推進会議 2回開催 ・在宅医療・介護の関係職種を対象とした事例検討会・研修会 2回開催
OH30実績	・在宅医療・介護連携推進会議 2回開催 52人参加 ・在宅医療・介護の関係職種を対象とした事例検討会・研修会 2回開催 114人参加

事業名	地域包括ケアシステム推進会議
実施機関	寄居町
現状・課題等	・平成29年度に「地域包括ケアシステム推進会議」を1回開催。行政の把握している地域の現状について情報提供する。 ・地域課題について意見交換や整理が十分に行えていない。
○事業概要	
【対象】	関係団体15団体から選出された委員
【方法】	年2回
【手順】	在宅医療と介護の連携、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制について、地域課題の抽出と対応策の検討を行う。
OR1計画(目標)	年2回の準備を進めている。
OH30実績	9月、3月に実施。

事業名	多職種研修の実施
実施機関	寄居町
現状・課題等	・平成29年度に埼玉よりい病院と共催で多職種研修を2回開催。
○事業概要	
【対象】	地域の医療関係者、介護関係者
【方法】	連携を主眼としたグループワーク、在宅医療や介護に関する研修会開催
【手順】	・埼玉よりい病院と企画・運営 ・地域包括ケアシステム推進会議での意見を参考に企画・運営
OR1計画(目標)	埼玉よりい病院と共催で多職種研修を企画、運営
OH30実績	8月29日 講演会「胃ろう管理の基本」 3月18日 講演会「摂食・嚥下障害について」(ミニグループワーク含む)

事業名	在宅医療連携拠点業務
実施機関	寄居町
現状・課題等	・平成28年度に深谷寄居医師会が県の補助金を受け、在宅医療連携室を開設。 ・平成29年度に住民向けの看取りに関する講演会を開催。(深谷市、深谷寄居医師会と共催)。
○事業概要	
【対象】	全住民、地域の医療関係者・介護関係者
【方法】	深谷寄居医師会に業務委託
【手順】	・在宅医療等の相談窓口の設置、周知 ・ICT(情報共有ツール)の普及啓発、登録手続き等 ・住民向け講演会の企画、開催
OR1計画(目標)	在宅医療連携拠点を深谷寄居医師会へ委託(相談業務、ICTの普及啓発、住民向け講演会の開催)
OH30実績	住民向け講演会開催「1%の科学と99%の思いやり～その人らしく生きるために～」 H30.12.1開催(深谷市、深谷寄居医師会共催)

【本庄管内】

事業名	管内市町等の支援
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	在宅医療が普及・定着し、地域で住民が安心して療養生活を送れるようにするため、在宅医療・介護の連携を主体となって進める市町や関係機関に対する支援が必要である。

○事業概要	
【対象】	市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療連携拠点、在宅歯科医療拠点、地域包括支援センター、介護関係職員等
【方法】	管内市町等に対して助言や支援を行うとともに意見交換・情報共有を図る。
【手順】	・管内市町が共同で開催する在宅医療・介護連携推進協議会に参加し、助言・支援、意見交換・情報共有を図る。 ・管内市町等が在宅医療・介護連携体制の構築のために実施する会議・研修等に参加し、助言・支援、意見交換・情報共有を図る。
OR1計画(目標)	在宅医療・介護を担う多職種間の連携体制の構築
OH30実績	1 本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会 2回出席(委員) 2 同協議会担当者会議 4回出席(担当者) 3 同協議会講演会 1回出席 4 在宅医療・介護連携推進の進捗状況把握のためのアンケート調査を実施(平成30年12月)

事業名	在宅医療・介護連携推進事業
実施機関	本庄市
現状・課題等	多くの高齢者は疾病や要介護状態になっても、出来る限り住み慣れた地域で自分らしい生活をしたと希望している。本庄市児玉郡医師会、本庄市児玉郡歯科医師会、在宅医療等連携拠点、在宅歯科医療推進窓口等の関係機関と役割や連携のあり方等の調整・検討を行う中で、医療と介護の一体的な提供が可能となるよう、事業を推進している。
○事業概要	
【対象】	在宅医療・介護の両方を必要とする市民およびその家族
【方法】	本庄市児玉郡医師会に在宅医療・介護連携推進事業の業務(在宅医療等連携拠点や推進協議会など)を委託し、連携拠点と郡内の1市3町で協同してア〜クの事業を一体的に実施する。 (ア)地域の医療・介護の資源の把握 (イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発 (ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
【手順】	・郡内の課題・取り組みについて、推進協議会において課題の抽出・共有化と対応策の優先順位、手段等を検討する。 ・定例で連携拠点、市町及び保健所の担当者会議を実施しながら進捗管理。
OR1計画(目標)	H30年度の実績・評価を踏まえ、更に事業推進を図る。
OH30実績	郡内の医療・介護等の資源をまとめ、市町のHPに情報掲載。推進協議会を開催。訪問介護事業所の情報交換会を開催。入退院調整ルール試行・作成。情報共有ツール作成。ICTによる情報共有支援(MCS)研修会開催。在宅医療・介護連携に関する相談支援。多職種セミナー開催。多職種連携を考える会開催支援・出席。住民向け講演会実施。担当者会議開催。担当課長会議開催。

事業名	障害者歯科相談医制度
実施機関	美里町
現状・課題等	相談窓口がわかりにくいと、周知の方法を検討する必要がある。
○事業概要	
【対象】	障害(児)者・要介護高齢者
【方法】	
【手順】	
OR1計画(目標)	障害者歯科主任相談医との連携を図る。
OH30実績	相談のあった方には、障害者歯科医を紹介(0件)

事業名	地域支援事業(在宅医療・介護連携推進事業)
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	<p>【現状】 平成29年度末に「本庄児玉郡市における在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定」が締結され、平成30年度より「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」を設置。関係機関及び団体より選出された委員により会議がもたれるとともに、広域での事業実施が予定されている。</p> <p>【課題】 1市3町の共同事業となるため、事務局打合せ会議等により、詳細な摺り合わせを行いながら事業を実施する必要がある。</p>
○事業概要	
【対象】 【方法】 【手順】	<p>本庄市児玉郡医師会と本庄市児玉郡の1市3町</p> <p>①「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」について1市3町で共同で執り行う。 ②「在宅医療・介護連携推進事業」の(ア)～(ク)の8項目について1市3町で共同実施。</p> <p>①円滑に事業を推進するため、拠点コーディネーターの助言を得ながら、1市3町の担当で打合せ会議を月1回程度開催。 ②「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」を年2回開催。市町は協議会委員及び事務局として出席予定。 ③上記①②を踏まえて、8項目の事業を実施する。 ④在宅医療連携拠点が主催する郡市内の在宅医療・介護連携に関する多職種連携の研修会等に積極的に参加し、知識を深め、スタッフ間の市町を越えたつながりの構築を推進する。</p>
OR1計画(目標)	<p>①本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会の開催 年2回 ②町ホームページ(在宅医療・介護関連施設情報)の更新 ③訪問介護事業所との意見交換 年2回 ④入退院調整ルール運用開始及びメンテナンス会議・関連研修の開催 ⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援(市町及び拠点に委託にて対応) ⑥拠点主催の多職種連携を考える会に協力・参加 ⑦住民への普及啓発講演会の開催 年1回 ⑧1市3町の事務局等会議 月1回程度</p>
OH30実績	<p>①本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会の開催 年2回(委員 計50名出席) ②町ホームページ(在宅医療・介護関連施設情報)に新規情報掲載 また、他市町や保健所のHPからも郡市内の施設情報が見られるよう申合せを実施 ③訪問介護事業所との意見交換 年2回(事業所より 計41名出席) ④入退院調整ルール運用に向けた検証及び調整会議等の開催(関連会議等 7回) ⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援(拠点相談対応 73件) ⑥拠点主催の多職種連携を考える会に参加・協力(開催6回に参加・協力) ⑦住民への普及啓発講演会の市町合同開催 年1回(参加者 245名) ⑧1市3町の事務局等会議(市町・拠点担当者会議 7回、担当課長会議 2回)</p>

事業名	地域支援事業(在宅医療・介護連携の強化)
実施機関	神川町
現状・課題等	在宅医療・介護連携の推進については、本庄市・児玉郡圏域で協定を結び、連携拠点を医師会へ委託により始動、引続きICTネットワーク拡充による関係機関の情報共有・連携作業など段階的に進めるとともに機能強化を図る。
○事業概要	
【対象】 【方法】 【手順】	<p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者</p> <p>居宅に関する医療・介護の連携を強化する。</p> <p>情報共有、関係者の資質向上、提供体制安定化、住民へ普及啓発等</p>
OR1計画(目標)	市町と医師会が協働して拠点の機能強化を行い、重要事項を整理し課題解決を図る。
OH30実績	ICT活用による情報共有、多職種連携研修会、入退院調整ルールの手引き作成情報交換会等を実施

事業名	障害者歯科相談医制度周知
実施機関	神川町
現状・課題等	障害者歯科相談医制度について十分に周知されていない。
○事業概要	
【対象】	障害(児)者、難病患者等
【方法】	広報誌・HP掲載・窓口PR
【手順】	相談時に障害者歯科医を紹介
OR1計画(目標)	受診希望者が早期に受診できよう、相談があった場合には障害者歯科相談医を紹介する。
OH30実績	相談なし

事業名	埼玉県障害者歯科相談医制度
実施機関	上里町
現状・課題等	障害者在宅医療については体制が十分には整備されていない。歯科診療については随時相談を受け、必要に応じて埼玉県障害者歯科相談医制度を紹介している。障害者の方が治療を受けるために、遠方の病院等をかかりつけとしていることが多い。
○事業概要	
【対象】	障害者(児)、難病患者
【方法】	周知方法: 広報・ホームページ等
【手順】	①障害福祉担当へ電話または窓口での相談 ②障害者歯科相談医の紹介 ③受け入れ先がない場合、主任相談医へ連絡し調整してもらう。 ④主任相談医から紹介された相談医を本人・家族に伝え、予約・受診してもらう。
OR1計画(目標)	障害児・者が身近な地域の歯科医院でも安心して治療を受けられるようにする。(利用件数)
OH30実績	利用件数 0件

事業名	地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 医療・介護関係者の情報共有支援 在宅医療・介護連携に関する相談支援 医療・介護関係者の研修 地域住民への普及啓発 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
実施機関	上里町
現状・課題等	在宅医療介護連携推進事業を児玉郡市で取り組むため、平成30年度より郡市医師会と1市3町とで協議会を立ち上げ、共同で事業に取り組んでいる。
○事業概要	
【事業名】	地域の医療・介護の資源の把握
【対象】	住民・医療・介護関係者
【方法】	在宅医療・介護連携ガイドの更新
【手順】	本庄市児玉郡の在宅医療・介護の資源情報をホームページ等にアップし、住民への情報提供を行う。在宅医療・介護関係職種向けの資源情報についても、1市3町で掲載内容等の検討を行う。
OR1計画(目標)	上里町在宅医療・介護連携ガイドの情報の更新を行う。町のHPに掲載した情報の更新を行う。
OH30実績	町のHPに町内の医療機関及び介護関係施設の情報について掲載。また本庄市児玉郡内の他市町や三師会、県の医療介護に関する情報ともリンクさせ町民が確認できるようにした。
【事業名】	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
【対象】	医療・介護関係者
【方法】	在宅医療・介護連携推進協議会の開催(年2回)
【手順】	①市町と在宅医療連携拠点等が連携し、課題の共有と解決策の検討を行なう。 ②在宅医療・介護連携推進協議会で、課題の共有、意見をいただく。 ③訪問介護事業所の情報交換会で出た課題を協議会の場で発信できるよう支援する。

OR1計画(目標)	在宅医療と介護の連携に関する課題やその対応策について承認や評価を行い、在宅医療・介護連携を推進する。
OH30実績	協議会年2回開催(7月・2月) 訪問介護事業所との情報交換会を開催した(11月参加者27名(20事業所)／2月参加者18名(14事業所))
【事業名】	切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進
【対象】	医療・介護関係者
【方法】	現状や課題などについて意見交換や検討会議を行う。
【手順】	在宅医療連携拠点を中心に、関係機関で構成した会を開催し在宅医療に係る現状と課題をもとに解決策を協議する。
OR1計画(目標)	入退院調整ルールの運用開始後の見直しを行う。(入院時情報提供書の提出が増えているかどうか等について病院相談員との会議で確認する)
OH30実績	病院相談員との意見交換会の開催(7月参加者22名(8医療機関・介護サービス事業者連絡協議会・保健所・在宅医療連携拠点・市町)・1月参加者23名(7医療機関・介護サービス事業者連絡協議会・保健所・在宅医療連携拠点・市町)) ケアマネジャー及び病院相談員向けにアンケート調査を実施(12月～1月) 本庄市児玉郡地域入退院調整ルールの策定(1月) 本庄市児玉郡在宅医療介護連携推進協議会にて承認を得る(2月)
【事業名】	医療・介護関係者の情報共有支援
【対象】	医療・介護関係者
【方法】	MCSを活用し、情報共有を図る。
【手順】	在宅医療連携拠点を中心にMCSの活用相談に対応。
OR1計画(目標)	在宅医療と介護を利用する方の状態に応じて、医療と介護の関係者間で速やかな情報共有が行われる。
OH30実績	毎月:在宅医療連携拠点にてMCSの相談窓口を開設(来所者29名) 6月:在宅医療連携拠点により、MCSの研修会を開催(44名参加)
【事業名】	在宅医療・介護連携に関する相談支援
【対象】	住民・医療・介護関係者
【方法】	在宅医療連携拠点による相談支援
【手順】	本庄市児玉郡の地域包括支援センターは在宅医療連携拠点と連携しながら相談支援を行う。
OR1計画(目標)	在宅医療の関係者等からの相談に対応し、在宅療養をする住民の支援につなげる。(相談件数)
OH30実績	在宅医療連携拠点相談(上里町分)12件／上里町地域包括支援センター相談件数31件
【事業名】	医療・介護関係者の研修
【対象】	医療・介護関係者
【方法】	支援が必要な高齢者を多職種が連携し、地域一体となって支えていくための研修会の実施
【手順】	医療・介護関係者全般に向けた研修会について計画実施する。
OR1計画(目標)	研修を通して連携方法を学び、在宅療養をする住民の支援につなげる。 入退院調整ルールに関する説明会の開催、入退院連携及び加算・多職種連携についての研修会を開催
OH30実績	在宅医療連携拠点による「多職種連携を考える会」の開催年6回実施 医療・介護多職種セミナーとして「在宅での暮らしを支える介護職の仕事～終末期ケア(ターミナルケア)・医療依存度の高い利用者を支えるために～」を開催(10月)。参加者
【事業名】	地域住民への普及啓発
【対象】	地域住民
【方法】	地域住民に在宅医療・介護サービスに関する普及啓発を行う(パンフレットやチラシ、広報、ホームページ、講演会等)
【手順】	地域住民を対象とし、在宅医療・介護連携等に関する普及啓発の方法を検討し、実施していく。
OR1計画(目標)	地域住民の在宅医療や介護についての理解を促進する。 健診等の場で「人生会議」に関するDVDを上映 ケアマネジャーを対象に「もしばなカード」の実施 一市三町及び在宅医療連携拠点在宅療養支援診療所の齋木実先生の「在宅看取り」に関する講演会を開催 町独自で、「がんの看取り」に関する講演会を開催
OH30実績	ライフターミナルネットワーク代表の金子稚子氏の講演会(「いき(生・逝)かた」は自分できめる)を開催(1月)。参加者245名

【事業名】	在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
【対象】	
【方法】	上記の項目の円滑実施に向けた会議の開催
【手順】	在宅医療連携拠点、市町とで本事業の計画及び実施に向けた会議及び進行状況などを確認する連絡会を開催。また、市町の担当課長会議、市町担当者会議などを必要に合わせて開催する。
OR1計画(目標)	広域で連携して取組み、在宅医療介護連携を推進する。
OH30実績	在宅医療連携拠点・保健所・市町の担当者との会議(7回開催) 市町在宅医療担当課長会議を必要に合わせて開催(11月・1月)

○事業分野

3 精神疾患医療

○目 標

心の健康づくりのための正しい知識の普及と新しい情報の提供を広報や研修会、イベントなどを通じて行います。精神疾患や認知症についての正しい知識の普及啓発を進め、精神障害者や認知症の方も住みやすい地域を目指し、地域住民の理解の促進を図ります。また、地域移行支援については、長期入院精神障害者に対してピアサポートを活用した退院支援を進めるとともに、退院後の継続した支援も含め関係機関と連携した地域づくりを推進します。

○主な取組

- 心の健康づくりに関する普及啓発と相談支援体制の充実
 - 認知症対策の推進
 - 地域移行支援(精神科病院の長期入院者の退院)の推進
- 実施主体:保健所、市町、医師会、医療機関、福祉関係機関

○圏域別取組実施状況

医師会

【熊谷管内】

事業名	もの忘れ検診の実施
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	平成30年度中に70歳となる市民
【方法】	熊谷市に協力し、引き続きもの忘れ検診を実施する。実施医療機関を調整し、一般検診に66医療機関、精検に15医療機関が参加する体制を構築する。
【手順】	
OR1計画(目標)	事業概要と同様 なお、実施医療機関は、一般検診に64機関、精検に15機関が参加する。
OH30実績	事業概要を踏まえ実施した。

事業名	市民健康フォーラムなどにおける健康相談
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	10月21日(日)に実施予定の第17回市民健康フォーラムにおいて、健康相談窓口を開設し、市民に指導、啓発を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	事業概要と同様 なお、令和元年11月17日(日)に第18回市民健康フォーラムにおいて実施する。
OH30実績	事業概要を踏まえ実施した。

歯科医師会

【熊谷管内】

事業名	認知症対象スキルアップ研修会
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会 皆光園
現状・課題等	認知症に対する理解を深め、精神症状や問題行動に対して、地域ケア体制の整備を進める。
○事業概要	
【対象】	埼玉県歯科医師会会員
【方法】	研修会の開催
【手順】	
OR1計画(目標)	実施は未定
OH30実績	なし

行政

【熊谷管内】

事業名	精神保健福祉講座
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	精神疾患に対する知識と理解を深めるために普及啓発を行う必要がある。 こころの健康に関する相談支援体制の充実を図る必要がある。
○事業概要	
【対象】	一般県民、関係者、当事者、家族等
【方法】	講座の開催
【手順】	管内市町と共催 市報、チラシ等で周知
OR1計画(目標)	精神保健福祉講座の開催 1回
OH30実績	精神保健福祉講座の開催 3回 352人参加

事業名	精神保健在宅療養支援者研修
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	精神障害について、家族や関係者が早期に気づき受診と制度の利用等につながることで、本人も家族も的確な対応ができる。支援者の知識・技術の向上を図る必要もある。
○事業概要	
【対象】	管内の在宅療養支援者等
【方法】	事例検討を中心とした研修会の開催
【手順】	年1回。包括支援センター会議にて開催と事例提供の周知。
OR1計画(目標)	研修会の開催 1回
OH30実績	包括支援センター会議にて研修の案内と周知(3市町) 事例検討を中心とした研修会の開催 1回 58人参加

事業名	埼玉県精神障害者を地域で支えるシステム構築事業
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	精神障害者の退院支援と地域生活支援について、関係機関が連携して支援体制を構築する必要がある。措置入院者の退院後の定期的フォローについても体制整備を図る必要がある。
○事業概要	
【対象】	医療機関、支援事業所、訪問看護、介護事業所、行政機関、家族会等
【方法】	精神障害者地域支援体制構築のに向けた会議の開催
【手順】	関係者会議の開催 人材育成研修
OR1計画(目標)	精神障害者地域支援体制構築会議 2回 精神障害者支援地域協議会 1回 大里自立支援協議会地域移行部会 4回 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業の地域人材育成等研修会 1回
OH30実績	精神障害者地域支援体制構築会議 1回 31人 精神障害者支援地域協議会 1回 34人 大里地域自立支援協議会地域移行部会 4回 81人

事業名	自殺対策計画の策定
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市民一人ひとりがかけがえのない命の大切さを考え、ともに支え合う地域社会実現のため、自殺対策を総合的に推進する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市計画策定に向けて、県の計画や熊谷市の現状を把握する。そのうえで基本項目を定め、目標達成のための施策の推進を図る。
【手順】	

OR1計画(目標)	策定された自殺対策計画について、目標達成のための施策の推進を図る。
OH30実績	自殺対策計画の策定を完了した。

事業名	精神保健相談、心の健康相談・ひきこもり相談
実施機関	熊谷市
現状・課題等	心の健康づくりに関する普及啓発に努めるとともに、心の健康に関する相談体制の充実を図る。
○事業概要	
【事業名】	精神保健相談
【対象】	市民
【方法】	市民から心の健康問題に対して、保健師が必要な指導・助言を行う。
【手順】	
【事業名】	こころの健康・ひきこもり相談
【対象】	心の健康問題が生じた本人や家族、関係者(治療中の方を除く。)
【方法】	臨床心理士による相談
【手順】	月2回 予約制
OR1計画(目標)	相談者数 延べ2,655人
OH30実績	相談者数 延べ2,454人(こころの健康相談 35人含む。)

事業名	こころの体温計
実施機関	熊谷市
現状・課題等	インターネットで手軽にストレス度などを表示するシステム「こころの体温計」の利用について、広く周知する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	インターネットを利用してストレス度や必要な相談機関の案内を表示するシステムを運用している。
【手順】	
OR1計画(目標)	アクセス件数 21,000件
OH30実績	アクセス件数 20,641件

事業名	社会復帰支援
実施機関	熊谷市
現状・課題等	精神障がいのある方が、社会復帰施設等と連携しながら地域で暮らすことを支援していく。
○事業概要	
【対象】	社会復帰施設を利用している精神障がい者
【方法】	意向調査を行い、希望する施設に保健師・管理栄養士が出向き、健康面・栄養面等について、講話を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	参加者数 200人
OH30実績	実施回数 15回 参加者数 188人

事業名	精神保健健康教育
実施機関	熊谷市
現状・課題等	心の健康づくりのための正しい知識の普及啓発に努める。

○事業概要	
【対象】	市民、民生委員児童委員
【方法】	市民からの依頼や民生委員児童委員協議会の会議の場を利用して保健師による講話を行う。
【手順】	
OR1計画(目標) 参加者数 延べ460人	
OH30実績 実施回数 17回 参加者数 延べ453人	

事業名	認知症サポーター養成講座
実施機関	キャラバン・メイト、熊谷市
現状・課題等	市内において随時認知症サポーター養成講座を実施するとともに、市内の全小中学校を対象に認知症サポーター養成講座を開催している。 また、認知症サポーターを対象とした認知症サポーターステップアップ講座を開催している。
○事業概要	
【対象】	市内在住、在勤の方
【方法】	キャラバン・メイトから講師を派遣し、認知症サポーター養成講座を開催する事により、参加者に認知症に対する正しい理解の普及・促進を図る。また、更に認知症への理解を深めるため、認知症サポーターステップアップ講座を開催する。
【手順】	
OR1計画(目標) 市内の全小中学校を対象に認知症サポーター養成講座を開催する（令和2年度末までに）。また認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座を開催する。	
OH30実績 認知症サポーター養成講座を50回開催、2,259人受講。（認知症サポーター総数20,680人）うち、小中学校17校開催。認知症サポーターステップアップ講座を1回開催、32人受講。	

事業名	サポーター・タグ普及事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市内の事業所、各庁舎内に介護マークを設置。また、市民への貸し出しを行っている。
○事業概要	
【対象】	市内の事業所及び市民
【方法】	当事業の趣旨に賛同し、認知症サポーター養成講座を受講された事業所に対し、介護マーク(サポーター・タグ)を設置する。また、認知症高齢者等を介護している方に介護マークを貸し出し、周囲に介護中であることをさりげなく知ってもらうことで、介護者の心理的負担の軽減を図る。
【手順】	
OR1計画(目標) より多くの市民に周知し、認知症の方や介護する方が外出しやすい環境を作る。	
OH30実績 市民への貸し出し3件。市報掲載(平成30年7月号)や市ホームページ(平成30年11月更新)で周知を行った。	

事業名	認知症介護相談
実施機関	認知症地域支援推進員、熊谷市
現状・課題等	熊谷市役所内で毎月第4木曜日に認知症相談窓口を設置
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市役所内に認知症に関する相談窓口を設置し、認知症地域支援推進員が相談員として対応する。HPや市報を通してPRしていく。
【手順】	
OR1計画(目標) 認知症に対する相談窓口の普及を図る。	
OH30実績 相談件数 7件	

事業名	認知症初期スクリーニングシステム
実施機関	熊谷市
現状・課題等	認知症の早期発見のため、認知症簡易チェックサイトを設置し利用を啓発する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	携帯やパソコンからアクセスし、認知症の状態をチェックし、相談先の案内を掲載している。
【手順】	る。
OR1計画(目標)	アクセス数:10,000件
OH30実績	アクセス数:6,761件

事業名	もの忘れ検診
実施機関	熊谷市
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努める。
○事業概要	
【対象】	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生まれ(70歳)の市民の方
【方法】	市内64医療機関にて個別検診
【手順】	実施期間:6月～3月 対象者に受診券を送付
OR1計画(目標)	受診率20%
OH30実績	受診者数338人、受診率9.66%。

事業名	地域移行支援サービス費の支給
実施機関	熊谷市
現状・課題等	長期入院精神障害者の地域生活への移行を進めるために地域移行支援サービスの利用を推進する。
○事業概要	
【対象】	精神科病院の長期入院者
【方法】	相談を受け聞き取り調査を実施し、地域移行支援の支給決定を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	月平均利用者数 3人
OH30実績	月平均利用者数 0.16人

事業名	こころの健康相談
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	精神的不安、対人関係、性格、お酒、閉じこもり、その他家族・職場等での悩み、医療などについての相談を受け、精神疾患や精神的不健康の状態に適切に対応できるよう支援する。 利用実人数は年間10～20人程度で本人からの相談より対応に困っている家族からの相談が多い。
○事業概要	
【対象】	こころの健康に問題が生じた方やその家族
【方法】	精神科医師、保健師による相談(要予約)
【手順】	
OR1計画(目標)	年12回実施
OH30実績	年11回 相談来所者数20人

事業名	精神保健福祉講座
実施機関	深谷市(保健センター ※熊谷保健所、熊谷市、寄居町共催)

現状・課題等	精神疾患を抱える家族を対象とした家族教室や地域住民に対しての精神疾患の講座及び講演会を実施し、当事者や家族が安心した暮らしができるよう支援することを目的とし実施している。(平成28年度から実施)
○事業概要	
【対象】	熊谷保健所管内の住民
【方法】	医師による講話等
【手順】	
OR1計画(目標)	保健所等との共催事業は実施しない方針となった。今後の講座開催の必要性等を検討する。
OH30実績	「アルコールについて」参加者37人

事業名	ゲートキーパー養成講座、自殺予防パネル展示
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	自殺の要因は多岐にわたっており、社会的な問題であると捉え、様々な分野でのゲートキーパーの養成を図り、また自殺予防についての啓発を強化することが必要である。
○事業概要	
【対象】	市民、ゲートキーパー養成講座:介護関係職員(予定)
【方法】	ゲートキーパー養成講座:外部講師
【手順】	パネル展示:保健センターホール、市役所市民ホール等
OR1計画(目標)	1 ゲートキーパー養成講座の開催 1回以上 2 自殺予防パネル展示
OH30実績	1 ゲートキーパー養成講座 1回開催 介護支援専門員等83人受講 2 自殺予防パネル展示 3会場で実施(保健センター常設、市役所市民ホール・図書館(共催)3月に展示)

事業名	メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」、講演会
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	ストレス社会といわれる現在、心の健康に問題を抱える人が増加しており、心の健康づくりや対応についての正しい知識の普及・啓発が必要である。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	<「こころの体温計」の周知を図る。(広報、市ホームページ、メール配信、母子健康手帳交付時、新生児訪問等の母子保健事業等、各種健康教育等でのチラシ配付等) <講演会>こころの健康をテーマに開催(ポピュレーション)
OR1計画(目標)	1 こころの体温計の周知啓発 2 こころの健康講演会の開催
OH30実績	1 各種機会を捉えて心の体温計の周知啓発を実施 アクセス件数17,904件 2 こころの健康講演会 1回開催 115人参加

事業名	深谷市自殺対策計画策定
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	自殺対策計画を策定し、行政、市民、関係機関が協働して自殺対策に取り組む必要がある。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	国県計画、計画策定マニュアル、自殺対策プロファイルをもとに計画を策定する。

OR1計画(目標)	深谷市自殺対策実務者ネットワーク会議の開催
OH30実績	深谷市自殺対策計画策定(H30年3月)

事業名	認知症サポーター養成講座
実施機関	深谷市(長寿福祉課)
現状・課題等	高齢化に伴い認知症の方が増加しているが、地域の中では認知症の理解が広がっていない。地域全体で認知症の理解を深め、認知症の方や家族を支えていく取組みが必要になっている。
○事業概要	
【対象】	団体名：深谷市
【方法】	講義形式(60分～90分の講座)
【手順】	深谷市まごころ出張講座のメニューに登録し、幅広い市民の方を対象に認知症サポーター養成講座を実施する。
OR1計画(目標)	認知症サポーター養成講座の開催
OH30実績	認知症サポーター養成講座 23回開催 計804人受講

事業名	認知症カフェ
実施機関	深谷市(長寿福祉課)
現状・課題等	認知症の人とその家族や地域住民、専門職がつながり、集うことで、認知症の人への理解の啓発、家族の介護負担の軽減を図り、かつ地域で認知症の人を支える一助とする。
○事業概要	
【対象】	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方や以前に介護経験のある方
【方法】	体操(体、口腔)、歌、ミニ講座、話し合い、介護相談、リラクゼーションケア等
【手順】	参加希望の認知症カフェに直接来所
OR1計画(目標)	・認知症カフェ東都の開催 月1回 ・認知症カフェ設置数 10か所
OH30実績	・認知症カフェ東都の開催 年11回開催 ・認知症カフェ設置数 7か所

事業名	心の健康づくりに関する普及啓発事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	精神科医療機関は市内1か所。身近な相談機関が少ない。
○事業概要	
【対象】	全住民
【方法】	広報等掲載・心の健康相談の実施・ゲートキーパー養成講座の実施
【手順】	保健所・埼玉県精神福祉総合センターの協力をいただき、民生委員職員等を対象にゲートキーパー養成講座を実施する。
OR1計画(目標)	心の健康相談の実施、広報等での周知、ゲートキーパー養成講座の実施
OH30実績	心の健康相談の周知及び実施(年12回) 民生委員・児童委員等、町民に対してゲートキーパー養成講座を実施し、97人が参加。

事業名	地域移行支援推進事業
実施機関	保健所・寄居町・医療機関・福祉関係機関
現状・課題等	精神疾患を抱える本人またその家族は、様々な問題を抱えていることが多く、退院し地域での生活を再開するには支援が必要である。

○事業概要	
【対象】	精神科に長期入院している患者とその家族
【方法】	
【手順】	地域住民に対して相談機関の周知や、関係機関と情報共有・支援方法の検討を行い、適切な支援を提供する。
OR1計画(目標)	地域移行支援に関する関係機関からの要請に対応する。
OH30実績	保健所主催の会議等に参加し、関係機関との連携に努めた。

事業名	認知症知識の普及・啓発、相談支援体制の充実
実施機関	寄居町
現状・課題等	認知症高齢者が増加し、認知症になっても可能な限り住み慣れた地域で生活できるような地域の支援・相談体制が必要。
○事業概要	
【対象】	全住民、地域の医療・介護関係者
【方法】	
【手順】	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症地域支援推進員による啓発活動、講座の開催 ・認知症初期集中支援チームによる相談支援
OR1計画(目標)	認知症知識の普及啓発、相談支援体制の充実
OH30実績	認知症サポーター養成講座 7回開催 認知症地域支援推進員による認知症ケアパス作成、推進員PRリーフレット作成、認知症ケア講座開催 ※初期集中支援チームの活動実績なし

【本庄管内】

事業名	ひきこもり対策事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	不登校の者が学校を卒業したのちに社会でひきこもりへと移行することが考えられる。そこで本人のライフサイクルに合わせ重症的に支援していく。
○事業概要	
【対象】	不登校・ひきこもりに関わる関係機関等
【方法】	知識技術伝達の研修会と情報共有を図るための連絡会
【手順】	関係機関に周知し研修会等を実施
OR1計画(目標)	ひきこもり令和元年12月 関係機関連絡会
OH30実績	講演:平成30年5月 会場:早稲田リサーチ 講師:本庄保健所ひきこもり専門相談嘱託心理職 小笠原美江CP ひきこもりのある者の理解と支援についての正しい知識や新しい情報を提供する。

事業名	家族による家族学習会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	主に統合失調症で治療を継続している者の家族が集い、友愛の心で共感し、お互いに学びあう関係の中でその個人と家族会が成長し、支えあえる自助の関係構築ができるよう支援する。
○事業概要	
【対象】	おもに統合失調症を治療している者のいる家族
【方法】	同じ境遇の者同士で行う学習会と集う話し合いのできる場の設定
【手順】	定例の家族同士の交流会の設定と同じ境遇同士で学びあう学習会の実施

OR1計画(目標)	研修会:7月～11月まで毎月1回「家族による可読の家族学習会」 講師:研修のために事前学習を終えた家族 会場:アスパア児玉 講師を務める家族が講座を通じ自信を深め受講する家族は先輩家族から知識や対応のコツを学ぶとともに勇気をも学び取り家族が元気になり家族会が活性化する。
OH30実績	研修会:7月～11月まで毎月1回「家族による家族学習会」 講師:研修のために事前学習を終えた家族 会場:アスパア児玉 講師を務める家族が講座を通じ自信を深め受講する家族は先輩家族から知識や対応のコツを学ぶとともに勇気をも学び取り家族が元気になり家族会が活性化する。

事業名	精神保健に関する学習会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	うつ病などの疾患により生活不安や複雑化する社会に生きにくさを感じるかななどに対し気持ちを和らげ新しい気付きをもたらす学習会
○事業概要	
【対象】	一般住民や管内在勤者等
【方法】	研修会(講演会)
【手順】	本庄市との共催で広く広報する。
OR1計画(目標)	令和元年8月27日 精神保健担当者研修
OH30実績	平成30年10月埼玉医科大学助教授をお招きし研修会を実施 会場:早稲田リサーチ 疾病に特化せず地域メンタルヘルスの向上を目指し聴講者を多くする。

事業名	自殺対策緊急強化事業
実施機関	本庄市
現状・課題等	社会環境の変化や価値観の多様化に伴い、「うつ」への対応をはじめとする、心の健康づくりを推進していくことが求められている。また、本市における自殺者数は、年度によるバラつきがあるものの、大切な命が失われており、悩みを持つ人に早い段階で気づき、適切な支援に繋げることを目的にゲートキーパー養成に取り組んでいる。また、命の大切さや思いやりの心を育成できるように、コミュニケーション講座を実施する。
○事業概要	
【対象】	市民・小学5年生・市職員
【方法】	市職員を対象とした自殺対策、予防に関するゲートキーパー養成研修を行う。市民向けに、自殺の一因となりえるメンタルヘルス悪化の予防を図るため、また、小学校5年生を対象に、命の大切さや思いやりの心を育成できるようにコミュニケーション講座を開催する。
【手順】	広報等での周知をはかるとともにHPの見直しを行う。 専門講師を招いてゲートキーパー養成講座及び心の健康づくり講座を実施する。
OR1計画(目標)	ゲートキーパーの増員や市民への啓発により、悩みを抱える人に対する「心配り・気づき・声かけ・傾聴・つなぐ・見守る」を実践し、自殺抑制につなげる。
OH30実績	<出席者数> 市民向け講座:39名 小学5年生向け:全クラス 市職員向け:21名

事業名	美里町自殺対策推進検討委員部会の開催及び計画に基づく各種事業の開催
実施機関	美里町住民福祉課戸籍福祉係
現状・課題等	自殺者数は減少傾向にあるものの、今後においても引き続き、適切な自殺対策を図る必要がある。
○事業概要	
【対象】	精神疾患等に対する支援を行っている関係職員
【方法】	意見交換・情報共有、各種事業の開催
【手順】	

OR1計画(目標)	1 関係機関への連携強化(民生児童委員を対象としたゲートキーパー養成研修 1回) 2 推進検討委員会部会開催 1回 3 広報・HP掲載による啓発・周知 2回
OH30実績	1 推進検討委員会部会 2回 2 広報・HP掲載による啓発・周知 2回 3 職員を対象としたゲートキーパー養成研修 1回 4 心配ごと相談 12回 5 こころの相談 95回 6 若者就労相談 4回 7 生活困窮者相談会 4回

事業名	ケース検討会議
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	複数の職種が入ることで、色々な視点でケースを見ることができる。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	保健所、障害者生活支援センター職員、町障害者担当、町保健センター、町社会福祉協議会臨床心理士で年6回、各担当ケースについて検討する。
【手順】	
OR1計画(目標)	情報の共有、担当職員の負担の軽減
OH30実績	実施回数:6回

事業名	健康まつり こころの健康づくりコーナー
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	個別相談も設けているが、利用者がいない。
○事業概要	
【対象】	来場者
【方法】	メンタルチェックカードの配布、相談窓口が記載されているチラシの配布
【手順】	
OR1計画(目標)	心の悩みを持つ人々への相談窓口の周知を図る。
OH30実績	メンタルチェックカード100枚配布

事業名	臨床心理士による「こころの相談窓口」
実施機関	美里町社会福祉協議会
現状・課題等	町の相談窓口として、より気軽に利用していただき、問題の早期介入・予防に努めたい。
○事業概要	
【対象】	町民
【方法】	広報・パンフレット
【手順】	原則、週1日の相談窓口と必要に応じて要援護者宅への家庭訪問
OR1計画(目標)	不安を抱える人々の心の健康維持
OH30実績	相談件数:187件

事業名	認知症サポーター養成講座
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	認知症サポーター養成講座の継続により、さらなる住民への周知を図る。
○事業概要	
【対象】	町民・団体・企業など
【方法】	広報・パンフレット等で募集。認知症の正しい理解と、認知症の人とその家族を温かく見守る人材の養成。
【手順】	キャラバンメイトによる認知症に関する基本的な学習講座
OR1計画(目標)	サポーター年100人の養成と認知症についての理解を更に深める事業の開催
OH30実績	小学校(3校) 97人 一般 87人 計 184人

事業名	認知症高齢者等介護家族のつどい
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	認知症の人を介護する家族の交流の場の継続支援を行う。
○事業概要	
【対象】	在宅で認知症高齢者の方を介護されている家族
【方法】	認知症の方を身近で支える介護者相互の交流の場づくりを支援。介護家族の悩みなどを話すことで身体的・精神的負担の軽減を図る。
【手順】	広報・チラシ等で事業実施の周知を行う。アドバイザーを招き、日頃の悩みに助言を頂く。参加者同士の意見交換や交流の場・息抜きの場としてもらう。
OR1計画(目標)	介護家族の方の精神的負担の軽減と情報交換が行える。
OH30実績	6月・9月・12月・3月に開催 計 23 人

事業名	脳の元気度チェック&相談会
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	認知症の早期発見を目的として実施。すでに認知症を発症している方の相談や認知症について情報を知りたい方の相談も増えている。
○事業概要	
【対象】	町内在住の認知症の心配がある方または家族
【方法】	毎週火曜日(祝日は除く)、午前9時30分～午前11時30分。個別相談(予約制)。簡単なアセスメントを行い、認知症の可能性を評価する。相談内容に応じた生活支援の助言を行う。認知症の早期発見と家族への支援を目的とする。
【手順】	広報及びくらしのカレンダーやチラシにて周知。予約制で個別に相談を受ける。生活上の助言を行うとともに、必要に応じて専門医療機関の紹介や制度の利用につなげる。
OR1計画(目標)	認知症の早期発見及び相談の場として町民にさらに周知し、気軽に利用できるよう促していく。
OH30実績	相談件数 7件

事業名	認知症初期集中支援事業
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	現在、認知症初期集中支援チームは稼動していない。
○事業概要	
【対象】	40歳以上で在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下の1または2のいずれかの基準に該当する者 1 医療サービス、介護サービスを受けていない者、又は中断している者で以下のいずれかに該当する者 (1) 認知症疾患の臨床診断を受けていない者 (2) 継続的な医療サービスを受けていない者 (3) 適切な介護保険サービスに結び付いていない者 (4) 介護サービスが中断している者 2 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者
【方法】	相談に応じて、初期集中支援チームの個別訪問を行い、サポート医による診断を踏まえた観察・評価により認知症初期の本人・家族の支援を集中的に行う。
【手順】	相談受付後、「認知症初期集中支援チーム事業フロー図」に従い、支援を行う。
OR1計画(目標)	認知症の早期発見ツールとして町民に周知徹底し、理解(及び利用)を促していく。
OH30実績	稼働数 0回(ケース発生 0件)

事業名	見守りシール、キーホルダー交付事業
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	徘徊高齢者の見守り支援機能を強化する。

○事業概要	
【対象】	町内在住高齢者で認知症等見守りが必要な方
【方法】	申請に基づき、希望者に見守りシール及びキーホルダーを交付する。
【手順】	広報等で周知を行い、希望者の申請に基づき、見守りシール及びキーホルダーを交付する。見守りシール及びキーホルダーに附番することで、徘徊先で身元が特定できない場合に、番号から身元が特定。併せてご家族に連絡。
OR1計画(目標)	見守りシール、キーホルダーを作成し、見守り支援体制を整える。
OH30実績	交付件数 9件

事業名	認知症サポーター養成講座
実施機関	神川町
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症疾患を持つ方が、5割以上を占め、要介護度も軽度の方が多。そのような状況において、認知症に関する相談も多く、徘徊による行方不明になるケースも見られ、正しい知識の普及が重要である。
○事業概要	
【対象】	小学生～中学生・一般成人
【方法】	キャラバンメイトによる講習
【手順】	①小学生～中学生 ・包括支援センターが各学校の授業にてサポーター養成講座を開催。 ②一般成人(高校生以上) ・広報紙等で呼びかけサポーター養成講座を開催。
OR1計画(目標)	認知症患者の正しい知識の習得者の増員、および地域支援者の拡大
OH30実績	253名養成

事業名	認知症カフェ(なっちゃんカフェ)
実施機関	神川町
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症の疑いのある方が、5割以上を占める。そのような状況において、認知症になっても住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活ができる受け皿の1つとして展開する。
○事業概要	
【対象】	認知症の方、介護者、その他どなたでも参加可能。
【方法】	認知症応援隊の協力を仰いで実施。
【手順】	・おやつ作りやレクリエーション等を通しての交流を行う。 ・毎月第1水曜日午前10時30分から開始 ・送迎無料 ・参加費 100円
OR1計画(目標)	昨年度来、町民の関心が強い分野と確認でき、更なる充実を目指す。
OH30実績	12回開催、延637名

事業名	認知症家族のつどい
実施機関	神川町
現状・課題等	介護を抱える、またこれからの将来に不安を抱く介護者や地域住民からの問い合わせや相談が増え、その受け皿の1つとして創設。
○事業概要	
【対象】	介護者、または認知症に関心のある方
【方法】	同じ悩みや体験を話し合える場
【手順】	2ヵ月に1回実施。広報・ポスター等で呼びかける。
OR1計画(目標)	不安を抱える介護者の気持ちや実生活をフォローする枠組みとしてまずは町民への働きかけを強化。
OH30実績	6回開催、延41名参加

事業名	家族会
実施機関	神川町
現状・課題等	精神障害者とともに暮らす家族の負担は長期にわたり、将来に対する不安など、家族同士が共有する問題も多くあると思われ家族を支援する体制が必要である。

○事業概要	
【対象】	精神疾患の家族
【方法】	家族が集まり情報交換及び勉強会
【手順】	2ヶ月に1回実施。福祉課窓口で対象者へチラシを配布し参加者を募る。
OR1計画(目標)	参加者を増やす。
OH30実績	年6回実施、参加登録者10人、延べ参加者数26人(再掲)当事者を含めた交流会1回

事業名	自殺対策緊急強化事業
実施機関	神川町
現状・課題等	当町は県内でも自殺による死亡率が高く、県内平均をはるかに上回っている。また、自殺の原因の約70%は健康問題である。
○事業概要	
【対象】	・商工会会員・議会議員・小中学校養護教諭
【方法】	専門講師を招いてのゲートキーパー養成講座の開催。
【手順】	専門講師による講話。パンフレット配布。
OR1計画(目標)	地域での見守り体制を整えるため、早期対応の役割を担う人材育成を図る。
OH30実績	ゲートキーパー養成講座1回(町職員対象)65名参加

事業名	こころの健康相談
実施機関	神川町
現状・課題等	こころの相談窓口の周知及び支援体制を整える。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	広報・ホームページ等により相談窓口の周知。保健師等による相談。
【手順】	広報・ホームページ等に相談窓口の掲載
OR1計画(目標)	広報・ホームページ等に相談窓口の掲載
OH30実績	広報・ホームページ等に相談窓口を掲載

事業名	埼玉県自殺対策緊急強化交付金事業(ゲートキーパー養成講座)
実施機関	上里町
現状・課題等	自殺に関する正しい知識を普及し、その知識を基に家族だけではなく地域の身近な人も見守れる人材を増やす必要がある。
○事業概要	
【対象】	町内で活動されている民生委員、学校教職員等
【方法】	ゲートキーパー養成講座
【手順】	自殺対策についての知識や対応方法を学ぶ講座とする。講座で学んだ知識を、地域で活動する中で活用してもらう。
OR1計画(目標)	地域で活動している方々が、自殺に関する相談の初期対応を学び、理解する機会を設けることで、身近な人を見守れる人材を増やす。(講座参加人数)
OH30実績	ゲートキーパー養成講座 参加人数58人

事業名	こころの体温計
実施機関	上里町
現状・課題等	自分の心の状態を知る簡易チェックシステムとして、こころの体温計をホームページに掲載。アクセス件数は月平均で見ると減少傾向にあるが、月ごとの差が大きくなっているため時期による変化を確認していくことも必要となっている。
○事業概要	
【対象】	町民及び町民以外
【方法】	上里町のホームページに簡易メンタルヘルスチェックシステムを掲載することにより、自身のストレス度合等を確認する機会をつくる。
【手順】	周知方法: 広報掲載やチラシの配布等
OR1計画(目標)	上里町のホームページを見た人が自身の心の状態を知り、悩みや問題に気づくことで心の病気の予防につなげる。(アクセス件数)
OH30実績	こころの体温計 1か月の平均利用実績 616件

事業名	認知症サポーター等養成事業 認知症初期集中支援推進事業 認知症カフェ 認知症ほっと相談 認知症相談日 認知症ケアパスの作成 徘徊高齢者家族支援サービス 高齢者見守りキーホルダー 高齢者見守りネットワーク事業
実施機関	上里町
現状・課題等	医療と介護、保健、障害福祉の関係部署と連携し、地域の見守りといった多岐にわたる総合的な支援体制の構築を図っている。
○事業概要	
【事業名】	認知症サポーター等養成事業
【対象】	町民、民間企業、学生等
【方法】	認知症サポーター養成講座の実施
【手順】	認知症についての知識や、接し方を学ぶ講座とし、講座で学んだ事を地域での活動や、日常生活の中で認知症の方と接するときに活用していただく。
OR1計画(目標)	養成講座を受け、認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する人を増やす。(養成講座受講者数)
OH30実績	認知症サポーター養成講座を実施した。 5月:本庄児玉看護専門学校(32名) 7月:上里北中学校(116名) 7月:民生委員・児童委員(57名) 8月:一般町民(30名) 12月:役場職員(23名) 2月:上里中学校(156名) 3月:イオンタウン上里(34名) 合計448名を養成した。
【事業名】	認知症初期集中支援推進事業
【対象】	原則として40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療や介護サービスに結びついていない方
【方法】	対象者を把握し、医師、保健師、社会福祉士からなるチームで3～6か月間支援し、医療や介護サービスにつなげる。
【手順】	認知症の人やその家族に早期診断、早期対応に向けた支援を実施する。支援チームの活動状況を検討する検討委員会を設置する。
OR1計画(目標)	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる。(チーム会議・検討委員会の実施)
OH30実績	H30年度はH29年度からの継続2名、新規3名の対象者へ支援を実施した。 チーム会議(4回):5月、8月、12月、2月 検討委員会(2回):6月、3月
【事業名】	認知症カフェ
【対象】	認知症の疑いのある方、認知症の方やその家族、地域の方等
【方法】	認知症カフェを実施
【手順】	毎月第2火曜日にイオンタウン上里のフードコート内で実施。認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集い、おしゃべりやレクリエーションを通して、認知症の人を支えるつながりを支援し、家族の負担軽減を図る。
OR1計画(目標)	認知症の人の家族の介護負担を軽減する。(参加人数)
OH30実績	毎月第2火曜日にイオンタウン上里のフードコート内で認知症カフェを実施した。H30年度の参加者は延べ314名。
【事業名】	認知症ほっと相談
【対象】	認知症介護のことで悩んでいる方
【方法】	認知症相談の実施
【手順】	町内6ヶ所の認知症グループホームで、相談窓口を設置。認知症介護のことを相談できるよう、グループホームと連携しながら認知症の相談体制の充実を図る。

OR1計画(目標)	認知症介護のことで悩んでいる方の負担軽減。(相談件数)
OH30実績	町内6ヶ所の認知症グループホームの相談窓口で相談を実施した。認知症の相談体制の充実を図った。3件の相談があった。
【事業名】	認知症相談日
【対象】	認知症介護のことで悩んでいる方
【方法】	認知症相談を実施する。
【手順】	毎週木曜日に認知症相談日を設け、認知症に関する相談を受ける(要予約)。町のカレンダーに記載し、周知を行う。
OR1計画(目標)	認知症介護のことで悩んでいる方の負担軽減。(相談件数)
OH30実績	相談日をめがけてくるケースは少ないが、随時、認知症高齢者の家族等から相談があり、対応した。17件の認知症に関する相談があった。
【事業名】	認知症ケアパスの作成
【対象】	町民及び町民以外
【方法】	認知症安心ガイドブックの作成、配布
【手順】	認知症の進行状況に合わせて提供される医療や介護サービスの標準的な流れを示すガイドブックを作成し、窓口を設置。認知症相談やケアマネジャーに配布する。
OR1計画(目標)	認知症ケアパスの配布・活用
OH30実績	H30年4月に認知症安心ガイドブックを改訂し、窓口を設置・配布した。
【事業名】	徘徊高齢者家族支援サービス
【対象】	要介護又は要支援の認定を受けた認知症高齢者で、徘徊症状が見られる人を在宅で介護している家族等
【方法】	GPS機器の貸し出し
【手順】	GPSを活用して、介護している家族等からの依頼に基づき、徘徊行動で所在不明になった高齢者を発見し、家族等へ現在位置を知らせる。
OR1計画(目標)	介護している家族等の負担軽減(利用者数)
OH30実績	広報にて事業の周知を図ったが、利用実績はなし。
【事業名】	高齢者見守りキーホルダー
【対象】	高齢者の方で単身世帯、高齢者のみの世帯、日中独居の方、認知症及び認知症の疑いがある方、急な発作の恐れあるいは身体上の慢性疾患等により日常生活上注意を要する状態にあると認められた方
【方法】	見守りキーホルダーを交付する。
【手順】	申請に基づき町が情報を登録する。申請者には、町から無償で登録番号を記載したキーホルダーを交付する。認知症及び認知症の疑いがある方は同時にナンバーシールも交付する。事前に緊急連絡先や医療情報等を町に登録しておくことで、外出先での緊急搬送時や保護された際に、医療機関や警察の紹介に対して、迅速に情報提供ができる。
OR1計画(目標)	対象となる方に普及させ、町が緊急時に対応する。(登録者数の増加)
OH30実績	見守りキーホルダーを交付した。H30年度の登録者数は13人。
【事業名】	高齢者見守りネットワーク事業
【対象】	町民及び町民以外
【方法】	郵便局、町内の商店、水道会社等と見守り協定を結ぶ。 事業者は高齢者の異変を察知したら町に連絡を入れる。
【手順】	事業者からの申請を基に、町が見守り協力事業者として登録し、協力事業者と見守り協定を締結する。
OR1計画(目標)	見守り活動を周知して、地域住民、民間事業者、専門機関など見守りの目を増やす。(登録事業者数、周知方法)
OH30実績	10件の事業者と見守り協定を締結した。また、広報にて見守り活動を周知し、見守り協定先となる事業者を募集した。

○事業分野

4 健康増進・生活習慣病等予防対策

○目標

地域住民、関係団体、行政機関が連携し、市町健康増進(食育推進も含む)計画をPDCAサイクルに基づき実施や評価をし、健康づくり体制を推進します。健康な生活習慣の情報提供や効果的な保健事業、特定健診・特定保健指導等の未受診者への対策等を推進します。また、健全な口腔機能を生涯にわたり維持できるよう、定期的な歯科健診の受診勧奨や歯科口腔保健施策を推進します。

○主な取組

- 各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備
 - 生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨
 - 歯科口腔保健の推進
- 実施主体:市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所

○圏域別取組実施状況

医師会

【熊谷管内】

事業名	特定健診及び各種検診の実施、市民健康フォーラムの実施
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	特定健診、各種検診の円滑な実施に努めるとともに、市民健康フォーラムなどにより、市民への啓発活動を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	事業概要と同様
OH30実績	事業概要を踏まえ実施した。

事業名	深谷寄居医師会広報誌
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	深谷市・寄居町住民向けに健康(生活習慣病)等について情報提供
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	「イキイキふかや・よりの」の発行
【手順】	会員診療所・歯科診療所(70)・調剤薬局(55)の待合室等、行政施設(深谷市22、寄居町6)に配置
OR1計画(目標)	・地域住民が手に取りたくなる内容の情報誌を発行
OH30実績	・年2回発行(第12号「特集加齢と認知症」、第13号「特集かぜとインフルエンザ」)

事業名	特定健康診断
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	深谷市・寄居町住民への健康診断の情報提供と受診勧奨
○事業概要	
【対象】	被保険者、被扶養者等
【方法】	特定健診で指導対象者に特定保健指導の実施
【手順】	集合契約による特定健診(通年)、市町国保集団健診(6月～1月)

OR1計画(目標)	・市町国保集団検診受診予定者 12,000人
OH30実績	・市町国保集団健診受診者 11,274人 受診率 35.6% ・保健指導 486人(動機づけ321人、積極的165人)

【本庄管内】

事業名	特定健診受診率の向上
実施機関	本庄市児玉郡医師会
現状・課題等	特定健診は、健診センターが設立され、受診機会が大幅に増えたが受診率は思ったより伸びていない。
○事業概要	
【対象】	医師会、医療機関、行政
【方法】	特定健診受診率向上の各種施策の検討
【手順】	利用者目線による健診方法等の更なる検討を行う。 医療機関による個別健診時期の前倒しの検討を行う。 利用促進のため健診センターを広報等による周知する。 その他、保険者による糖尿病等重症化予防対策への協力。
OR1計画(目標)	特定健診等の健診受診率向上のための施策を検討し、実施する。
OH30実績	特定健診の医療機関での個別健診を2ヵ月前倒して11月中旬より開始。協会けんぽ等保険者による糖尿病等重症化予防対策に関し会員へ協力依頼。

歯科医師会

【熊谷管内】

事業名	第43回「歯の相談室」、8020よい歯のコンクール
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	歯の相談室。参加者は横ばい傾向。「8020良い歯のコンクール」受賞者35名。8020達成者は年々増加している。
○事業概要	
【対象】	熊谷市及び近隣市町村の住民
【方法】	イベントを開催
【手順】	
OR1計画(目標)	例年同様、両イベントを開催予定。
OH30実績	歯の相談室は参加児童、幼児数は372名；＋家族。相談数は61件。8020よい歯のコンクールは受賞者39名。

事業名	歯と口の健康診査
実施機関	熊谷市、熊谷市歯科医師会
現状・課題等	周知の徹底と受診手続きの簡素化を図ったところ、引き続き受診率UPしている。今後は妊産婦健診等にも広げていきたい。
○事業概要	
【対象】	市内に住所を有し、対象年齢に達する方
【方法】	歯科医療機関での健診該当者にはがきを送付。希望者には受診票を送付し、各診療室
【手順】	各歯科医療機関で実施
OR1計画(目標)	本年度より開始される妊産婦検診も会のイベント等で周知を図りたい。
OH30実績	各歯科医療機関で1287件実施

事業名	熊谷保健所管内歯科保健推進会議、地域保健医療協議会
実施機関	熊谷市、熊谷保健所等、熊谷市歯科医師会
現状・課題等	

○事業概要	
【対象】	北部保健医療圏地域保健医療協議会、介護認定審査会等
【方法】	各種会議への参加
【手順】	会議
OR1計画(目標)	
OH30実績	<p>① 平成30年6月26日 大里広域市町村圏組合熊谷市医療・介護連携及び認知症施策推進会議 熊谷商工会館</p> <p>② 平成30年9月20日 熊谷保健所管内歯科口腔保健連絡会議 くまびあ</p> <p>③ 平成30年9月28日 熊谷生協病院第1回地域連携懇談会 熊谷生協病院</p> <p>④ 平成30年11月1日 平成30年度在宅歯科医療講習会 彩の国すこやかプラザ</p> <p>⑤ 平成30年11月19日 在宅医療・介護連携推進研修会 熊谷市医師会館</p> <p>介護認定審査会及び各合議体に1名ずつ、半年任期で9名、年間18名の審査委員を派遣</p>

事業名	むし歯・歯周病予防イベント(深谷健康ミニフェスタ)
実施機関	深谷市・埼玉県歯科衛生士会北部支部 大里郡市歯科医師会
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。
○事業概要	
【対象】	就学前小児と保護者・成人
【方法】	歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発
【手順】	
OR1計画(目標)	6月1日(土)10:00~15:00アリオ深谷センターコート 深谷健康ミニフェスタ開催
OH30実績	6月2日(土)10:00~15:00アリオ深谷センターコート 深谷健康ミニフェスタ開催

事業名	むし歯・歯周病予防イベント(埼玉健康アカデミー)
実施機関	寄居町・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。
○事業概要	
【対象】	就学前小児と保護者・成人
【方法】	歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発
【手順】	
OR1計画(目標)	予定なし
OH30実績	7月1日(日)10:00~12:00 埼玉グランドホテル深谷 彩歯健康アカデミーin深谷の実施

事業名	8020よい歯のコンクール
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	地域住民の健康長寿を達成するため、日本歯科医師会の推進する「8020運動」を普及

○事業概要	
【対象】	80歳以上で20本以上残存歯のあるお年寄り
【方法】	歯科医師会会員の診療所、または保健センターからの推薦を受け当該患者さんの表彰を行う。特に優秀な方は、埼玉県歯科医師会推薦し、表彰を行う。
【手順】	
OR1計画(目標)	7月4日(木)深谷公民館・生涯学習センターにて開催
OH30実績	7月19日(木)深谷公民館・生涯学習センター 第26回8020よい歯のコンクール 表彰者7名 内、優良者2名を埼玉県に推薦

事業名	節目健診、健康長寿健診、糖尿病性腎症予防健診の実施協力
実施機関	各市町村・広域連合・埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	地域の歯科口腔保健の推進
○事業概要	
【対象】	40～70歳5歳ごとの節目、75歳当該者、糖尿病性腎症予備軍当該者
【方法】	行政、広域連合等が行っている上記事業への協力と当該患者さんへの健診、歯科保健指導
【手順】	
OR1計画(目標)	当該患者さんへ健診・歯科保健指導 会員診療所にて随時健診・指導
OH30実績	当該患者さんへ健診・歯科保健指導 会員診療所にて随時健診・指導

事業名	深谷市福祉健康まつり
実施機関	深谷市・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発
【手順】	
OR1計画(目標)	10月27日(日)ビッグタートル周辺 第13回深谷市福祉健康まつり
OH30実績	10月28日(日)ビッグタートル周辺 第14回深谷市福祉健康まつり

事業名	小児う蝕予防対策事業
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	埼玉県歯科口腔保健計画を踏まえ、小児う蝕予防の推進
○事業概要	
【対象】	幼稚園・保育所・小中学校
【方法】	集団によるフッ化洗口の実施
【手順】	
OR1計画(目標)	未定
OH30実績	フッ化物応用研修会の実施 11月1日(木)深谷公民館

【本庄管内】

事業名	赤ちゃんから始める お口の中から健康づくり
実施機関	JA ひびきの 本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	乳幼児の口腔周囲筋の低下により、歯列不正、正しい呼吸および嚥下ができない問題が起こっている。また、虫歯予防の為に、フッ化物を利用した予防法について正しい理解をして頂くことを目標とする。

○事業概要	
【対象】	乳幼児を含む親子
【方法】	JAひびきの主催による歯科口腔講習会
【手順】	乳幼児を含む親子を対象に、口腔育成や、フッ化物によるウ蝕予防について、講演および、体験実習も兼ねて理解してもらう。
OR1計画(目標)	乳幼児期の口腔育成、虫歯予防の大切さが生涯のなかで最も重要な時期であると周知してもらう。
OH30実績	今年で2回目を迎え昨年を上回り150名の来場者数を記録。口腔育成の重要性虫歯予防の重要性について十分に関心・理解を示してくれた。

事業名	3歳児半、4歳児 個別歯科健診
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会・本庄市
現状・課題等	本庄市における、幼児のう蝕率は、まだ低いとはいえない。幼児期から、歯科健診と予防を強化し、この時期から、かかりつけ医を見つけて生涯にわたり、管理していくことが最も重要である。
○事業概要	
【対象】	本庄市在住の3歳児半、4歳児
【方法】	本庄市児玉郡歯科医師会の登録歯科医院における個別歯科健診(フッ化物歯面塗布も含む)
【手順】	本庄保健センターより、対象者に通知をおこない、事前に問診票を記載して頂き、個別歯科健診およびフッ化物塗布をおこなう。結果は、母子手帳にて。
OR1計画(目標)	幼児期からのかかりつけ歯科医をみつけて頂くことを目標とする。
OH30実績	受診者数 89人

事業名	妊婦歯科健診
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会(本庄市 上里町 神川町 美里町)
現状・課題等	少子化が進む社会において、妊娠中からお母さんの口腔状態も良くすることは、とても重要なことである。出産前からお母さん、子供の健康を守る為、妊婦歯科健診の需要が必出である。
○事業概要	
【対象】	本庄市 上里町 神川町 美里町在住の妊婦
【方法】	対象者に保健センターより通知。本庄市児玉郡歯科医師会の個別歯科健診
【手順】	対象者に配布されている、問診、健診票を記載、提出。個別歯科健診後に母子手帳にて、結果を記載。
OR1計画(目標)	昨年より、本庄市児玉郡全域に渡って健診出来るようになった。周知して頂きたい。
OH30実績	需要率が高まり、口腔環境が妊娠中は、特に重要であると周知された。平成30年度より、本庄市、美里町でも実施されることとなった。

事業名	歯周疾患検診
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市・上里町・神川町・美里町
現状・課題等	歯の喪失原因 第1位の歯周病。成人の8割以上が、罹患している。生活習慣病にも大きく関与。
○事業概要	
【対象】	本庄市児玉郡市内に在住の30、40～80歳までの節目年齢の方
【方法】	各市町から広報等で周知して頂き、歯科医師会指定の個別歯科健診
【手順】	各市町保健センターから、各歯科医院に送られている、歯科健診票に従って施行、結果についてもその場で、判定し今後の受診の進めや指導を行う。
OR1計画(目標)	全身と歯周病についての理解と、受診率のさらなるUPと健康の保持増進に努めていきたい。
OH30実績	歯周疾患検診も周知されるようになり受診率も上がってきている。平成30年度より本庄市では、73歳、80歳も健診出来るようになった。

事業名	上里ふれあい祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会・上里町 衛生士会、葵学園、多企業 他
現状・課題等	毎年恒例の行事となっている。

○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	オーラルヘルスプロモーション、8020表彰式
【手順】	歯ブラシ指導、フッ化物洗口体験、ウ蝕活動試験 口腔機能検査など
OR1計画(目標)	歯科医師会の活動における住民への周知と、歯と健康における関心の更なる向上を目指す。
OH30実績	今年も昨年同様の大盛況ぶりで、住民にも周知されているせいか午前中で終了してまう程の歯科に対する関心とコミュニケーションの場となった。

事業名	神川コスモス祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 神川町
現状・課題等	平成28年度より新しい事業として発足。
○事業概要	
【対象】	地域住民 および 8020運動よい歯のコンクール表彰者
【方法】	オーラルヘルスプロモーション 8020表彰式
【手順】	歯科医師会のブースを設け、住民の皆様には診査、体験、見学をしてもらい関心を持って頂く。また、8020表彰式も同時に行い、周知して頂く。
OR1計画(目標)	8020表彰に加え、歯科医師会コーナーを設け、住民の皆さんと触れ合いを目指す。
OH30実績	雨天の為、中止となった。

事業名	本庄市8020 よい歯のコンクール表彰式
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会・本庄市
現状・課題等	8020運動表彰式は、毎年恒例となっており、目標として頂ける活動の一つとして周知されている。
○事業概要	
【対象】	80歳以上で20本以上ある方(住民票が本庄市にある方)
【方法】	8020歯科健診
【手順】	歯科医師会推薦の方を対象者とし、毎年 交互に本庄会場、児玉会場にて8020表彰を行う。
OR1計画(目標)	後期高齢者の健康の保持増進させる為の大きな目標にして頂きたい。
OH30実績	毎年実施されていることが周知され、80歳で20本を目標に頑張っている高齢者が増加している。

事業名	美里町 健康まつり 8020表彰式 歯科講演会
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 美里町
現状・課題等	美里町 健康まつり および 講演会
○事業概要	
【対象】	美里町住民
【方法】	オーラルヘルスプロモーション 8020よい歯コンクール表彰式、歯科講演会
【手順】	毎年恒例の行政が中心となった健康まつりで、歯科相談、8020表彰式。今年度は、歯科講演会を別途日を設け 高齢者対象に大規模に開催。
OR1計画(目標)	行政単位にて、住民のお口の健康に力を入れている。今回は、高齢者を対象にオーラルフレイルの予防、口腔機能トレーニングのお話をする。
OH30実績	毎年行われるようになっており8020運動表彰に向けて日々努力してもらい結果的に、高齢者の健康が向上している実績がある。

事業名	フッ化物 洗口(週1回法)
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 本庄市・上里町・神川町
現状・課題等	小中学校におけるフッ化物洗口が浸透し結果が出ている。美里町にも検討して頂けることを期待する。
○事業概要	
【対象】	本庄市・上里町・神川町の小中学校
【方法】	週1回法 フッ化物洗口
【手順】	予め、決められた用法、用途、管理にて先生に実施してもらう。歯科医師会指導済

OR1計画(目標)	DMFT指数が、年々、良い結果に結びついており、是非、今後とも継続していきたい。
OH30実績	今年度より、ミラノールにフッ化物洗口が統一され、例年同様に行われた。フッ化物について習慣化し始め、より理解、周知されるようになった。

薬剤師会

【熊谷管内】

事業名	薬と健康フェア・産業祭
実施機関	熊谷薬剤師会
現状・課題等	健康増進・生活習慣病の予防に関し、市民に対して生活習慣の改善、健康測定や健診の重要性、薬の適正使用等について啓発する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市民公開講座の開催、健康測定・健康相談・薬相談の実施
【手順】	生活習慣病に関する講演会の開催や、薬相談・健康相談・各種健康測定を実施し、市民に対して健康増進・生活習慣病予防・薬の適正使用・健診の重要性等について啓発する。
OR1計画(目標)	1. 薬と健康フェア 6月下旬開催 来場者400人 2. 熊谷市産業祭 11月開催 来場者400人
OH30実績	1. 薬と健康フェア H30.6.24開催 来場者350人 2. 熊谷市産業祭 H30.11.19開催 来場者400人

事業名	生活習慣病に関する講習会・勉強会の実施
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催する。
○事業概要	
【対象】	薬剤師会会員
【方法】	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催する。
【手順】	薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。
OR1計画(目標)	深谷市薬剤師会主催勉強会の開催
OH30実績	・深谷市薬剤師会勉強会(H30.5.23 高脂血症について) ・埼玉県北部薬業連携協議会講演会(H30.7.24 便秘について) ・深谷市薬剤師会勉強会(H31.1.22 糖尿病について)

事業名	健康まつり等における生活習慣病相談の実施 (地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させるため)
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	生活習慣病予防のための知識の普及啓発に取り組む。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	健康まつりに参加し健康相談・おくすり相談の実施、生活習慣病予防のアドバイスをおこないます。
【手順】	生活習慣(食事・運動など)の改善指導、健康食品の利用により予防のためのセルフケアをすすめます。
OR1計画(目標)	・健康まつり等において地域住民に対する啓蒙活動を行う ・市民公開講座の開催
OH30実績	・薬と健康フェア(熊谷薬剤師会主催)に参加(H30.6.24) ・森の音楽祭(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H30.10.14) ・深谷健康福祉まつり(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H30.10.27~28) ・うめまつり(深谷市主催)薬剤師会ブースにて活動(H31.3.2~3)

事業名	各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	計画策定に携われるのは、学校薬剤師がその担当の学校保健安全委員会においてのみ可能な状況であるので、まずはその機会を活用してすすめる。
○事業概要	
【対象】	地域の小中学校の児童や生徒その保護者や先生など
【方法】	担当学校薬剤師を通じて、児童・生徒に「健康増進・食育向上」に関する正しい知識を伝
【手順】	
OR1計画(目標)	学校薬剤師が担当学校の保健安全委員会にて、タイムリーな情報を教師や保護者に指導・助言をします。(各学校年2回)
OH30実績	各市町内の学校薬剤師が担当学校の保健安全委員会にて、教師や保護者にも指導・助言を実施しました。

事業名	生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	会員薬局に来局される患者さんはすでに医師の治療を受けているのでかなり意識は高いと思われるので、イベントに参加なされる地域の皆さん(若年層も来場)を対象に行うことが「健康の大切さ」への意識付けのきっかけになると思われる。
○事業概要	
【対象】	寄居町健康まつりに来場なされる地域住民
【方法】	11月10日開催予定の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。また血圧測定や体脂肪測定、血流測定そして食事や生活習慣の聞き取りを行い、健康診断の結果など聞いて受診勧奨を行います。
【手順】	
OR1計画(目標)	11月10日開催予定の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。(年1回)
OH30実績	平成30年11月11日開催の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。(年1回)

事業名	健康増進・食育に関する理解
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	健康増進・食育推進について引き続き学ぶ。
○事業概要	
【対象】	会員薬局
【方法】	定例の勉強会にて健康増進・食育について学ぶとともにサイボウズにおいて情報を提供する。
【手順】	
OR1計画(目標)	年10回の勉強会へ多くの会員に参加してもらう。
OH30実績	定例の勉強会にて、医薬品の情報以外にも、健康増進・食育について学んだ。

事業名	地域住民への生活習慣病に関する知識の普及
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	生活習慣病等の予防、重症化予防について学び、情報を提供する。
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	血液検査等の数値をチェックし、必要に応じてアドバイスする お薬手帳に数値を記入したり、重症化する前に受診を勧奨する。
【手順】	
OR1計画(目標)	最近では、処方箋に検査値がついているのも増えている。お薬手帳を活用できるようにする。
OH30実績	だんだんと、お薬手帳持参率も上がってきている。

行政

【熊谷管内】

事業名	各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	生活習慣病の予防や生活習慣の改善を促進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が埼玉県健康長寿計画の目的であり、地域における生活習慣病の発症と重症化予防が課題である。
○事業概要	
【対象】	各市町、健康づくり関係団体、民間企業を含む食育関係団体等
【方法】	会議・研修会の開催
【手順】	食育・健康づくり関係団体の支援、研修会の開催
OR1計画(目標)	1 食育ネットワーク研修会 1回 2 食育の会活動支援 情報提供 3回 3 食生活改善推進員協議会 活動支援 総会 1回 情報提供 2回 4 県栄養士会北部地区事業部活動支援 4回 共催研修会 1回
OH30実績	1 食育ネットワーク研修会 1回 86人 2 食育の会活動支援 情報提供 3回 3 食生活改善推進員協議会 活動支援 情報提供 2回 4 県栄養士会北部地区事業部活動支援 4回 共催研修会 1回44人

事業名	医療保険者のデータヘルス計画策定支援事業
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	地域住民の健康課題を明確にし、課題となった生活習慣病の発症と重症化予防のための事業の展開が求められている。市町と協力しデータヘルス計画策定後の健康課題を改善するための効果的な保健事業につなげることが課題である。
○事業概要	
【対象】	各市町、健康保険組合、健診実施機関
【方法】	会議や研修会の開催、市町や健康保険組合等の支援
【手順】	市町健康課題対策会議の開催
OR1計画(目標)	1 管内市町健康づくり事業聞き取り調査 3市町(国保担当課、保健衛生担当課) 2 拠点保健所データヘルス推進研修会 2回 3 保健所管内健康課題対策会議 1回 4 地域・職域連携セミナー 1回
OH30実績	1 管内市町健康づくり事業聞き取り調査 3市町(国保担当課、保健衛生担当課) 2 拠点保健所データ活用研修会 2回 76人 3 保健所管内地域保健連携会議 1回 5人 4 地域・職域連携セミナー 1回 19人

事業名	歯科口腔保健計画推進事業
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	地域包括ケア体制の整備に伴い、在宅における歯科口腔保健体制の整備が求められている。 在宅療養者の口腔ケアの実施が課題である。
○事業概要	
【対象】	各市町、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会、地域包括支援センター等
【方法】	会議の開催
【手順】	保健所歯科口腔保健連携会議の開催
OR1計画(目標)	保健所歯科口腔保健連携会議 1回
OH30実績	保健所歯科口腔保健連携会議 1回 34人

事業名	健康マイレージ事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	健康マイレージという仕組みを利用し、健康寿命の延伸を図ることを目指す。
○事業概要	
【対象】	18歳以上の市民
【方法】	専用の歩数計又はスマートフォンアプリを使用し、参加者の歩数を計測する。歩数データを送信したり、各種指定事業に参加することでポイントが貯まり、一定ポイントで抽選にエントリーされる。
【手順】	
OR1計画(目標) 参加人数を増加させる。	
OH30実績 参加人数(3月末) 1,021人	

事業名	健康増進計画の推進、策定
実施機関	熊谷市
現状・課題等	熊谷市第3次健康増進計画に基づき、市民一人ひとりが行う健康づくりを地域社会で支援することにより「だれもが安心して健康に暮らせるまち くまがや」を目指す。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	基本項目を掲げ、目標達成のための施策の推進を図る。
【手順】	目標値の状況を毎年把握し、評価検証を行い、市民健康長寿の延伸を図る。
OR1計画(目標) 第3次健康増進計画が令和元年度で終了するにあたり、熊谷市第4次健康増進計画を策定する。	
OH30実績 目標値に対する項目別状況 順調14、おおむね順調14、遅れている24	

事業名	糖尿病予防教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	糖尿病予防のために必要な知識の普及啓発に努めます。
○事業概要	
【対象】	糖尿病予防に関心のある市民
【方法】	市報や前年度の特定健診の結果、HbA1cが基準値を超えている方に
【手順】	案内通知などにより周知し、教室を開催(年3コース 1コース2回) 教室では、①糖尿病予防の講話、運動の実技指導 ②個別相談を実施
OR1計画(目標) 参加者数 延べ150人	
OH30実績 開催回数 10回 参加者数 延べ78人	

事業名	ヘルスアップ教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	生活習慣病予防のために、必要な栄養・運動に関する知識の普及啓発に努めます。
○事業概要	
【対象】	運動習慣のない市民(主治医による運動制限のない方)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、教室を開催(年6コース 1コース4回) 食生活の講話、運動の実技指導を実施
【手順】	
OR1計画(目標) 参加者数 延べ600人	
OH30実績 開催回数 20回 参加者数 延べ404人	

事業名	がんばる女性の健康セミナー
実施機関	熊谷市
現状・課題等	自らの健康を見直す機会の少ないおおむね20歳代から40歳代の女性に対し、健康づくりに関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	おおむね20歳代から40歳代の女性市民(妊娠中の方は除く。)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、希望者は、セミナーの開催場所になる子育て支援拠点に直接、申込む。セミナーを年8回開催
【手順】	セミナーでは乳がん・子宮がんの講話、運動の実技指導を実施
OR1計画(目標) 参加者数 80人	
OH30実績 開催回数 11回 参加者数 95人	

事業名	個別がん検診等
実施機関	熊谷市
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努める。
○事業概要	
【対象】	胃がん検診:50歳以上(2年に1回)、大腸・肺がん検診:40歳以上 乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回)、子宮頸がん検診:20歳以上の女性(2年に1回)、前立腺がん検診:50歳以上の男性、 骨粗鬆症検診:40・45・50・55・60・65・70歳の女性 肝炎ウイルス検診:40歳の方
【方法】	市内85医療機関にて個別検診を実施
【手順】	実施期間:6月～3月。周知は、市報・ホームページによる広報。前年度受診者及び20・25・30・35歳の女性、40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の方、受診券の申込をされた方及び前々年度乳がん・子宮頸がん受診者へ受診券を送付
OR1計画(目標)	受診率 胃がん検診17%、肺がん検診19%、大腸がん検診20%、子宮頸がん検診24% 乳がん検診27%
OH30実績	受診率 胃がん検診10.1%、肺がん検診11.0%、大腸がん検診11.1%、子宮頸がん検診14.0%、乳がん検診13.5%

事業名	出前健康教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市民が主体的に健康づくりに取組めるように健康づくりに関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	市内在住の10人以上の一般団体及びグループ
【方法】	市報・ホームページ等で周知を行い、依頼により保健師・管理栄養士・運動指導者等が地域に出向き、成人・高齢者の健康づくりに関する教室を開催
【手順】	
OR1計画(目標) 参加者数 延べ 900人	
OH30実績 開催回数 30回 参加者数 延べ 867人	

事業名	健康相談
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市民から相談に応じ必要な指導や助言等を行い、市民の健康づくりを推進する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市報等で周知し、市民からの相談に対し保健師・管理栄養士が必要な指導助言を行う。
【手順】	
OR1計画(目標) 相談者数 延べ 300人	
OH30実績 相談者数 延べ 254人	

事業名	歯と口の健康診査
実施機関	熊谷市
現状・課題等	歯周疾患の早期発見・治療や歯の喪失予防のために、知識の普及啓発と歯科検診受診率向上に努める。
○事業概要	
【対象】	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民
【方法】	市報、ホームページによる広報。対象者へ受診券を送付
【手順】	市内の歯科医療機関88か所で歯科検診を実施
OR1計画(目標) 受診率 6.9%	
OH30実績 受診者数 1287人 受診率 5.3%	

事業名	高血圧予防教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	高血圧予防に関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	高血圧予防に関心のある市民
【方法】	市報・ホームページ等や前年度の特定健診の結果、血圧値が基準値を超えている方に案内通知などにより周知し、教室を年2回開催
【手順】	教室では、高血圧予防の講話、運動の実技指導を実施
OR1計画(目標) 参加者数 50人	
OH30実績 開催回数 2回 参加者数 41人	

事業名	生命(いのち)の授業推進事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	がん教育の推進とがん検診受診率の向上に努める。
○事業概要	
【対象】	中学生及び小中学校PTA等
【方法】	がんについての正しい知識や命の大切さを伝える「生命(いのち)の授業」
【手順】	
OR1計画(目標) 中学生対象 全16校、PTA等対象 10回	
OH30実績 中学生対象 全16校 1606人+保護者、PTA対象 9回 344人	

事業名	食育推進セミナー
実施機関	熊谷市
現状・課題等	食育推進の担い手として、ボランティアを養成し、食を通じた市民の健康づくりを推進する。
○事業概要	
【対象】	食育に関心のある市民
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、セミナーを開催(1コース3日間)
【手順】	セミナーでは、食育に関する講話、調理実習を実施

OR1計画(目標) 参加者数 延べ 60人
OH30実績 開催回数 4回 参加者数 延べ 31人

事業名	ウォーキングクラス
実施機関	熊谷市
現状・課題等	運動習慣の定着および身体活動量を図るとともに生活習慣病予防につなげることができるよう支援する。
○事業概要	
【対象】	市民(主治医による運動制限のない方)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、教室(運動指導)を開催(年4回)
【手順】	
OR1計画(目標) 参加者数 延べ 200人	
OH30実績 開催回数 4回 参加者数 延べ 198人	

事業名	特定健康診査等事業
実施機関	熊谷市(国民健康保険)
現状・課題等	健(検)診事業の円滑な実施に努め、効果的かつ効率的な各種保健サービスが利用できるように関係機関との連携を図り、また受診率が低いため、受診率向上に向けた対策が課題となっている。
○事業概要	
【対象】	国民健康保険加入者で40歳以上の方
【方法】	個別健診、特定保健指導該当者に対して動機付け支援、積極的支援を実施。
【手順】	該当者全員に受診券を郵送し、受診勧奨を行う。
OR1計画(目標)	・特定健康診査受診率40% ・特定保健指導実施率20%
OH30実績	・特定健康診査受診率31.0% ・特定保健指導実施率 8.0%(令和元年5月末)

事業名	生活習慣病重症化予防対策事業
実施機関	熊谷市(国民健康保険)
現状・課題等	糖尿病が重症化するリスクの高い者の人工透析への移行を防止し、国民健康保険被保険者の健康維持や医療費の適正化に資することを目的とする。
○事業概要	
【対象】	①受診勧奨対象者(未受診者・受診中断者) ・空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又はHbA1c(NGSP)6.5%以上 ・eGFRが基準値(60ml/分/1.73m ²)未満 受診中断者については、最終受診日から6か月経過しても受診した記録のない者 ②保健指導対象者 病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者でかかりつけ医の同意があった者
【方法】	受診勧奨対象者へは勧奨通知を送付し、保健指導対象者へは生活習慣改善支援プログラムの参加案内を送付する。
【手順】	
OR1計画(目標)	保健指導終了者数 50人
OH30実績	保健指導終了者数 23人

事業名	各種健康診断の実施及び受診勧奨
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見を図るため健康診断を実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況であるため、ポスターの掲示、チラシの配布、個別勧奨通知等を実施している。 健診等の結果、必要な方に対し健康管理についての保健指導や受診につなげ、重症化防止に努めている。
○事業概要	
【対象】	40歳以上の市民(胃・前立腺がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上 乳がんは30歳以上)
【方法】	30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査
【手順】	がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮頸・乳) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 肝炎ウイルス検査 要精検者への受診勧奨 ニュースレター(保健センターだより)、リーフレットの送付 ※H30年度から胃内視鏡検診の導入及びがん検診の対象年齢を変更
OR1計画(目標)	30歳代健康診査 111回実施 健康増進法に基づく健康診査 111回実施 胃がん検診 100回実施+個別 肺がん検診 111回実施 大腸がん検診 111回実施 前立腺がん検診 111回実施 子宮頸がん検診 43回実施+個別 乳がん検診 43回実施+個別 肝炎ウイルス検査 111回実施
OH30実績	30歳代健康診査 114回実施 335人受診(受診率7.6%) 健康増進法に基づく健康診査 114回実施 25人受診 胃がん検診 110回実施+個別 3,524人受診(受診率18.2%) 肺がん検診 114回実施 10,395人受診(受診率23.2%) 大腸がん検診 114回実施 10,209人受診(受診率22.8%) 前立腺がん検診 114回実施 3,718人受診(受診率22.9%) 子宮頸がん検診 45回実施+個別 2,464人受診(受診率15.0%) 乳がん検診 45回実施+個別 2,964人受診(受診率17.9%) 肝炎ウイルス検査 114回実施 368人受診(受診率0.7%) ※子宮頸がん、乳がんは新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の受診者数を含む ※がん検診結果統一集計による対象者を基準とした受診率

事業名	歯周病検診
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	成人期の歯の喪失原因である歯周病の早期発見を図り、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及をはかるため、歯周病検診を実施している。
○事業概要	
【対象】	節目検診(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達する方) 妊婦
【方法】	対象者に周知し、委託歯科医院で歯科検診、歯科相談及び保健指導を実施し、定期的に歯科検診を受けるきっかけづくりとする。
【手順】	H30年度から助成金交付制度(償還払い)を導入
OR1計画(目標)	節目検診 7月～R2年2月実施 妊婦検診 4月～R2年3月実施 助成金交付
OH30実績	節目検診 887人、妊婦検診 306人、助成金交付 13人 計1,206人

事業名	むし歯・歯周病予防イベント
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	6月4日の「むし歯予防デー」にちなみ、こどもとその保護者、成人を対象に実施している。
○事業概要	
【対象】	深谷市民
【方法】	歯科衛生士会に委託し、アリオ深谷センターコートで実施。むし歯・歯周病予防について
【手順】	講話、歯科相談等を実施
OR1計画(目標)	むし歯・歯周病予防イベント 6月1回実施
OH30実績	むし歯・歯周病予防イベント 6月1回実施 総来場者268人(講話145人、歯科相談 成人45人、子ども5人、工作73人)

事業名	ハイリスク健康教育
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	生活習慣病の予備軍に対し、生活習慣病に移行させないために、対象者自身が健診結果を理解して体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるようにすることを目的として実施しているが、参加者数が少ないことが課題である。
○事業概要	
【対象】	30歳代健康診査、・健康増進法に基づく健康診査及び深谷市国民健康保険特定健康診査において「保健指導」と判定され、高血糖や肥満により該当になった方
【方法】	個別相談3回、血液検査1回その他、ふかや毎日プラス1000歩運動(コバトン健康マイレージ)事業にも参加
【手順】	
OR1計画(目標)	ハイリスク健康教育事業実施
OH30実績	参加者5人

事業名	骨粗しょう症検診・相談
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	骨密度測定を行うことにより、骨量減少の早期発見と早期治療を促進し、骨粗しょう症を予防していくための生活習慣の改善を図ることを目的として実施しているが、より受診が必要な壮年期の女性の受診率向上が課題である。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の市民
【方法】	骨密度測定(DXA法)および結果説明、保健師・管理栄養士による相談
【手順】	
OR1計画(目標)	骨粗しょう症検診・相談 3回実施
OH30実績	検診 373人、相談170人

事業名	深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	深谷市健康づくり推進条例および健康づくり計画に基づき、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を送れるよう、ヘルスプロモーションの理念のもと市全体で市民の健康づくりを支援し、健康なまちづくりを目指す。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の在住、在勤、在学者
【方法】	健康づくりポイントカードをツールとし、各種健(検)診受診、協賛店の利用、登録事業へ
【手順】	

OR1計画(目標)	本事業の達成者数・事業協力団体、企業の増加
OH30実績	ポイント達成者1,359人 事業協力団体数:登録事業51団体、協賛店91店

事業名	ふかや毎日プラス1000歩運動
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	健康づくりのために「運動を実践する」市民を増やすため、歩くことを推奨した健康長寿埼玉モデル事業(ふかや毎日プラス1000歩運動)を県コバトン健康マイレージ事業を活用して実施する。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の在住、在勤、在学者
【方法】	ICTを活用し、歩数を計測。普段より少し多く歩く市民を増やし、健康づくりへの効果及び医療費への影響を検証する。県コバトン健康マイレージ事業を活用を継続。
【手順】	
OR1計画(目標)	県補助事業はH30年度で終了となったが、市単独事業として継続実施。参加者数を対前年度500人増の1,930人。
OH30実績	参加者数 1,430人

事業名	各種健康教育・減塩教育事業・食育推進事業
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	自ら健康づくりに取り組む市民を増やすため、疾病予防および減塩に関する正しい知識の普及・啓発、食育の推進を図ることが必要である。特に重点的な課題を「プラス1000歩」「野菜ひと皿」「30代～50代」として継続的に取り組んでいく。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	健康づくり推進条例および健康づくりの啓発チラシの作成・配付、各種健康講演会・健康教育の実施、減塩教育、食育推進事業等の開催
【手順】	
OR1計画(目標)	市民、関係機関、行政の協働の健康づくり・食育推進のための仕組みづくりに取り組みながら、各種健康教育等を実施
OH30実績	一般健康教育 開催数80回 参加者5,320人 食育推進事業 開催数61回 参加者1,511人

事業名	健康長寿計画の進行管理と評価
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿計画(健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)が29年度策定され、30年度より目標の実現に向けた取り組みを展開していく。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	健康長寿計画に掲げた 評価指標にそって事業評価を行う
【手順】	評価指標に掲げられた項目について実績の把握を行う 健康づくり推進協議会を開催し、協議検討を行う
OR1計画(目標)	平成30年度の進行管理と評価を実施する。 健康づくり推進協議会を開催し、競技検討を行う。
OH30実績	

事業名	生活習慣病予防事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿県下No.1を目指した健康づくり事業の継続

○事業概要	
【対象】	20歳以上の住民
【方法】	生活習慣病予防について普及啓発に努める
【手順】	寄居プラス1000歩運動を継続実施するほか、スマイルポイント事業、ラジオ体操教室、栄養教室等を開催し、生活習慣病予防の普及に努める。
OR1計画(目標)	生活習慣病予防の普及啓発(毎月第4金曜日を「健康チェックの日」として役場にて血圧測定、血管年齢測定、体組成測定を実施する)
OH30実績	スマイルポイント事業(50ポイント以上の参加者390人)、ラジオ体操教室(306人)、

事業名	歯科口腔保健推進事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿計画策定の際行った、住民アンケートでは「歯間ブラシや糸ようじを使う」「フッ化物入りの歯磨き剤を使用している」「よく噛んで食べる」「感触や甘いものを控えている」などの割合は2～3割と低い数値であった。
○事業概要	
【対象】	幼児とその保護者、20歳以上の住民
【方法】	歯科口腔保健、歯科疾患予防の普及啓発に努める
【手順】	歯科イベントの実施。幼児を対象とした事業の中で、口腔ケアの重要性等普及啓発する。
OR1計画(目標)	歯科イベントを実施し、歯科口腔保健に関する普及啓発に努める。
OH30実績	歯科イベント(子ども62人、成人58人)

【本庄管内】

事業名	地域職域連携推進事業(保健指導実務者研修会等の開催)及びデータヘルス推進事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	データヘルス計画は管内市町策定済み、施行中。同計画を効果的に活用して、特定健康診査・特定保健指導等保健事業を実施。生活習慣病の重症化予防や住民の健康寿命の延伸を図る。特定健診受診率及び保健指導実施率の目標達成が課題。
○事業概要	
【対象】	市町特定健診他保健事業担当者、事業所等健康管理部門担当
【方法】	研修会及びロールプレイング他
【手順】	健康課題分析で優先課題を見出し、効果的な行動変容を促す手法を学ぶ。
OR1計画(目標)	管内だけでなく広域での研修を通じ、市町の保健部門、国保部門との健康課題の共有、効果的な保健事業の実施、事業の評価方法について学ぶ。
OH30実績	1 データ活用研修会 テーマ特定健診受診率向上 3回開催 2 保健指導実務者研修会 12月26日 31人参加

事業名	食育推進事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	若年期からの生活習慣病予防について情報提供していく。働き盛り世代には、生活習慣病予防や重症化予防をアプローチする機会が得られにくい。
○事業概要	
【対象】	保育園の栄養士、保育士や学生
【方法】	講義形式の研修会や調理実習、グループワーク
【手順】	食育事例等の紹介や情報交換、実習を通じて具体的方法を学ぶ。
OR1計画(目標)	食や健康に関する正しい知識を習得する。
OH30実績	1 食育研修会 2月22日 22人参加 2 健康長寿サポーター養成講座 4回 21人参加

事業名	歯科口腔保健連携会議及び摂食嚥下研修会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	高齢化社会において健康な生活を送るため、また、管内75歳以上死因割合が2番目に高い肺炎の予防のため、口腔ケアの重要性の周知及び支援が必要である。地域在宅歯科医療推進拠点の効果的な活用を目指す。
○事業概要	
【対象】	管内市町、歯科医師会、歯科衛生士会、高齢者福祉・介護関係者
【方法】	歯・口腔の健康管理をテーマにした協議及び研修
【手順】	関係機関による情報交換、課題検討及び研修を行う。
OR1計画(目標)	口腔ケアが必要な住民に提供できるよう会議や研修会を通じて関係機関が顔の見える連携づくりをする。
OH30実績	1 保健所歯科口腔保健連携会議 高齢者対象の口腔ケアについて、協議した。 10月19日 歯科医師、歯科衛生士、介護保険関係施設職員他 31人参加 2 摂食・嚥下に配慮した食事の提供を学ぶ研修会 3月1日 70人参加

事業名	特定健康診査・特定保健指導、生活習慣改善教室(ステップアップ教室)、 がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供及び健康づくりに関する各種教室
実施機関	本庄市
現状・課題等	特定健康診査やがん検診の受診率を向上させるための取り組みの検討を行う。また、市民自ら生活習慣病予防の知識を習得し健康づくりに取り組めるよう、教室等を通して周知・啓発に努める。
○事業概要	
【事業名】	特定健康診査・特定保健指導
【対象】	40歳以上の国保加入者
【方法】	国のマニュアルによる。
【手順】	対象者抽出・広報及び対象者へ通知・健診実施(集団・個別)・評価
OR1計画(目標)	健診受診率、保健指導率の向上
OH30実績	推移 H29 → H30 特定健康診査:受診者数 4,872人 → 4,655人、受診率 32.3% → 31.6% 特定保健指導:実施者 114人 → 222人
【事業名】	生活習慣改善教室(ステップアップ教室)
【対象】	特定健診受診者のうち保健指導が必要な方
【方法】	調理実習・運動実技・健康相談等
【手順】	計画・対象者抽出・教室参加勧奨・実施・評価
OR1計画(目標)	参加者数の増加。対象者に適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。
OH30実績	実施回数:19回 参加延人数:158人
【事業名】	がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供
【対象】	対象年齢の市民等
【方法】	前年度のがん検診受診者と20～39歳までの隔年、節目の年齢、50歳代に、受診券及び検診案内を送付。市広報・ホームページで告知。リーフレット配布。乳がん触知モデル展示による自己健診法の紹介等。
【手順】	
OR1計画(目標)	受診率の向上。および、がんの早期発見や予防についての周知・啓発を図る。
OH30実績	受診率の推移(H29年度→H30年度) 胃がんリスク 15.4%→13.7% 前立腺がん 21.3%→26.6% 肺がん 18.6%→18.4% 大腸がん 17.5%→18.7% 子宮頸がん 25.1%→24.6% 乳がん
【事業名】	健康づくりに関する各種教室
【対象】	おおむね40歳以上の市民
【方法】	講話・運動実技・血圧、体重測定・体力測定・調理実習等
【手順】	計画・告知・参加者募集・実施・評価
OR1計画(目標)	参加者数の増加。参加者が生活習慣を見直し、行動目標を設定し実践する。
OH30実績	計 239回 参加延人数:5,511人

事業名	乳幼児健診・健康相談における歯科検診・保健指導及び幼児個別 歯科健診、 歯周疾患検診
実施機関	本庄市
現状・課題等	・乳幼児期からの歯科口腔保健への取り組みの継続。 ・歯周病予防の推進を図るため個別歯周疾患検診(節目検診)を実施。受診者数を伸ばすための取り組みについて検討。
○事業概要	
【事業名】	乳幼児健診・健康相談における歯科検診・保健指導及び幼児個別歯科健診
【対象】	(乳幼児健診)1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児と保護者 (個別)3歳6ヶ月児・4歳児とその保護者
【方法】	(乳幼児健診)歯科検診(2歳児を除く)、ブラッシング指導、フッ素塗布(1歳6ヶ月・3歳児) (個別)歯科検診、フッ素塗布
【手順】	広報・対象者への通知・実施・評価
OR1計画(目標)	う蝕のある児の総数および一人あたりのう蝕歯数の減少
OH30実績	歯科健診の受診者数および、う蝕歯保有率(H29→H30)の推移 1.6歳児 507人 0.6%→0.2% 2歳児 500人 3歳児 549人 9.4%→9.8% 個別歯科 89人
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	40・45・50・55・60・65・70・73・80歳の市民
【方法】	個別検診
【手順】	健診通知同封物や広報、HP等での周知及びポスターの掲示・実施・集計及び評価
OR1計画(目標)	検診受診者数の増加
OH30実績	検診受診者数の推移(H29年度→H30年度) 408人→485人

事業名	ミムリン健幸ポイント事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	参加者数については、人口の約22%と高い状況だが、参加者の歩数が伸び悩んでいる。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の町民
【方法】	①歩数計(40歳以上)又はスマートフォン(20歳以上)で参加。 ②歩数・特定健診・がん検診等、高齢者いきいき事業・イベント等に参加することでポイント付与される。 ③ポイントは「みさと元気チケット」と交換
【手順】	①4月1日から参加者募集 ②ポイント付与期間:令和元年4月から令和2年3月 ③ポイント交換:令和2年6月～7月で交換。500ポイントを単位とし、500ポイントごとに500円分の「みさと元気チケット」と交換。交換できるポイントの上限は5,000ポイント。抽選会を実施し、景品を贈呈。
OR1計画(目標)	健康維持及び体力向上、生活習慣病予防を促進することにより、健康寿命の延伸と国保医療費の抑制を図る。
OH30実績	参加人数:2,405人

事業名	がん検診等の受診勧奨・再勧奨及び精検未受診者勧奨、がん予防 についての情報提供 特定健診とがん検診等の同時実施 特定健診受診勧奨及び特定保健指導 食生活改善事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	各がん検診・特定健診の受診率は、年々向上している。 若い世代の受診率が低い。

○事業概要	
【事業名】	がん検診等の受診勧奨・再勧奨
【対象】	がん検診等対象者
【方法】	①各種がん検診・骨粗鬆症検診対象者すべての方に、受診券及び案内を個別通知する。 ②広報等による検診のPR ③40歳から69歳(子宮頸がんは20歳)の国保の方でがん検診未受診者に再勧奨通知を個別に送付する。
【手順】	①4月下旬に個別通知送付 ②広報お知らせ版5月15日号掲載 ③1月中旬に再勧奨通知を個別に送付
OR1計画(目標)	受診率の向上
OH30実績	受診率 大腸がん:33.8% 肺がん:38.7% 子宮頸がん:23.9% 乳がん:25.5%
【事業名】	精検未受診者勧奨
【対象】	各がん検診精密検査未受診者
【方法】	再勧奨通知を個別に送付する。
【手順】	2月上旬、次年度7月上旬に個別通知送付
OR1計画(目標)	精検受診率の向上
OH30実績	精検受診率 大腸がん:71.6% 肺がん:83.9% 子宮頸がん:89.3% 乳がん:65.5%
【事業名】	がん予防についての情報提供
【対象】	町民
【方法】	①乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう。 ②健康まつり時に、がんに関するリーフレット等を配布。乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう。
【手順】	
OR1計画(目標)	がんについての情報提供を行い、各がん検診の受診率の向上をねらう。
OH30実績	・乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらった。 ・健康まつり時に、がんに関するリーフレット等を配布。乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらった。
【事業名】	特定健診とがん検診等の同時実施
【対象】	各検診対象者
【方法】	特定健診時に、肺がん・大腸がん検診・歯周疾患検診・肝炎ウイルス検診・風しん抗体検査を同時実施 子宮頸がん・乳がん・骨粗鬆症検診を同時実施
【手順】	
OR1計画(目標)	受診率の向上
OH30実績	特定健診時に、肺がん・大腸がん検診・歯周疾患検診を同時実施 子宮頸がん・乳がん・骨粗鬆症検診を同時実施
【事業名】	特定健診受診勧奨
【対象】	40～74歳国民健康保険加入者
【方法】	通知及び電話勧奨
【手順】	①対象者全員に個別通知及びパンフレットを送付(集団健診) ②集団健診未受診者へ個別健診の案内及び勧奨通知を送付 性別・年代別に勧奨通知の内容を変更 ③勧奨通知送付後、年代等を絞り電話での受診勧奨を実施 60歳まで社会保険に加入しており、今年度61歳を迎える方を予定
OR1計画(目標)	受診率51%
OH30実績	受診率46.3%
【事業名】	特定保健指導
【対象】	特定健診受診者で、動機づけ支援・積極的支援が必要とされた者
【方法】	集団指導・個別指導
【手順】	指導対象者に保健指導を実施。

OR1計画(目標)	特定保健指導率52% 自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる。
OH30実績	特定保健指導率52.6%
【事業名】	食生活改善事業
【対象】	食生活改善推進員連絡協議会会員
【方法】	①調理実習時に、管理栄養士による生活習慣病・食育等の講話 ②調理実習時に、体重測定・血圧測定の実施 ③塩分計を貸し出し、自分自身の家庭の塩分濃度を測定してもらう。
【手順】	①②調理実習 3グループ×8回=24回実施
OR1計画(目標)	生活習慣病や食育等についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発
OH30実績	実施回数:20回 参加人数:延342人

事業名	スッキリ！げんき教室 「健幸ときめき隊」 ミムリン探健隊 ミムリンe運動プログラム 生活習慣病予防訪問指導事業 健康相談 結果説明会及び個別相談 生活習慣病予防のための情報提供
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	町では、脳血管疾患・糖尿病の方が増加傾向にある。
○事業概要	
【事業名】	スッキリ！げんき教室
【対象】	運動制限のない40歳以上の町民の方
【方法】	10月～3月の間に13回実施。身体測定・体力測定・運動教室5回・尿検査2回・アンケート提出2回・塩分計による減塩取り組みシート提出。歩数計を配布し、血圧・体組成・歩数をデータ管理(タニタに委託)
【手順】	特定健診結果に同封・広報等でお知らせし、実施後タニタデータ、尿検査、体力測定結果、アンケート等で評価をする。
OR1計画(目標)	実施なし
OH30実績	実施回数:13回 参加人数:延208人
【事業名】	「健幸ときめき隊」
【対象】	平成27年度・平成28年度・平成29年度(めざせ！毎日1万歩運動・健康ときめき楽習会)講座修了者
【方法】	運動教室8回・栄養講座1回・身体測定1回・尿検査2回・アンケート提出2回・塩分計による減塩取り組みシート提出。歩数計を配布。 血圧・体組成・歩数をデータ管理(タニタに委託)。
【手順】	実施後、タニタのデータ・尿検査・アンケート等で評価をする。
OR1計画(目標)	実施なし
OH30実績	実施回数:14回 参加人数:延1,482人
【事業名】	ミムリン探健隊
【対象】	運動制限のない40歳以上の町民の方
【方法】	6月～2月の週に14回実施 歩数計を配布し、各公民館(3ヶ所)を起点とした、ウォーキングマップを作成し、歩いてもらう。 身体測定2回・尿検査2回・アンケート提出2回・減塩計による減塩取り組みシートの提出・マップの作成3回・ウォーキング2回・運動教室3回・栄養指導(講義)1回実施。血圧・体組成・歩数をデータ管理。(タニタに委託)(つくばウエルネスリサーチより講師依頼)
【手順】	広報等でお知らせ 実施後、タニタのデータ・尿検査・アンケート等で評価をする。
OR1計画(目標)	実施なし
OH30実績	実施回数:14回 参加人数:延563人

【事業名】	ミムリンe運動プログラム
【対象】	運動制限のない20歳以上の町民の方
【方法】	体力測定:3ヶ月に1回、運動教室:月1~2回
【手順】	広報等でお知らせ 体力測定の結果により個人にあった運動プログラムシートを提供する。そのシートを活用し、家庭などでも健康づくりに取り組んでもらう。
OR1計画(目標)	生活習慣病予防及び生活レベルの向上
OH30実績	
【事業名】	生活習慣病予防訪問指導事業
【対象】	特定健診及び後期高齢者医療健診実施後、血圧値またはHbA1c値が要医療で服薬なしの方
【方法】	訪問指導
【手順】	特定健診後、対象者抽出し、案内を送付。初回訪問で事業参加の有無を確認。参加者には1ヶ月に1回程度訪問指導を実施。対象者には、体組成計・血圧計・塩分計を貸与し、記録を毎日つけてもらう。併せて、尿検査による1日推定塩分摂取量測定を参加前後で実施する。
OR1計画(目標)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる。
OH30実績	事業該当者:112人 実施者数(実):49人
【事業名】	健康相談
【対象】	全住民
【方法】	保健師・管理栄養士による健康相談(電話・来所・訪問)
【手順】	随時受付
OR1計画(目標)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、生活習慣の改善を図る。
OH30実績	実施人数:62人
【事業名】	結果説明会及び個別相談
【対象】	特定健診・後期高齢者医療健診受診者
【方法】	保健師・管理栄養士によるミニ講座及び個別相談
【手順】	
OR1計画(目標)	健診結果から自分の身体の状態を知り、生活を振り返ることで生活習慣病予防に生かすことができるように促す。
OH30実績	実施人数:32人
【事業名】	生活習慣病予防のための情報提供
【対象】	全町民
【方法】	広報誌に生活習慣病予防のための情報を毎月掲載
【手順】	
OR1計画(目標)	生活習慣病についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発
OH30実績	広報誌に月1回掲載

事業名	幼児歯科健診 1歳6ヶ月児健診・3歳児健診 歯周疾患検診 妊婦歯科健診 歯科講演会(子供向け及び大人向け) 「8020運動よい歯のコンクール」表彰
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	5歳児歯科健診の受診率が低い。
○事業概要	
【事業名】	幼児歯科健診
【対象】	2歳児、2歳6ヶ月児、5歳児とその保護者
【方法】	①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布
【手順】	2歳児・2歳6ヶ月児(同日実施):年4回、5歳児:年4回実施

OR1計画(目標)	幼児のう蝕の減少
OH30実績	<受診率> 2歳児:98.3% 2.6歳児:86.7% 5歳児:83.7% <う蝕のない児の割合> 2歳児:98.3% 2.6歳児:95.4% 5歳児:79.2%
【事業名】	1歳6ヶ月児健診・3歳児健診
【対象】	1歳6ヶ月児・3歳児とその保護者
【方法】	<<1歳6ヶ月児>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 <<3歳児健診>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布
【手順】	各健診4回実施
OR1計画(目標)	受診率の向上
OH30実績	<受診率> 1.6歳児:93.8% 3歳児:98.7% <う蝕のない児の割合> 1.6歳児:98.3% 3歳児:79.2%
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	集団健診:40歳以上の町民 個別健診:40・45・50・55・60・65・70歳及び75歳以上
【方法】	歯周病疾患等の検査、歯科衛生士による歯科相談・指導
【手順】	集団健診:特定健診時に実施(10日間) 個別健診:9月～3月実施
OR1計画(目標)	成人及び高齢者の歯周疾患予防
OH30実績	受診者数 集団:101人 個別:215人
【事業名】	妊婦歯科健診
【対象】	町内に住所を有し、町長に妊娠の届出をした妊婦、及び他市町村で母子健康手帳の交付を受け、町内の住所に住所変更の届出をした妊婦
【方法】	歯科健診、健診結果の説明、歯科保健指導
【手順】	出産の前日までに受診
OR1計画(目標)	むし歯や歯周疾患にかかりやすい時期にある妊婦に対し、歯科健診を実施することにより、妊婦と生まれてくる子の予防歯科への意識を高め、口腔衛生の向上を図る。
OH30実績	受診者数:18人
【事業名】	歯科講演会(子供向け及び大人向け)
【対象】	子供向け:0～3歳までのお子さんと保護者(町内在住) 大人向け:全住民
【方法】	知識の習得
【手順】	講演会の実施
OR1計画(目標)	歯と口腔の健康づくりについて、普及啓発を図る。
OH30実績	参加者数 子供向け:16人 大人向け:18人
【事業名】	「8020運動よい歯のコンクール」表彰
【対象】	80歳以上で自分の歯が20本以上ある方
【方法】	町の歯周疾患検診を受診
【手順】	表彰式の開催
OR1計画(目標)	歯の健康に対する意識の向上を図り、あわせて健康の保持増進を図る。
OH30実績	表彰者:25人

事業名	シニア健康あっぷ塾 年2クール実施(口腔機能向上プログラムとして)
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	運動機能向上の取り組みを行なう上で、口腔機能向上の要素も欠かせない。お口の健康を保つことが全身の健康につながることを学ぶ。

○事業概要	
【対象】	65歳以上の高齢者で、基本チェックリストで該当となった方
【方法】	①第1日目 ・講義(お口の働き、お口の健康度チェック、嚥下の仕組み) ・フードテスト ・口腔体操(唾液腺マッサージ、舌体操、パタカラ、歌に合わせた口腔体操 ほか) ②第2日目 ・口腔体操復習(歌に合わせた口腔体操 ⇒ バラが咲いた、線路は続くよどこまでも) ・講義(噛むことの大切さ、唾液の働きと舌の動き、感染予防(誤飲性肺炎、歯周病)、病気との関わり) ・正しい磨き方(歯の磨き方の実習、義歯の手入れの仕方) ※歯ブラシ、歯間ブラシ、フロス、舌ブラシ、義歯ブラシのセットを無償配布
【手順】	シニア健康あっぷ塾全13コマのうち、口腔機能向上プログラムとして2コマ実施。
OR1計画(目標)	シニア健康あっぷ塾において、口腔機能向上プログラムを実施 年2クール(各1コマ) 「めざせ健康(健口)長寿! 楽しく・おいしくフレイル予防!」
OH30実績	シニア健康あっぷ塾 ・第1クール 5名 ・第2クール 7名

事業名	マタニティカフェ(年2回実施) 妊婦歯科個別検診 乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導 成人歯科個別検診 8020運動 地域支援事業(年19回実施予定)『介護予防10教室で各2回』
実施機関	神川町
現状・課題等	・ライフステージに沿った歯科保健サービス体制の構築 ・歯科保健事業の充実及び歯科検診受診率の向上を目指す。
○事業概要	
【事業名】	マタニティカフェ(年2回実施)
【対象】	妊婦と配偶者
【方法】	歯科医師による歯科検診と講話及び唾液検査。助産師による何でも相談。
【手順】	同上
OR1計画(目標)	妊娠中の口腔内を健やかに保つとともに、生まれてくる子や家族の歯の健康づくりについても意識を高める。
OH30実績	2回実施 7名参加
【事業名】	妊婦歯科個別検診
【対象】	妊婦
【方法】	町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察
【手順】	歯科医院へ予約し受診
OR1計画(目標)	参加率を目標30%
OH30実績	14名受診
【事業名】	乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導
【対象】	6ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳児及び保護者
【方法】	歯科衛生士によるブラッシング指導等
【手順】	健診に来た人全員に実施
OR1計画(目標)	むし歯のない子の割合 目標: ・1歳6か月児健診100% ・2歳児歯科検診 95% ・3歳児健診 85%
OH30実績	受診率 1歳6か月児健診98%、2歳児歯科検診94.6%、3歳児健診100%

【事業名】	成人歯科個別検診
【対象】	30歳から80歳までの5歳きざみの方
【方法】	町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察
【手順】	歯科医院へ予約し受診
OR1計画(目標)	自分や家族の口腔の状態に関心を持ち、口腔ケアを実践する人が増える。
OH30実績	61名受診
【事業名】	8020運動
【対象】	80歳以上で自分の歯が20本以上ある方
【方法】	コスモスまつり時に表彰
【手順】	歯科検診により抽出又は町内歯科医師からの推薦、本人に連絡
OR1計画(目標)	歯の喪失を防ぎ、よく噛める歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいき過ごすことができる。
OH30実績	2名表彰
【事業名】	地域支援事業(年19回実施予定)『介護予防10教室で各2回』
【対象】	一般介護予防事業対象者
【方法】	衛生士による口腔指導・相談、口腔体操
【手順】	集団指導
OR1計画(目標)	口腔健康の意義への理解
OH30実績	年間19回実施、延337名参加

事業名	健康相談 毎日1万歩運動 ウォーキング教室の開催 健康チャレンジ教室(国保事業) 地域健康づくり出前講座 食生活改善推進協議会活動の充実 親子料理教室 子ども農園
実施機関	神川町
現状・課題等	・健康増進の重要性について住民全体の共有化を図るとともに、ライフステージごとの効果的な生活習慣病予防対策事業を実施していく。 ・町民の生活習慣の改善に繋がる魅力ある事業展開 ・食生活改善推進協議会の活動充実
○事業概要	
【事業名】	健康相談
【対象】	全町民
【方法】	保健師による健康相談を実施(毎週水曜日午前中)
【手順】	広報、町HP等で周知
OR1計画(目標)	町民一人ひとりが正しい生活習慣を身に付け、QOLの向上を図り、生き甲斐を感じながら生涯いきいきと暮らせることを目指します。(健康増進計画の目標より)
OH30実績	延相談者数457名
【事業名】	毎日1万歩運動
【対象】	20～74歳の住民(200名定員)
【方法】	・タニタに委託して実施 ・活動量計(万歩計)をつけて、毎日1万歩を目標にウォーキング ・月1回タニタへデータ送信する。 ・体力測定などで評価
【手順】	①各自ウォーキング ②歩数イベント・かわら版(支援レター)等でモチベーションを維持 ③体力測定・アンケートで成果の確認 ④埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加
OR1計画(目標)	参加者300名
OH30実績	参加者183名

【事業名】	ウォーキング教室の開催
【対象】	40歳～74歳までの約20名
【方法】	一般コース:6月から3月まで8回開催。健康運動指導士による教室を開催 継続コース:年3回開催。健康運動指導士による教室を開催
【手順】	募集－実施－検証
OR1計画(目標)	参加申込数34名
OH30実績	延参加者数103名(新規38、継続65)
【事業名】	健康チャレンジ教室(国保事業)
【対象】	40～65歳までの町民、運動制限のない方
【方法】	保健師、管理栄養士、スポーツケアトレーナーにより年24回実施
【手順】	講話と運動。見込延べ人数300人
OR1計画(目標)	延参加者数350名
OH30実績	25回実施、延参加者345名
【事業名】	地域健康づくり出前講座
【対象】	全町民
【方法】	保健師等が地域に出向き健康づくり講座を実施
【手順】	募集・日程調整・実施
OR1計画(目標)	地域ぐるみでの健康づくり講座の実施
OH30実績	1か所実施、参加者20名
【事業名】	食生活改善推進協議会活動の充実
【対象】	全町民
【方法】	食生活を通じた健康づくり事業の展開
【手順】	食育の推進、生活習慣病の予防及び食生活改善の推進
OR1計画(目標)	地域に根ざした食生活改善推進活動の実施
OH30実績	定例会7回実施、延参加者数69名
【事業名】	親子料理教室
【対象】	小学校3年生から6年生の児童と保護者
【方法】	食生活改善推進員が中心となり調理実習と講話を実施。
【手順】	募集・調理実習・保護者の講話
OR1計画(目標)	子どもが料理することを楽しみ、一人で料理ができることを目指す。
OH30実績	1回実施、参加者数9名
【事業名】	子ども農園
【対象】	3歳～小学生の親子
【方法】	栽培から収穫、調理までの一連の流れを経験してもらうことで、子どもたちの「食べる力」を育む。
【手順】	募集・種まき・収穫・調理を体験する。
OR1計画(目標)	親子や家族とのかかわり、仲間や地域とのかかわりを深め、子どもの健やかな心身の発達を促す。
OH30実績	11回実施、実18組参加、延参加者数189名

事業名	特定健診 特定保健指導 健診結果説明 重症化予防のための個別訪問 生活習慣病重症化予防対策事業（埼玉県・国保連合会との共同事業）
実施機関	神川町
現状・課題等	・県の示す標準化死亡率(SMR)において、男女とも脳梗塞の数値が県内でも高く、当町では今だ150を越える高い値を示している。 ・特定健診・特定保健指導の受診率の向上

○事業概要	
【事業名】	特定健診
【対象】	国保加入者(40～74歳)
【方法】	集団健診、個別健診、人間ドック等
【手順】	受診勧奨・実施・評価
OR1計画(目標)	特定健診受診率 42%(データヘルス計画より)
OH30実績	特定健診受診率 39.2%
【事業名】	特定保健指導
【対象】	40歳～74歳の国保加入者等及び受診者の中で指導の必要な方
【方法】	保健師や管理栄養士により訪問による初回面接を行い、6ヶ月間継続できる生活習慣病予防の目標を立て、その成果に基づき評価を行う。
【手順】	計画・対象者抽出・実施・評価
OR1計画(目標)	対象者に対し、適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。 特定保健指導実施率60%(データヘルス計画より)
OH30実績	特定保健指導実施率68.5%
【事業名】	健診結果説明
【対象】	特定健診受診者(後期高齢者も含む)
【方法】	保健師・管理栄養士による個別相談を2会場2日間(午前・午後)実施
【手順】	計画・実施・評価
OR1計画(目標)	2日間実施 その他電話相談に対応
OH30実績	2日間実施、相談28名、電話相談16名
【事業名】	重症化予防のための個別訪問
【対象】	特定健診の受診者のうち、血圧・血糖・腎機能の数値が心配な方
【方法】	保健師と管理栄養士による個別訪問・指導を実施
【手順】	計画・実施・評価
OR1計画(目標)	保健師・管理栄養士による訪問指導
OH30実績	24名個別訪問し受診勧奨を実施
【事業名】	生活習慣病重症化予防対策事業(埼玉県・国保連合会との共同事業)
【対象】	①特定健診受診者のうち、血糖・腎機能の数値が基準以上の方 ②糖尿病性腎症の病期がⅡ～Ⅳ期の方で医師が認めたもの
【方法】	①医療未受診者・中断者への通知・電話による受診勧奨 ②糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導
【手順】	計画・委託・実施・評価
OR1計画(目標)	NTTデータへ委託し保健指導・受診勧奨を実施
OH30実績	保健指導参加1名

事業名	がん検診受診勧奨啓発 がん検診等検診費用の無料化 がん検診推進事業の実施 がん検診等ポイントカード配布事業
実施機関	神川町
現状・課題等	がん検診の若年層の受診率向上
○事業概要	
【事業名】	がん検診受診勧奨啓発
【対象】	全町民
【方法】	町内各種団体の会議、事業時に啓発チラシ配布
【手順】	広報や回覧等で周知。のぼり旗の設置。各種団体の会議等でチラシの配布。成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布。町内幼稚園及び保育所にチラシを配布し受診勧奨。
OR1計画(目標)	がん検診受診率向上
OH30実績	胃10.6%、大腸25.3%、子宮頸20.2%、乳24.3%、肺29.1%
【事業名】	がん検診等検診費用の無料化
【対象】	全町民
【方法】	町実施のがん検診等すべての検診の自己負担金を無料とする。
【手順】	広報・個人通知等にて周知するとともに、がん検診等の受診勧奨を行う。
OR1計画(目標)	がん検診受診率向上
OH30実績	胃10.6%、大腸25.3%、子宮頸20.2%、乳24.3%、肺29.1%

【事業名】	がん検診推進事業の実施
【対象】	・子宮頸がん検診:21歳 ・乳がん検診:41歳
【方法】	受診無料クーポン券配布し受診勧奨
【手順】	対象者抽出・クーポン券発送・受診・支払い・国へ申請
OR1計画(目標)	がん健診の受診率向上及び未受診者の受診率向上
OH30実績	子宮頸 対象57名 受診3名 受診率5.3% 乳 対象85名 受診8名 受診率9.4%
【事業名】	がん検診等ポイントカード配布事業
【対象】	全町民
【方法】	がん検診やその他の検診及び教室等に参加することでポイントのため、男性30ポイント、女性40ポイント貯まった方に粗品を進呈する。
【手順】	ポイントカード配布・押印・確認・粗品進呈(500円相当)
OR1計画(目標)	受診率向上
OH30実績	引き換え者 567名

事業名	健康課題分析事業の実施及び保健指導等に関する研修会への参加
実施機関	神川町
現状・課題等	保健統計及び健診結果、医療費等の分析を行い、神川町の現状と課題に即した疾病予防対策を実施。また、研修を重ねて保健師等の資質向上を図る。
○事業概要	
【対象】	保健師、看護師、管理栄養士等
【方法】	健診データ・レセプト分析等により健康対策、疾病予防対策立案
【手順】	隔月ごとに町広報に認知症予防のための正しい知識、啓発の記事及び簡単な料理のレシピを掲載
OR1計画(目標)	町の健康課題の分析、8月中に町長へ報告予定
OH30実績	3月に町長へ報告

事業名	1 検診費用無料化 2 がん検診受診勧奨 3 がん検診啓発事業 4 がん検診推進事業
実施機関	上里町
現状・課題等	がん検診受診率の向上が必要
○事業概要	
【事業名】	1 検診費用無料化
【対象】	がん検診受診者
【方法】	平成30年度より、がん検診の自己負担がすべて無料となる。
【手順】	健康ガイドブック、広報、ホームページ、個別の受診勧奨等で周知
OR1計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 令和元年度も引き続き検診費用無料とする。
OH30実績	計画どおり実施。

【事業名】	2 がん検診受診勧奨
【対象】	以下のとおり
【方法】	1)40歳男女に健康増進事業の紹介も含めて、個別の受診勧奨を実施 2)30歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付勧奨文を個別通知 3)町内保育園・幼稚園を通じて子育て世代の女性に対して子宮頸がん受診勧奨のチラシを配布 4)「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した個別の受診勧奨、再勧奨を実施。対象者は51歳、61歳で5がん検診のいずれも申込をしていない方へ5がん検診の受診勧奨、その後、同年齢で大腸がん検診を申込していない方へ大腸がん検診の再勧奨を行う。 5)各世帯ごとに申込書を配布(健康ガイドブック) 6)広報、ホームページなどで周知
【手順】	平成30年度のがん検診申込開始時に対象年齢の方に受診勧奨を行う。
OR1計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 受診勧奨は以下のとおりに実施する。 1)30歳・35歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付勧奨文を個別通知 2)幼児健診の会場で、子育て世代の女性に対して子宮頸がん検診受診勧奨のチラシを配布 3)40歳男女に健康増進事業の紹介も含めて、個別の受診勧奨を実施 4)胃がんリスク検診(指針外)対象者の助成に対しては子宮頸がん検診・乳がん検診個別検診受診券も併せて送付する 5)50代(50歳55歳除く)の国民健康保険加入者で5がん検診を申込みしていない者へ「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した個別の受診勧奨・再勧奨を実施。5がん検診受診勧奨後、大腸がん検診及び乳がん検診について再勧奨を行う。 6)各世帯ごとに申込書を配布(健康ガイドブック) 7)広報、ホームページで周知
OH30実績	計画どおり1)～6)を実施
【事業名】	3 がん検診啓発事業
【対象】	全町民
【方法】	①「めざせ、受診率50%」のロゴの活用(庁用車にマグネットで貼付、センター内にのぼり旗の常設)②がん予防教室
【手順】	②については男女共同参画推進センターと共同実施
OR1計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% がん予防教室を男女共同参画推進センターと共同で開催する
OH30実績	計画どおり①②を実施。②は参加者が71名。
【事業名】	4 がん検診推進事業
【対象】	以下のとおり
【方法】	国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により、①個別の受診勧奨・再勧奨②精密検査受診勧奨を行う。①については「2 がん検診受診勧奨」により実施。②については5がん検診受診者で要精密検査となった方のうち、精検受診結果が確認できない方に対して受診勧奨と受診結果確認を兼ねた通知文を個別に郵送する。
【手順】	①は5月、10月ごろを目途に実施、②は1月ごろより実施。
OR1計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により①個別の受診勧奨(5がん検診)・再勧奨(大腸がん検診、乳がん検診)②精密検査受診勧奨を行う。
OH30実績	計画どおり①②を実施。

事業名	健康サイクルかみさとプロジェクト「からだ改革塾～ウォーキング編～」
実施機関	上里町
現状・課題等	生活習慣病予防のための教室として、健康長寿埼玉モデル事業といきいきスタンプラリー事業を融合した「健幸マイレージ事業(ウォーキングや対象事業に参加すると、健康ポイントがたまり、賞品と交換ができる。)」を令和元年度に新たに実施する。健康づくり無関心層へのPRが課題。

○事業概要	
【事業名】	健康サイクルかみさとプロジェクト「からだ改革塾～ウォーキング編～」
【対象】	20～74歳の町民の方で運動制限のない方
【方法】	毎日のウォーキング、身体・体力測定、血液検査、筋トレや食事の教室等
【手順】	
OR1計画(目標)	生活習慣病予防のための規則正しい生活習慣の知識普及と定着化 10月より、事業開始予定 参加目標人数:300人
OH30実績	実施回数:22回、参加者:190名(延べ参加人数:938人) 3年間の成果をまとめた健康づくりリーフレットを作成し、町民に周知した。

事業名	特定健康診査(個別健診)受診勧奨
実施機関	上里町
現状・課題等	集団健診の日程は予約で満員となったが、目標としている受診率には達成していない状況のため、下半期に実施を予定している個別健診の受診勧奨を実施
○事業概要	
【事業名】	特定健康診査(個別健診)受診勧奨
【対象】	40～74歳までの国民健康保険加入者のうち健診未受診者
【方法】	①広報掲載②申込みや希望の有無に係わらず受診券を個別に送付③ホームページに掲載
【手順】	
OR1計画(目標)	医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導に準ずる。
OH30実績	特定健康診査受診者:【集団】1,991人(内、国保1,418人)【個別】788人(内、国保477人) 対象者数:5,969人 H31.1月に未受診者へ個別健診受診勧奨通知を郵送した。

事業名	糖尿病予防教室
実施機関	上里町
現状・課題等	特定健康診査等の結果、糖尿病の検査項目であるHbA1cの値がやや高い方が多いため、糖尿病に対する正しい知識の普及と重症化予防の教室を実施
○事業概要	
【事業名】	糖尿病予防教室
【対象】	糖尿病予防に関心のある方。特に、HbA1c6.0%以上の方。
【方法】	広報で周知し、さらに特定健診受診者のうち対象者には個別通知、運動実践、糖尿病に関する健康講話、食事診断
【手順】	
OR1計画(目標)	糖尿病予防のための正しい知識の普及と生活習慣改善
OH30実績	3回コース(2/7,14,28)で実施 参加者数:延べ119人 当初の計画ではHbA1c6.0%以上の方とその家族を対象としていたが、関心のある方へと拡大した。

事業名	上里町いきいきスタンプラリー
実施機関	上里町
現状・課題等	平成29年度まではがん予防推進対策事業として実施していたが、より多くの住民に健康づくりを実施してもらえるよう内容や参加条件を見直した。さらに、31年度以降健康マイレージ事業へ移行する予定のため、準備を進める。
○事業概要	
【事業名】	上里町いきいきスタンプラリー
【対象】	各種検(健)診受診者・教室参加者等
【方法】	対象事業に参加したり、自らの目標にチャレンジするとスタンプを押印。賞品の交換条件を昨年度より緩和し、記念品を贈呈。さらに、抽選で豪華な賞品が当たる。対象事業は、生涯学習課、高齢者いきいき課と連携。
【手順】	
OR1計画(目標)	景品交換者(健幸マイレージ参加者)300人以上
OH30実績	景品交換者407人

事業名	歯周疾患検診
実施機関	上里町
現状・課題等	歯の喪失原因である歯周疾患を早期に発見し、予防する。

○事業概要	
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の男女
【方法】	<検診受診方法> 対象者は委託歯科医療機関に事前予約し、受診する。(受診費用;無料) <周知方法>
【手順】	1)受診勧奨(①4月下旬に対象者全員へがん検診の通知と同時に受診勧奨通知を発送 ②年度途中に実施される他の検診と同時に受診勧奨)2)広報やホームページに掲載 3)保健センターや実施歯科医療機関にポスター掲示
OR1計画(目標)	受診率:8.5%
OH30実績	受診率:7.1%

事業名	骨粗鬆症検診
実施機関	上里町
現状・課題等	骨粗鬆症を早期に発見し、転倒による骨折やロコモティブシンドロームを予防するために実施。早期発見することで、食生活や運動など生活習慣を見直す契機とする。
○事業概要	
【事業名】	骨粗鬆症検診
【対象】	受診希望者
【方法】	①40・45・50・55・60・65・70歳女性に個別に受診勧奨通知 ②広報掲載 ③ホームページ掲載
【手順】	肺がん・結核検診と全日程同時実施。
OR1計画(目標)	受診率:節目年齢 30%以上
OH30実績	受診者数:631人(節目218人、節目外413人) 受診率:13.9%(節目対象者1,567人)

事業名	健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」
実施機関	上里町
現状・課題等	健康増進・食育推進計画の基本理念のもと、生活習慣病の予防や健康づくり推進のために全町的に取り組んでいく。
○事業概要	
【事業名】	健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」
【対象】	全町民
【方法】	計画の目標を達成するため、全町的に健康づくりに取り組む。
【手順】	各課で計画を念頭に事業に取り組んでもらう。
OR1計画(目標)	28年度から取り組み、32年度に中間評価。目標や評価指標は、計画に準ずる。中間評価に向けた準備。
OH30実績	行政、地域、大学等が連携をとりながら健康づくりに取り組んだ。健康長寿埼玉モデル事業の成果として作成したリーフレットに計画の概要を掲載した。

○事業分野

○目 標

5 健康危機管理体制の整備充実

大規模災害の発生時には、医療資源を最大限活用し適切な医療を提供できるよう、関係機関の連携体制を構築します。また、被災者への健康管理活動が適切に実施できるよう活動体制を強化します。

新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合に備え、地域医療体制の整備、関係機関の連携、研修・訓練の実施に努めます。また、大規模集団感染などの事例が発生した場合には、保健所、市町、医療機関等が協力して住民の生命・健康の保護に努めます。

食品等事業者による衛生管理の国際標準であるHACCP(危害分析・重要管理点方式)に基づく衛生管理の導入を支援し、食品の安全性確保、食中毒の発生防止を推進します。また、県民に対して食品の安全確保に関する情報を積極的に提供します。

○主な取組

- 大規模災害時における医療提供体制の確保
- 中長期的な健康管理活動の確保
- 新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
- 食の安全安心

実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部、食品等事業者、食品関連団体

○圏域別取組実施状況

医師会

【熊谷管内】

事業名	災害時における医療救護活動
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう体制の整備や調整を進める。
【手順】	
OR1計画(目標)	事業概要と同様 なお、令和元年度においては、災害対応力を向上するため、地域型JMATの編成や病院におけるBCPの策定について、研修会を開催するなどして支援する。 また、ラグビーワールドカップが地元で開催されることもあり、市等の関係機関と大規模イベント時における災害対応についても、検討を進める。
OH30実績	事業概要を踏まえ対応を進めた。

事業名	医師会災害対策委員会と行政災害担当課との合同会議開催
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	大規模災害発生後の適切な医療提供について、医師会災害対策委員会と行政災害担当課の連携促進
○事業概要	
【対象】	医師会災害対策委員、深谷市・寄居町防災関連担当者等
【方法】	深谷市・寄居町と災害時の連携について情報交換及び課題の抽出
【手順】	会議の開催
OR1計画(目標)	・大規模災害発生に備え、平成26年度作成の災害医療マニュアル等の見直しのための会議
OH30実績	

【本庄管内】

事業名	地域JMAT立ち上げの課題検討(埼玉県医師会主導による)
実施機関	本庄市児玉郡医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	
【方法】	
【手順】	
OR1計画(目標)	埼玉県医師会主導による地域JMAT立ち上げの課題検討。
OH30実績	

歯科医師会

【熊谷管内】

事業名	熊谷市歯科医師会災害対策本部
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	防災連絡網は出来ているが、連絡手段が固定電話番号のみとなっている。災害時に有効なものとするために、複数の連絡手段の作成が必要と思われる。連絡方法の徹底を引き続き図っていく。
○事業概要	
【対象】	熊谷市歯科医師会会員(全会員)
【方法】	災害対策本部の設置
【手順】	
OR1計画(目標)	災害拠点の設置予定
OH30実績	防災連絡網の作成

事業名	熊谷市総合防災訓練
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	平成28年3月29日(火)に災害時における医療救護活動に関する協定を締結した。より綿密な協力体制を整える必要がある。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	会議への参加及び訓練への会員の派遣
【手順】	
OR1計画(目標)	熊谷市総合防災訓練に参加
OH30実績	8月25日熊谷市総合防災訓練&みんなの防災フェア 熊谷荒川緑地自由広場に参加

事業名	防災連絡協議会、身元確認班研修会
実施機関	埼玉県、埼玉県歯科医師会
現状・課題等	身元確認における口腔内チャートの採得等、会員全体のスキルアップが引き続き課題である。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	協議会、研修会への会員の派遣
【手順】	
OR1計画(目標)	協議会、研修会への会員の派遣
OH30実績	8月23日(木)第20回埼玉県歯科医師会防災連絡協議会、第17回埼玉県歯科医師会身元確認班研修会 彩の国すこやかプラザに参加

事業名	大規模災害対策推進
実施機関	大里郡市歯科医師会
現状・課題等	大規模な災害発生時に地域住民への適切な歯科医療を提供するシステムづくり
○事業概要	
【対象】	大里郡市歯科医師会
【方法】	大規模災害時の歯科医療提供システムと身元確認のための整備と研修
【手順】	
OR1計画(目標)	災害発生直後の被害状況報告書の整備・連絡経路の確認
OH30実績	災害発生直後の被害状況報告書の整備・連絡経路の確認

薬剤師会

【熊谷管内】

事業名	健康危機管理体制の確立と検討
実施機関	熊谷薬剤師会
現状・課題等	大規模災害時における医薬品の供給や医療提供体制の確保に向けた取組
○事業概要	
【対象】	薬剤師
【方法】	定例会・委員会での検討、研修会への参加
【手順】	1. 大規模災害時、新型インフルエンザ等発生時の対応について、定例会・委員会等で検討し、会員間及び関連組織との間で情報共有する。 2. 災害時等の危機管理に関する訓練等の研修会に参加する。
OR1計画(目標)	1. 保険薬局特別委員会定例会 11回開催
OH30実績	1. 保険薬局特別委員会定例会 11回開催 160名参加 2. 地域災害保健医療調整会議 1回開催 1名参加

事業名	災害時の医薬品及び医療材料の備蓄と供給に係る整備
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	災害用医薬品・医療材料の備蓄と供給体制の整備
○事業概要	
【対象】	深谷市・関係機関
【方法】	災害時における深谷市および関係機関との連携を図る。
【手順】	
OR1計画(目標)	・大地震等発生時初動マニュアルの作成・会員に周知 ・災害時の医薬品及び医療材料の備蓄について深谷市及び関係機関と情報共有する
OH30実績	・大地震等発生時初動マニュアルの草稿作成(理事会にて検討 2回) ・災害時の医薬品及び医療材料の備蓄について深谷市及び関係機関と情報共有する

事業名	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認
○事業概要	
【対象】	深谷市薬剤師会会員
【方法】	新型インフルエンザ等発生時の連絡訓練に参加する。
【手順】	
OR1計画(目標)	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達訓練に参加・会員への伝達方法について確認。
OH30実績	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達訓練に参加・会員への伝達方法について確認(実施 1回)

事業名	大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	健康危機管理体制そのものが当薬剤師会では構築できておりません。まずは行政の関連部署と協議させていただき、どのような順番にしてその都度何ができるかというマニュアル作成をめざす。
○事業概要	
【対象】	寄居薬剤師会薬局、寄居薬剤師会々員
【方法】	平成28年3月に協定を結んだ内容にそって、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供業務が円滑にすすめられるように準備をします。その拠点として寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について委任します。
【手順】	
OR1計画(目標)	薬剤師会に期待されるものとして、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供という物的面に重きがおかれていると想定されますので、寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について可能かどうか検討し、できることは実践します。30
OH30実績	多数の被災者用の救急薬品・消毒薬の備蓄までできておりません。

事業名	中長期的な健康管理活動の確保
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研究し、TPOに合わせた服薬指導などできることを実践する。
○事業概要	
【対象】	会員薬局
【方法】	薬物治療を行っている患者様が疾病状態から脱却するまでに実施すること、その脱却後元にもどらないような助言や指導を各疾病別に検討し、随時
【手順】	患者様にお話する。疾病予防や健康増進の提案します。
OR1計画(目標)	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか再度研修を予定しております。(年1回)病気にかかりやすい生活習慣を見直すりーフレットを会員店舗(随時)や健康まつりの場(年1回)で配布します。
OH30実績	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか検討中です。

事業名	新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	新型インフルエンザが流行した時は抗インフルエンザ薬やマスクの入手が困難となり「大変な状況が起こり得る」ということを想定しながら対応策を練り、寄居薬剤師会薬局を中心に準備をする。
○事業概要	
【対象】	寄居薬剤師会薬局
【方法】	日頃から各会員薬局において抗インフルエンザ薬や抗生剤、消毒薬、マスク等を可能な分の備蓄をし、その管理を行う。インターネット等活用し必要でタイムリーな情報を共有
【手順】	
OR1計画(目標)	さらに30名程度の抗インフルエンザ薬やマスクなどの備蓄を予定し、期限の古い薬剤から活用し常に最新の期限の薬品を備えるマニュアルをつくります。
OH30実績	30名程度の抗インフルエンザ薬や100名分マスクなどの備蓄を実施。

【本庄管内】

事業名	大規模災害の発生時における医療提供体制の確保
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	サイボウズによる会員間での情報共有、携帯電話での緊急連絡
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	会員間で、日常から連携を強化する サイボウズによる情報共有。お薬手帳の活用についても理解してもらう。
【手順】	
OR1計画(目標)	引き続き、災害時における薬剤師の役割等について学ぶ。
OH30実績	日頃から、会員間でサイボウズofficeによる情報共有は、行っている。

事業名	中長期的な健康管理活動
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	災害が長引いた時の健康維持・健康管理について学ぶ。
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	災害時の健康管理等について学んだり、被災された人に会う機会があれば何が必要か、情報を得る。
【手順】	
OR1計画(目標)	中長期化した場合薬剤師に出来る事を広く理解してもらう。
OH30実績	日頃から、薬局内でも、災害時の健康管理等について、考えてもらった。

行政

【熊谷管内】

事業名	関係機関との災害時通信訓練及び健康危機管理訓練の実施、地域災害保健医療調整会議の設置
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	大規模健康危機管理体制における関係機関との連携強化、職員の対応能力の向上が必要とされる。
○事業概要	
【事業名】	関係機関との災害時通信訓練
【対象】	拠点保健所管内保健所、市町村、医師会、消防本部
【方法】	衛星携帯電話・防災無線の通信訓練
【手順】	保健所間の衛星携帯電話通信訓練、市町、医師会、消防との防災無線通信訓練の実施
【事業名】	健康危機管理訓練
【対象】	保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等
【方法】	大規模健康危機管理訓練・EMIS入力訓練の実施
【手順】	国際的イベント開催に備えた健康危機管理訓練を実施 医療機関によるEMIS入力訓練を実施
【事業名】	地域災害保健医療調整会議の設置
【対象】	保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等
【方法】	発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制の確保。
【手順】	関係機関へのヒアリングと会議構成員の決定。 会議開催(年1回)
OR1計画(目標)	1関係機関との災害時通信訓練 防災行政無線通信訓練 年2回 衛星携帯電話訓練(保健所:鴻巣、本庄、秩父、熊谷)6月～毎月1回 2健康危機管理訓練 R1年8月27日、EMIS入力訓練(職員訓練兼ねる)年4回 3地域災害保健医療調整会議 年1回
OH30実績	1関係機関との災害時通信訓練 防災行政無線通信訓練9月27日、28日 衛星携帯電話訓練(保健所:鴻巣、本庄、秩父、熊谷)10月11日～毎月1回 2ラグビーワールドカップ2019熊谷会場におけるバイオテロを想定した健康危機管理訓練 平成31年1月31日 計58名、EMIS入力訓練(職員訓練兼ねる)年4回 寄居町災害時保健活動訓練 31年2月18日 計15名 3地域災害保健医療調整会議 31年2月18日 計62名

事業名	医療提供体制の整備及び新型インフルエンザ等感染対策体制整備
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	温暖化等環境や生態系の変化、グローバル化を背景に海外で発生、流行する感染症が国内に流入し、発生が確認されている。近年では、平成21年の新型インフルエンザの大流行)や平成26年のデング熱の国内発生その他、海外では高病原性鳥インフルエンザやエボラ出血熱、MERS(中東呼吸器症候群)等の流行が確認されている。特に今後国内、管内において国際的なスポーツイベント等を控えていることも踏まえ、国内外の感染症発生や大規模集団感染等を想定した健康危機管理体制の強化が必要である。

○事業概要	
【事業名】	医療提供体制の整備
【対象】	医師会、病院、市町、消防本部
【方法】	医療機関等への協力依頼
【手順】	感染症関連情報の提供 担当者会議の開催・感染症重大事案対策事業の実施
【事業名】	新型インフルエンザ等感染対策体制整備
【対象】	保健所、市町村、医療機関等
【方法】	訓練等の開催
【手順】	訓練(防護具着脱・情報伝達・患者搬送等)の実施 担当者会議の開催
OR1計画(目標)	1 感染症担当者会議 1回 2 シミュレーション訓練 3回 3 オリ・パラ強化サーベイランスプレテスト 医療機関 65日間 4 ラグビーワールドカップ強化サーベイランス 2医療機関 37日間
OH30実績	1 感染症担当者会議 1回 20名参加 2 シミュレーション訓練 3回 90名参加 3 ラグビーワールドカップ強化サーベイランスプレテスト 7医療機関 30日間

事業名	災害医療対策マニュアルの策定
実施機関	熊谷市
現状・課題等	大規模災害等に備えるため、熊谷市地域防災計画に基づき関係機関との連携強化を図ります。
○事業概要	
【対象】	医師会、歯科医師会、薬剤師会
【方法】	平成26年度にマニュアルが完成し、平成27年度に三師会と災害時の医療活動に関する協定を締結したので、引き続き、災害時の医療救護活動体制の連携強化について協議する。
【手順】	
OR1計画(目標)	災害医療対策マニュアルの見直し
OH30実績	引き続き、協議を継続した。

事業名	総合防災訓練の実施
実施機関	熊谷市
現状・課題等	災害時における各機関の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう努めます。
○事業概要	
【対象】	医師、看護師等
【方法】	熊谷市総合防災訓練において、救護所運営訓練を行う。(隔年実施)
【手順】	
OR1計画(目標)	総合防災訓練は隔年実施のため、令和元年度、実施なし。令和2年度の実施内容について検討を行う。
OH30実績	8月25日、熊谷荒川緑地 自由広場にて総合防災訓練を実施し、救護所運営訓練を行った。参加団体は、61団体、約1,000人だった。

事業名	予防接種体制の整備
実施機関	熊谷市
現状・課題等	新型インフルエンザ等の発生に備えるため、予防接種体制の構築を図ります。
○事業概要	
【対象】	熊谷市、医師会、医療機関
【方法】	予防接種体制を整備する。
【手順】	

OR1計画(目標)	住民接種マニュアルの作成
OH30実績	予防接種体制の研究を進めた。

事業名	救命講習会の開催
実施機関	熊谷市
現状・課題等	災害時に必要不可欠な、応急手当の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	一般市民及び各事業所
【方法】	電話による受付
【手順】	・市報の公募による受付・開催(個人申込) ・希望する場所での出張開催(団体申込)
○R1	年間52回、受講者数1,300人
OH30実績	平成30年度 53回実施、受講者数1,036人

事業名	災害時の医療救護活動／応急医薬品の協力に関する協定
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	医師会・歯科医師会・薬剤師会との協定を締結
○事業概要	
【対象】	医師会・歯科医師会・薬剤師会
【方法】	災害時における各関係機関との連携
【手順】	応急救護所を開設し、医師会に医療救護班の派遣を要請する。また、医薬品等を必要とするときは、薬剤師会に医薬品等の供給について協力を要請する。
OR1計画(目標)	災害時は協定に基づき協力を要請する
OH30実績	実績なし

事業名	深谷市総合防災訓練(総務防災課)
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	市主催による総合防災訓練を実施
○事業概要	
【対象】	防災関係機関、関係団体及び市民
【方法】	応急救護所運用訓練ほか
【手順】	応急救護所及びトリアージホストを設置し、医療隊と連携し多数傷病者のトリアージ及び救護を行う。
OR1計画(目標)	令和元年9月7日(土)実施
OH30実績	中止のため実績なし

事業名	自主防災会防災訓練
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	自主防災会による防災訓練を実施
○事業概要	
【対象】	自主防災会員
【方法】	初期消火、応急救護、炊出し訓練、災害図上訓練(DIG)等を実施する。
【手順】	消防、消防団、地域防災指導員の指導により、防災訓練を実施する。

OR1計画(目標)	防災訓練を実施
OH30実績	訓練回数40回 参加者2,308人

事業名	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく関係機関との調整・連携(国や県の動向に注視し、情報収集を行う)
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、平時から関係機関と連携する必要がある。
○事業概要	
【対象】	市民等
【方法】	情報収集、国県と連動した行動訓練(連絡訓練)等に参加する等による連携の推進
【手順】	
OR1計画(目標)	国県の動向に注視し、情報収集を行いながら関係機関と調整・連携を図っていく。
OH30実績	国の指示に基づき新型インフルエンザ等特定接種についての登録の実施、国県と連動した連絡訓練に参加

事業名	深谷市総合防災訓練(消防本部)
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	防災意識の高揚・対応能力の強化、防災関係機関、市民、事業所との連携強化。
○事業概要	
【対象】	市、防災関係機関、市民、事業所等
【方法】	実践的かつ効果的な各種訓練を総合的に実施
【手順】	大規模災害(震災)を想定し実施
OR1計画(目標)	令和元年9月7日(土)実施予定
OH30実績	中止のため実績なし

事業名	関越自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	関越自動車道における災害の発生に対し、被害を軽減するため関係機関の連携強化。
○事業概要	
【対象】	消防、警察、埼玉DMAT、東日本高速道路(株)
【方法】	多重衝突事故等を想定した、各関係機関との連携訓練を実施
【手順】	高速道路上での多重衝突事故を想定し実施
OR1計画(目標)	令和元年10月16日(水)実施予定
OH30実績	平成30年10月17日 消防本部6名参加 ※救急隊3名・運営係1名・負傷者役2名

事業名	皆野寄居バイパストンネル防災訓練実施
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	トンネル等における自動車の火災事故防止策について
○事業概要	
【対象】	消防、警察、土木整備部、道路公社
【方法】	寄居トンネル内で車両事故を想定した、各関係機関との連携訓練を実施
【手順】	トンネル内での車両事故を想定し実施
OR1計画(目標)	令和元年11月13日(水)実施予定
OH30実績	平成30年11月21日 消防本部3名参加 ※救急隊3名

事業名	災害時における体制整備事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	防災と健康管理部門との情報共有する場がなく、災害時の対応について情報共有が十分でない。
○事業概要	
【対象】	庁内関係課
【方法】	保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課で情報共有する。
【手順】	
OR1計画(目標)	保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課で情報共有する。
OH30実績	保健所の協力のもと、自治防災課と健康福祉課職員で机上訓練を実施した。 2月18日 参加者15人

【本庄管内】

事業名	災害時保健医療体制の強化
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	首都直下地震など多数傷病者の発生が見込まれる大規模災害時において、患者の重症度に応じた医療を提供するため、災害現場から救護所、地域の医療機関、更に後方医療機関に至る体系的な医療提供体制を構築する必要がある。
○事業概要	
【対象】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、災害拠点病院等医療機関、地域災害医療コーディネーター、警察、消防、市町等
【方法】	地域災害保健医療調整会議を設置し、発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制を確保する。
【手順】	・地域災害保健医療調整会議(年2回程度)における議論等を通じた市町や関係機関との情報共有(緊急時の連絡先・名簿等) ・災害時初動対応マニュアル等の作成や研修・訓練の実施を通じた災害時の対応強化
OR1計画(目標)	1 地域災害保健医療調整会議の開催(年2回程度) 2 災害時初動対応マニュアルの作成支援 3 管内市町担当者との情報交換会の開催
OH30実績	地域災害保健医療調整会議の開催(熊谷保健所と合同) 1回開催 64人出席

事業名	新型インフルエンザ等対策会議 保健所管内市町感染症担当者連絡会議 新型インフルエンザ等入院協力医療機関との連絡体制の整備
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	新型インフルエンザ等の対応を適切かつ的確に行うためには、管内の関係者間での情報の共有や医療体制等の整備が必要である。
○事業概要	
【対象】	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部
【方法】	対策会議: 北部保健医療圏保健医療協議会、保健所において実施 連絡会議: 保健所において実施 入院医療機関との連絡体制整備: 連絡網の更新と情報伝達方法の確認
【手順】	最新の情報や知見の共有を図り、管内発生時の医療等体制整備に関する協議を行う。
OR1計画(目標)	情報の共有と管内の医療体制整備
OH30実績	対策会議 1回 12人参加 開催連絡会議 1回開催 9人参加 入院医療機関との連絡体制整備: 連絡網更新(5月)、情報伝達方法確認(10月)

事業名	新型インフルエンザ等対応訓練 関係者向け研修会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	新型インフルエンザ等が発生した際に、保健所及び管内関係機関が適切かつ確かな対応ができるよう、知識の普及と対応能力の向上を図る必要がある。
○事業概要	

【事業名】	○新型インフルエンザ等対応訓練 ○関係者向け研修会
【対象】	医療機関、市町職員、保健所職員等
【方法】	訓練：情報伝達訓練、防護服着脱訓練等
【手順】	県庁及び管内市町村、入院協力医療機関と情報伝達訓練を実施。関係機関に対する保健所防護服着脱訓練や車両搬送訓練への参加呼びかけ。医師会の協力を得ての研修会の開催。
OR1計画(目標)	新型インフルエンザ等が実際に発生した時に、各機関が機能的に活動できる人材を育成する。
OH30実績	情報伝達訓練 2回開催 防護服着脱訓練 1回開催 12人参加

事業名	HACCP制度化に向けた導入支援
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	近年、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157による広域的で大規模な食中毒事件が発生している。これらの食中毒はいずれも少量の原因菌で発症するため、食品関係施設での衛生管理を一層徹底する必要がある。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	熊谷保健所と共通
【手順】	
OR1計画(目標)	食品事業者のHACCPに基づく衛生管理の導入支援 1 HACCP支援講習会・個別相談会の開催(通年) 2 立入調査等によるフォローアップ支援(通年)
OH30実績	1 HACCP支援講習会・個別相談会 18回開催 503人参加 2 立入調査等によるフォローアップ支援 380施設

事業名	災害時の医療救護活動に関する協定 避難行動要支援者避難支援体制の整備
実施機関	本庄市
現状・課題等	本庄市地域防災計画により実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しており、計画改訂により、医療救護班の編成について、協定に基づいた災害医療コーディネーターの役割を計画に位置付け。災害時要支援者避難支援プランを策定。新型インフルエンザ等対策行動計画を策定。また、有事の時に機能するよう行動マニュアルの作成が必要。
○事業概要	
【事業名】	災害時の医療救護活動に関する協定
【対象】	医師会・歯科医師会・薬剤師会
【方法】	災害時における各関係機関との連携を確保
【手順】	協定書に則り実施
OR1計画(目標)	協定書に則り実施
OH30実績	協定書に則り実施(医療救護活動を実施する災害の発生なし)
【事業名】	避難行動要支援者避難支援体制の整備
【対象】	災害時に地域での支援を希望する要支援者
【方法】	避難行動要支援者避難支援プランの推進、災害時を想定した連携の確認
【手順】	支援希望者名簿および個別支援計画の作成・情報更新 地域防災計画に基づき、災害時における要支援者避難支援体制を維持
OR1計画(目標)	新規対象者に名簿登載への同意確認を実施 新たな名簿登載者について自治会を中心に訪問し、順次個別支援計画を作成
OH30実績	避難行動要支援者の対象要件に該当する方に、平常時からの要支援者名簿への登載について同意確認を郵送にて実施

事業名	総合防災訓練 土砂災害・全国統一防災訓練
実施機関	本庄市
現状・課題等	地域住民参加による総合的な防災訓練を実施。 (総合防災訓練年1回・土砂災害防災訓練年1回)
○事業概要	
【事業名】	総合防災訓練
【対象】	小学校区域内の住民・児童・市職員等
【方法】	地震を想定しての避難、救出、救護、消火等の訓練
【手順】	小学校校庭を会場に実施 地域住民参加による実践的な防災訓練を実施
OR1計画(目標)	9月に本庄市立旭小学校で実施
OH30実績	9/9(日)本庄市立本庄南小学校で実施、1,231人参加
【事業名】	土砂災害・全国統一防災訓練
【対象】	土砂災害警戒区域内の住民・市職員等
【方法】	避難訓練、情報伝達訓練
【手順】	対象地区の自治会を中心に、消防・警察・行政関係者が合同訓練を実施
OR1計画(目標)	6月に秋山地区住民を対象に実施
OH30実績	6/3(日)高柳地区住民を対象に実施、69人参加

事業名	図上訓練
実施機関	美里町、各自主防災組織
現状・課題等	土砂災害、地震等の災害を想定した図上訓練を実施
○事業概要	
【対象】	各自主防災組織
【方法】	各自主防災組織に町が出前講座を実施
【手順】	
OR1計画(目標)	災害の予測、避難経路、避難場所等を確認する。備蓄品として常備薬、生理用品を盛り込むなど自己防衛、防災意識の高揚や、避難体制の強化を図る。年間を通して5回の開催が目標
OH30実績	各自主防災組織が開催 4回開催 計96人参加

事業名	防災訓練
実施機関	各自主防災組織(美里町)
現状・課題等	初期消火訓練、避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、救護訓練、災害時要支援者避難訓練(疑似体験訓練)などを複数組み合わせ実施
○事業概要	
【対象】	各自主防災組織
【方法】	各自主防災組織が地域住民を対象とした訓練を実施
【手順】	
OR1計画(目標)	住民一人ひとりと自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。
OH30実績	各自主防災組織が開催 11回の開催 計779人参加

事業名	消防団員基礎教育訓練 消防団員普通救命講習 消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程 消防団員救助資機材取扱訓練 普通救命講習
実施機関	神川町
現状・課題等	消防団員の救命技術の向上、地域住民による救護活動の普及啓発

○事業概要	
【事業名】	消防団員基礎教育訓練
【対象】	入団から3年以内の団員
【方法】	消防学校の教育訓練の基準に基づき実施
【手順】	埼玉県消防協会本庄児玉支部及び埼玉県消防学校で対象者に実施
OR1計画(目標)	消防団員としての基礎的な火災防ぎよ、救助法、応急手当法を身につける。
OH30実績	5名参加
【事業名】	消防団員普通救命講習
【対象】	前回の受講から2年経過の団員
【方法】	普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施
【手順】	児玉郡市広域消防本部に依頼
OR1計画(目標)	消防団員として、胸骨圧迫、AEDの使用法、止血法、異物除去法を身につける。
OH30実績	3回開催 89名参加
【事業名】	消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程
【対象】	消防団幹部団員
【方法】	消防学校の教育訓練の基準に基づき実施
【手順】	埼玉県消防学校で実施
OR1計画(目標)	幹部団員として災害現場での救助、救命法の現場指揮要領を身につける。
OH30実績	1名参加
【事業名】	消防団員救助資機材取扱訓練
【対象】	消防団員
【方法】	消防団に配備されている救助資機材の取扱方法等の訓練
【手順】	児玉郡市広域消防職員を講師に実施
OR1計画(目標)	分団に配備されている救助資機材を災害時に有効活用できるよう訓練を実施。
OH30実績	83名参加
【事業名】	普通救命講習
【対象】	町民・各種団体
【方法】	普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施
【手順】	神川町消防団応急手当普及員及び児玉郡市広域消防で実施
OR1計画(目標)	消防団応急手当普及員として、町民に応急手当法の普及・啓発活動及び救命率の向上を目的とする。
OH30実績	3回開催 73名参加

事業名	大規模災害発生時の対応訓練
実施機関	児玉郡市広域消防本部
現状・課題等	大規模災害発生時における合同訓練
○事業概要	
【対象】	消防本部、市町
【方法】	関係機関との合同訓練を実施
【手順】	
OR1計画(目標)	災害時における他機関との連携強化を図る。
OH30実績	多数傷病者対応訓練 座学講習 1回、実動訓練 1回開催

事業名	管轄外(群馬県)で発生した大規模災害発生時の対応訓練
実施機関	児玉郡市広域消防本部
現状・課題等	管轄外で発生した大規模災害発生時における合同訓練
○事業概要	
【対象】	消防本部、市町、自衛隊、医師会、医療機関等
【方法】	関係機関との合同訓練を実施
【手順】	
OR1計画(目標)	参加予定なし
OH30実績	群馬県総合防災訓練 1隊3人参加

事業名	上里町災害対策本部応急活動
実施機関	上里町
現状・課題等	上里町地域防災計画により実施。医師会、歯科医師会と協定を締結。(H12)
○事業概要	
【対象】	被災住民
【方法】	初期医療等医療応急体制の整備
【手順】	救護所の設置、医療機関との連携・体制整備
OR1計画(目標)	災害時の医療体制の確保
OH30実績	住民等対象講習会 13回 410名 職員等対象防災研修会 5回 170名

事業名	防災フェスティバル
実施機関	上里町
現状・課題等	災害時における意識啓発を図り、各自に対応した心構えを平常時に培っておく。
○事業概要	
【対象】	地域住民、日赤奉仕団、消防団、児玉郡市広域消防本部、行政
【方法】	救助訓練、防災食の炊き出し等
【手順】	災害時における対応訓練を実施し、意識の啓発を図る。
OR1計画(目標)	災害時の意識啓発を図る。
OH30実績	7月28日開催予定だったが、台風12号により中止。

事業名	普通救命講習
実施機関	上里町
現状・課題等	災害時における救命技術の向上 普通救命講習は2年に1度実施。
○事業概要	
【対象】	消防団員
【方法】	応急手当の講習。2年に1度実施(平成31年度実施予定)
【手順】	未講習の消防団員に講習を実施
OR1計画(目標)	災害時の応急対応の備え
OH30実績	未実施。(令和元年度実施予定)

事業名	新型インフルエンザ対策訓練
実施機関	上里町
現状・課題等	新型インフルエンザ及び全国かつ急速なまん延のおそれのある新感染症(未知の感染症)に対する対策の強化を図り、国民の生命・健康を保護し、国民生活・国民経済に及ぼす影響が最小にするために、対策訓練を実施する。
○事業概要	
【対象】	上里町新型インフルエンザ等対策本部・本庄市児玉郡医師会 本庄市児玉郡歯科医師会上里代表・本庄市児玉郡薬剤師会上里代表
【方法】	上里町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき実施する。
【手順】	国・県の連絡訓練と同日に実施する。
OR1計画(目標)	新型インフルエンザが発生したことを想定した連絡体制の確認
OH30実績	国・県の連絡訓練と同日に訓練を実施した。